

デバイス設定編集ツール ユーザーガイド

- Microsoft、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。
 - Xerox、Xerox ロゴ、および DocuCentre は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
 - その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
ApeosPort、および ApeosWiz は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。
本書は富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。
商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の表記

- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。



補足

操作の参考になる情報を記載しています。



参照

参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

[]	・ 本書内にある参照先を表しています。 ・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
[]	・ 参照するマニュアルを表しています。
[]	・ 複合機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	・ 複合機の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
< > キー	・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
>	・ 操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

- Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。

1 ApeosWiz 設定バックアップの概要

ApeosWiz 設定バックアップとは

ApeosWiz 設定バックアップとは、複合機の設定情報をクラウドやコンピューターにバックアップしたり、ほかの複合機に複製したりできるサービスです。複合機を入れ替えたときの設定情報の移行時間を短縮できます。ApeosWiz 設定バックアップは、設定バックアップ（複合機のカスタムサービスまたはプラグイン）とデバイス設定編集ツールで構成されています。

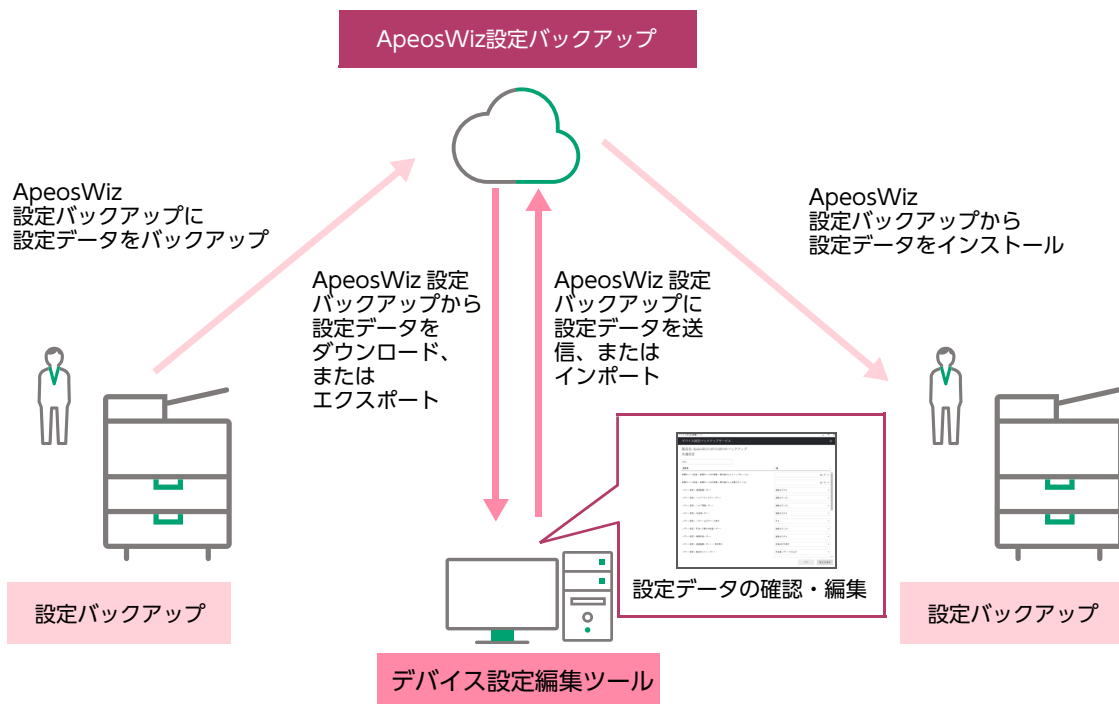
🔗 参照

- ・『設定バックアップ 取扱説明書』

ApeosWiz 設定バックアップは、クラウド接続、オンプレミス接続のどちらかで利用できます。

クラウド接続

ApeosWiz 設定バックアップとクラウド接続し、クラウド上にバックアップした設定データを、移行先の複合機にインストールします。デバイス設定編集ツールで、クラウド上に保存された設定データを表示したり、確認したりできます。



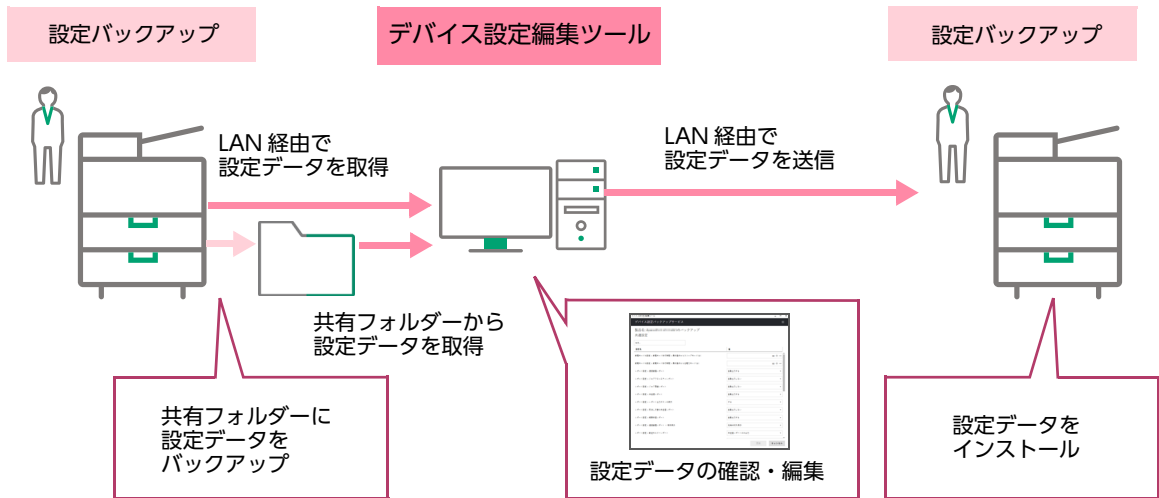
まず、複合機にインストールした設定バックアップで、クラウド上の ApeosWiz 設定バックアップに、設定データをバックアップします。

デバイス設定編集ツールで、ApeosWiz 設定バックアップにログインし、デバイス設定情報を ApeosWiz 設定バックアップからダウンロードします。

デバイス設定編集ツール上で設定データを編集したあと、保存した設定データを ApeosWiz 設定バックアップに送信します。

オンプレミス接続

クラウド接続できないユーザ環境の場合、デバイス設定編集ツールを経由して、移行元の複合機から移行先の複合機に、設定データを移行します。



デバイス設定編集ツールを起動し、移行元の複合機の設定データを取得します。

複合機側の設定バックアップから PC や共有フォルダーに設定情報ファイルを保存し、保存された設定データをデバイス設定編集ツールで取得することもできます。

デバイス設定編集ツールで、取得した設定データを編集したあと、移行先の複合機に設定データを送信します。

注記

- ・クラウド接続時の設定データと、オンプレミス接続時の設定データは共有できません。クラウド接続時の設定データをオンプレミス接続時に読み込んだり、オンプレミス接続時の設定データをクラウド接続時に読み込むことはできません。

ApeosWiz 設定バックアップを利用するための設定

ApeosWiz 設定バックアップを利用するための設定と、ApeosWiz 設定バックアップでできることを説明します。

ApeosWiz 設定バックアップを申し込む

富士フイルム BI ダイレクトのホームページから、ApeosWiz 設定バックアップの申し込みと、ユーザー登録を行ってください。

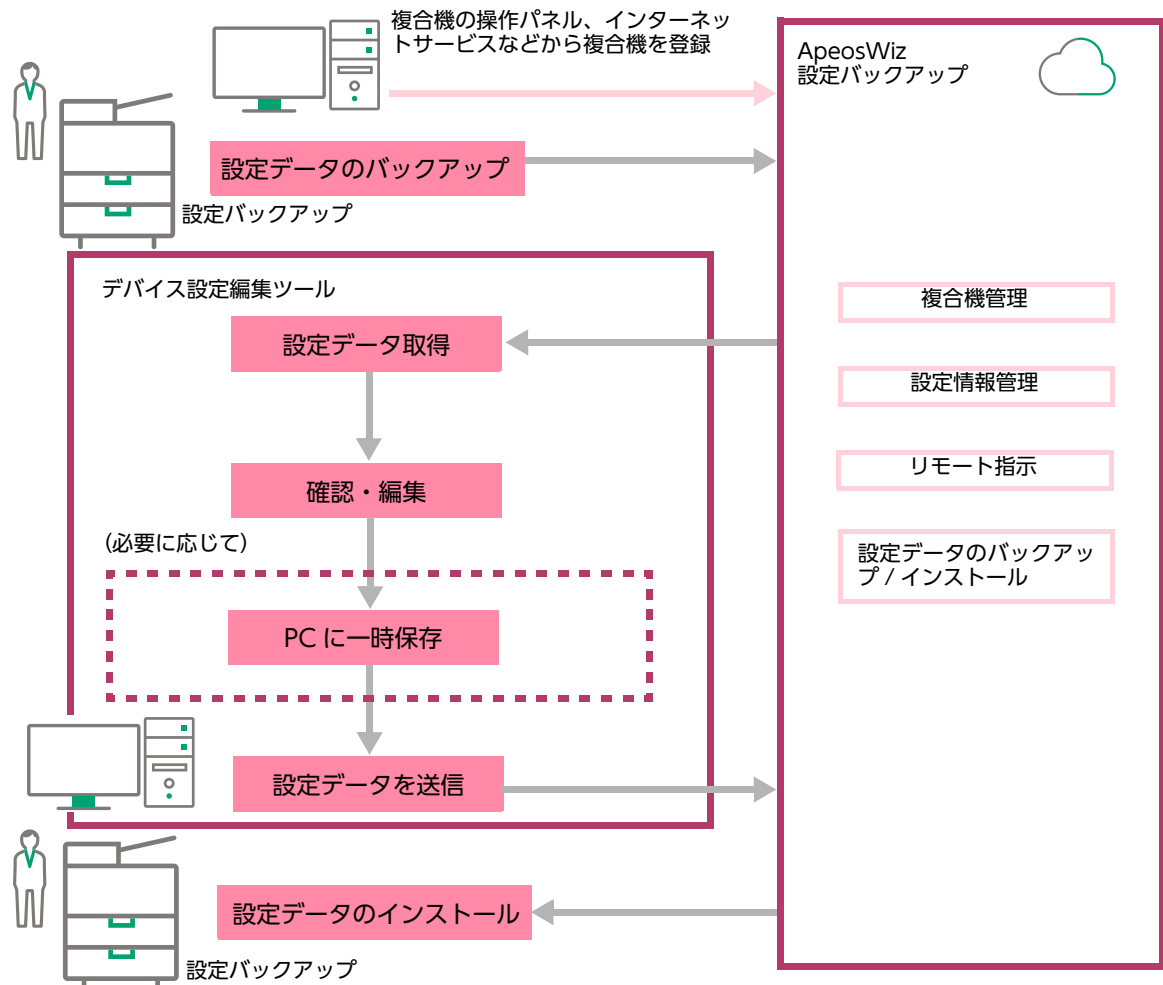
デバイス設定編集ツールを準備する

デバイス設定編集ツールを PC にセットアップします。



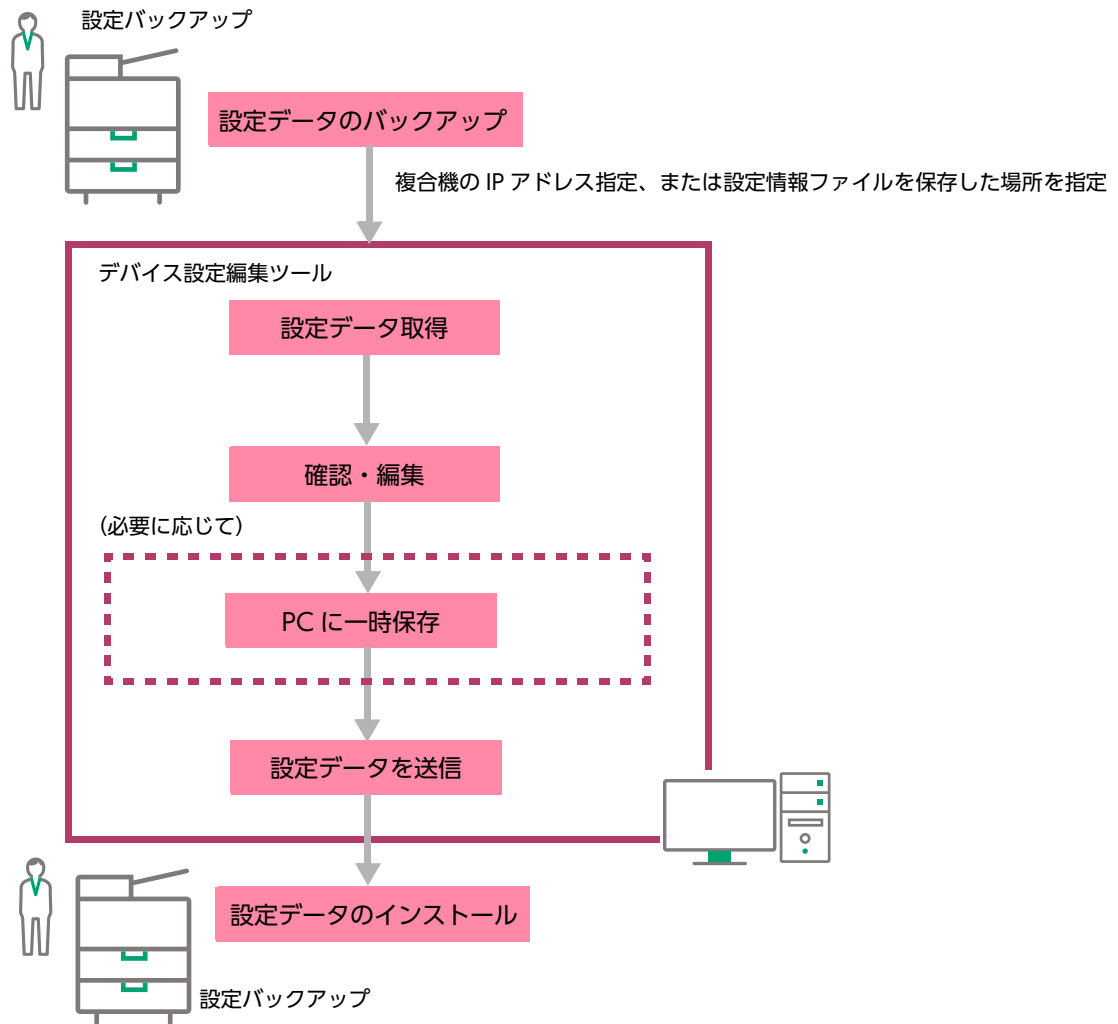
デバイス設定の移行の流れ（クラウド接続）

デバイス設定編集ツールを利用して、クラウド上にバックアップした設定データを移行先の複合機にインストールする操作の流れを次に示します。



デバイス設定の移行の流れ（オンプレミス接続）

ApeosWiz 設定バックアップを利用して、デバイス設定情報を移行する操作の流れを次に示します。



2 デバイス設定編集ツールの使い方

デバイス設定編集ツールを起動する

デバイス設定編集ツールのインストール

デバイス設定編集ツールをインストールします。



参照


- ・「デバイス設定編集ツールのインストール」(P.100)

デバイス設定編集ツールを起動する（クラウド接続の場合）

クラウド接続でデバイス設定編集ツールを使用するユーザーは、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録は、富士フイルム BI ダイレクトのテナント管理画面から行います。

- 1 スタートメニューから【FUJIFILM デバイス設定編集ツール】を選択します。
起動画面が表示されます。



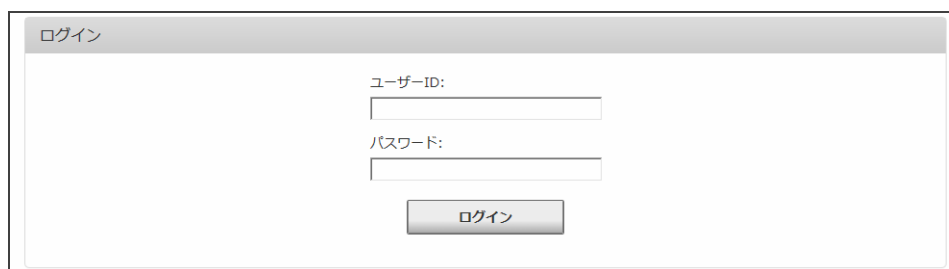
- ・デスクトップの【FUJIFILM デバイス設定編集ツール】のショートカットをダブルクリックしても、起動画面が表示されます。

- 2 【サービスにログイン】をクリックします。



システムログイン画面が表示されます。

- 3 ログインするユーザー ID とパスワードを入力します。



 補足

- ・ [ログイン] が表示されない場合は、コントロールパネルからインターネットオプションを選択し、[セキュリティ] タブで [レベルのカスタマイズ] を選択して、次の設定をしてください。
 - Java アプレットのスクリプト：有効にする
 - XSS フィルターを有効にする：有効にする
 - アクティブスクリプト：有効にする
 - スクリプトでのステータスバーの更新を許可する：有効にする
 - スクリプトによる貼り付け処理の許可：ダイアログを表示する
 - スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する：有効にする

4 [ログイン] をクリックします。
デバイス設定の選択画面が表示されます。

5 デバイス設定の一覧から、編集するデバイス設定をクリックします。




デバイス設定の編集画面が表示されます。

デバイス設定編集ツールを起動する（オンプレミス接続の場合）

- 1 スタートメニューから [FUJIFILM デバイス設定編集ツール] > [FUJIFILM デバイス設定編集ツール] を選択します。
起動画面が表示されます。

 **補足**

- ・ デスクトップの [FUJIFILM デバイス設定編集ツール]  のショートカットをダブルクリックしても、起動画面が表示されます。

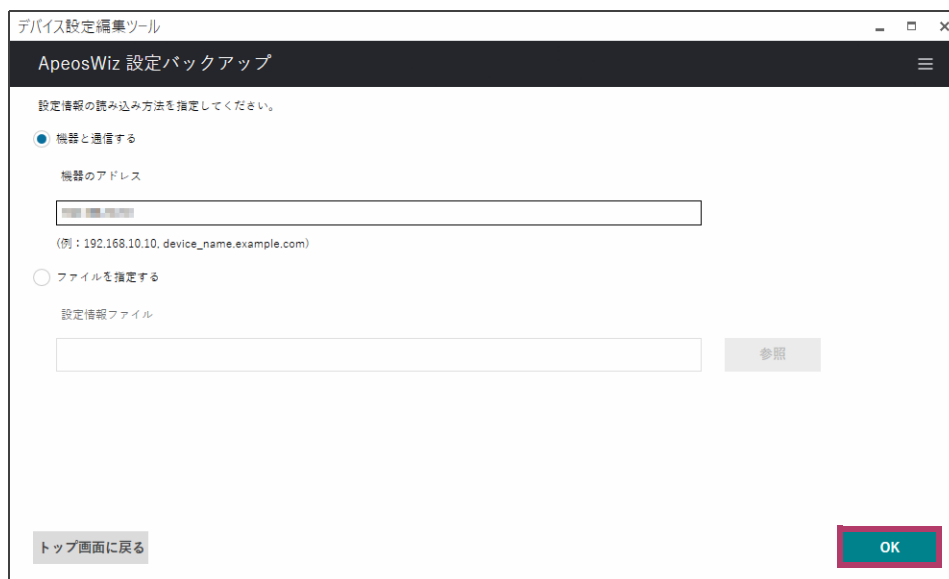
- 2 [機器に接続] をクリックします。



- 3 設定データを取得する複合機の IP アドレスを指定して、[OK] をクリックします。

 **補足**

- ・ PC 上や共有フォルダにある設定情報ファイルを指定する場合は、ファイル名をフルパスで指定して、[OK] をクリックしたあと、手順 5 に進みます。



4 複合機の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

設定情報の読み込み方法を指定してください。

● 機器と通信する

機器のアドレス

機器と通信するためのユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

キャンセル OK

トップ画面に戻る OK

補足

- ・次のメッセージが表示された場合は、[継続する] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

設定情報の読み込み方法を指定してください。

● 機器と通信する

機器のアドレス

このPCには、機器の自己証明書がインストールされていません。
デバイス設定編集ツールの動作を継続しますか？

継続しない 継続する

トップ画面に戻る OK

5 データを参照するためのパスワードを入力して、[OK] をクリックします。



- パスワードは、設定バックアップ (複合機のカスタムサービスまたはプラグイン) で設定します。



デバイス設定の編集画面が表示されます。

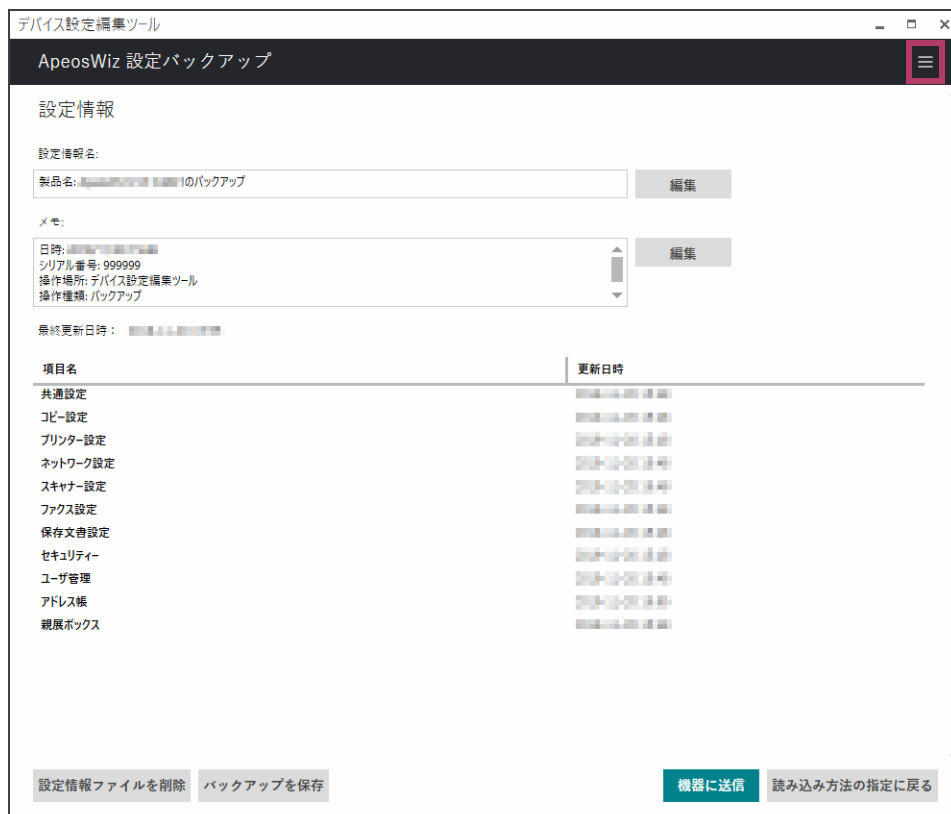
デバイス編集設定ツールを終了する

操作が終了したら、次の手順でツールを終了します。

1 ヘッダーの > [終了] の順に選択します。



- ウィンドウの右上の [×] ボタンをクリックしても終了します。



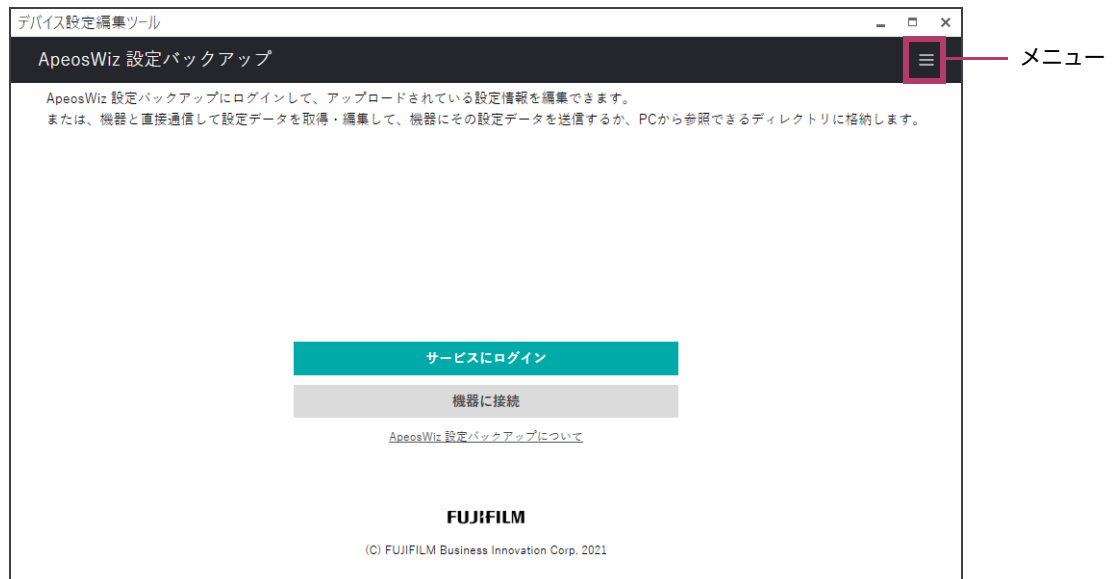
- 2** 終了を確認する画面で [OK] をクリックします。
デバイス設定編集ツールが終了します。

デバイス設定編集ツールの画面構成

デバイス設定編集ツールの画面構成について説明します。

ログイン画面

デバイス設定編集ツールにログインしたときに表示される画面です。



表示内容	説明
サービスにログイン	クラウド接続する場合にクリックします。
機器に接続	複合機とオンプレミス接続する場合にクリックします。
メニュー	クリックすると、メニュー画面が表示されます。次のどれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプ ・バージョン情報 ・Readme ・終了

デバイス設定の選択画面（クラウド接続）

クラウド接続で、デバイス設定編集ツールにログインしたときに表示される画面です。



表示内容	説明
ヘッダー	ログイン情報とメニューが表示されます。
ログインユーザー名	現在ログインしているユーザー名が表示されます。
メニュー	クリックすると、メニュー画面が表示されます。次のどれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプ ・バージョン情報 ・Readme ・終了
検索ボックス	検索ボックスにテキストを入力すると、入力した文字を含む、デバイス設定データが検索され、表示されます。
デバイス設定の一覧	設定内容を表示・編集できるデバイス設定データが一覧で表示されます。表示・編集するデバイス設定の設定情報名を選択すると、デバイス設定の編集画面が表示されます。バックアップファイルがない場合、またはログインユーザーがバックアップファイルをすべて削除した場合は「編集できるバックアップファイルはありません」というメッセージが表示されます。
一時保存ファイルの読み込み	PC に保存済みの一時保存ファイルがある場合に表示されます。クリックすると、PC に保存済みの一時保存ファイルをインポートします。
一時保存したデータの削除	PC に保存済みの一時保存ファイルがある場合に表示されます。クリックすると、PC に保存済みの一時保存ファイルが削除されます。

デバイス設定の編集画面（クラウド接続）

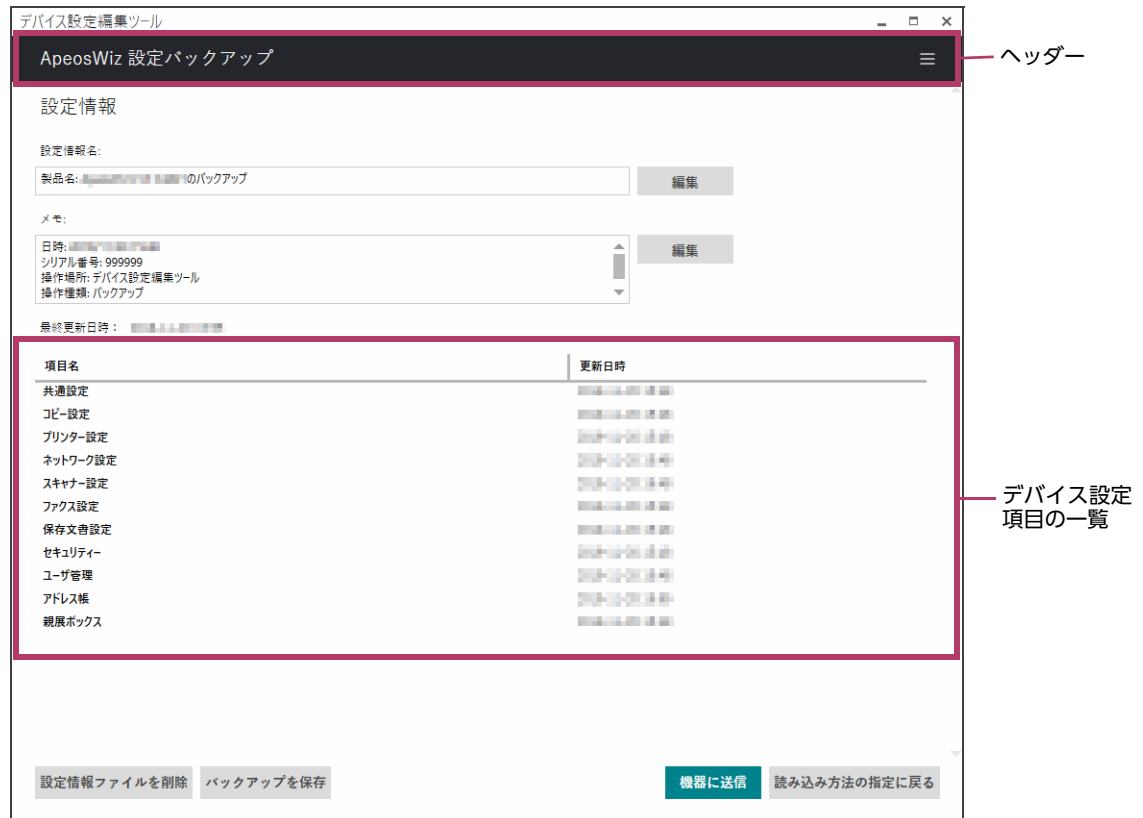
デバイス設定を選択したあとに表示される画面です。

表示内容	説明
ヘッダー	メニューが表示されます。
ログインユーザー名	ログインユーザー名が表示されます。
メニュー	クリックすると、メニュー画面が表示されます。次のどれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプ ・バージョン情報 ・Readme ・終了
設定情報名	デバイス設定データの名前が表示されます。設定情報名は、設定バックアップでバックアップを実行したときに、自動的に設定されます。
編集	設定情報名を編集するときにクリックします。最大文字数は 128 文字です。
メモ	デバイス設定データに設定されたメモが表示されます。メモは、設定バックアップでバックアップを実行したときに、自動的に設定されます。
編集	メモを編集するときにクリックします。テキストは複数行入力できます。最大文字数は 512 文字です。メモを編集することで、メモを目印にして、設定情報を見つけやすくなります。
最終更新日時	デバイス設定データの最終更新日時が表示されます。
デバイス設定項目の一覧	デバイス設定項目と、その項目の最終更新日時が表示されます。
設定情報ファイルを削除	表示されているデバイス設定データを ApeosWiz 設定バックアップから削除します。
一時保存	編集中のデバイス設定データを PC に保存するときにクリックします。

表示内容	説明
サービスに送信	ApeosWiz 設定バックアップに、デバイス設定情報を送信するときにクリックします。
一覧に戻る	クリックすると、デバイス設定の選択画面に戻ります。

デバイス設定の編集画面（オンプレミス接続）

デバイス設定ファイルを取得したあとに表示される画面です。



表示内容	説明		
ヘッダー	メニューが表示されます。		
<table border="1"> <tr> <td>メニュー</td> <td> クリックすると、メニュー画面が表示されます。次のどれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップを保存 ・バックアップをインポート ・ヘルプ ・バージョン情報 ・Readme ・終了 </td> </tr> </table>	メニュー	クリックすると、メニュー画面が表示されます。次のどれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップを保存 ・バックアップをインポート ・ヘルプ ・バージョン情報 ・Readme ・終了 	
メニュー	クリックすると、メニュー画面が表示されます。次のどれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップを保存 ・バックアップをインポート ・ヘルプ ・バージョン情報 ・Readme ・終了 		
設定情報名	デバイス設定データの設定情報名が表示されます。設定情報名は、設定バックアップでバックアップを実行したときに、自動的に設定されます。		
<table border="1"> <tr> <td>編集</td> <td>設定情報名を編集するときにクリックします。最大文字数は 128 文字です。</td> </tr> </table>	編集	設定情報名を編集するときにクリックします。最大文字数は 128 文字です。	
編集	設定情報名を編集するときにクリックします。最大文字数は 128 文字です。		
メモ	デバイス設定データに設定されたメモが表示されます。メモは、設定バックアップでバックアップを実行したときに、自動的に設定されます。		
<table border="1"> <tr> <td>編集</td> <td>メモを編集するときにクリックします。テキストは複数行入力できます。最大文字数は 512 文字です。メモを編集することで、メモを目印にして、設定情報を見つけやすくなります。</td> </tr> </table>	編集	メモを編集するときにクリックします。テキストは複数行入力できます。最大文字数は 512 文字です。メモを編集することで、メモを目印にして、設定情報を見つけやすくなります。	
編集	メモを編集するときにクリックします。テキストは複数行入力できます。最大文字数は 512 文字です。メモを編集することで、メモを目印にして、設定情報を見つけやすくなります。		

表示内容	説明
最終更新日時	デバイス設定データの最終更新日時が表示されます。
デバイス設定項目の一覧	デバイス設定項目と、その項目の最終更新日時が表示されます。
設定情報ファイルを削除	表示されているデバイス設定データを削除します。
バックアップを保存	編集中のデバイス設定データを PC に保存するときにクリックします。
機器に送信	移行先の複合機に、デバイス設定情報を送信するときにクリックします。
読み込み方法の指定に戻る	クリックすると、デバイスの IP アドレスを指定する画面に戻ります。

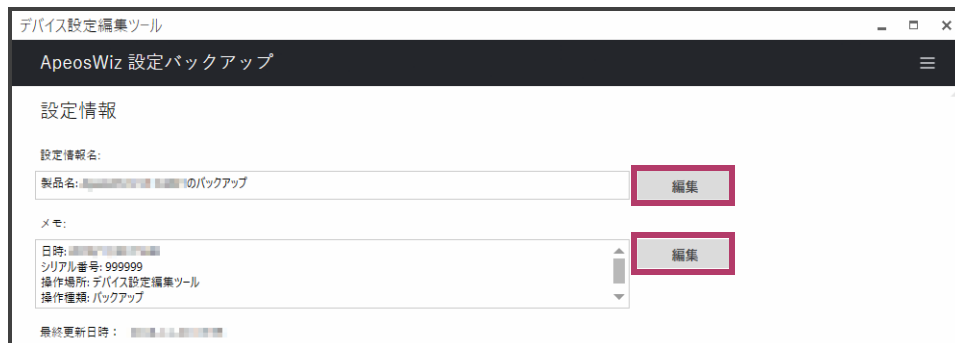
デバイス設定編集ツールを操作する

デバイス設定の編集画面の使い方について説明します。

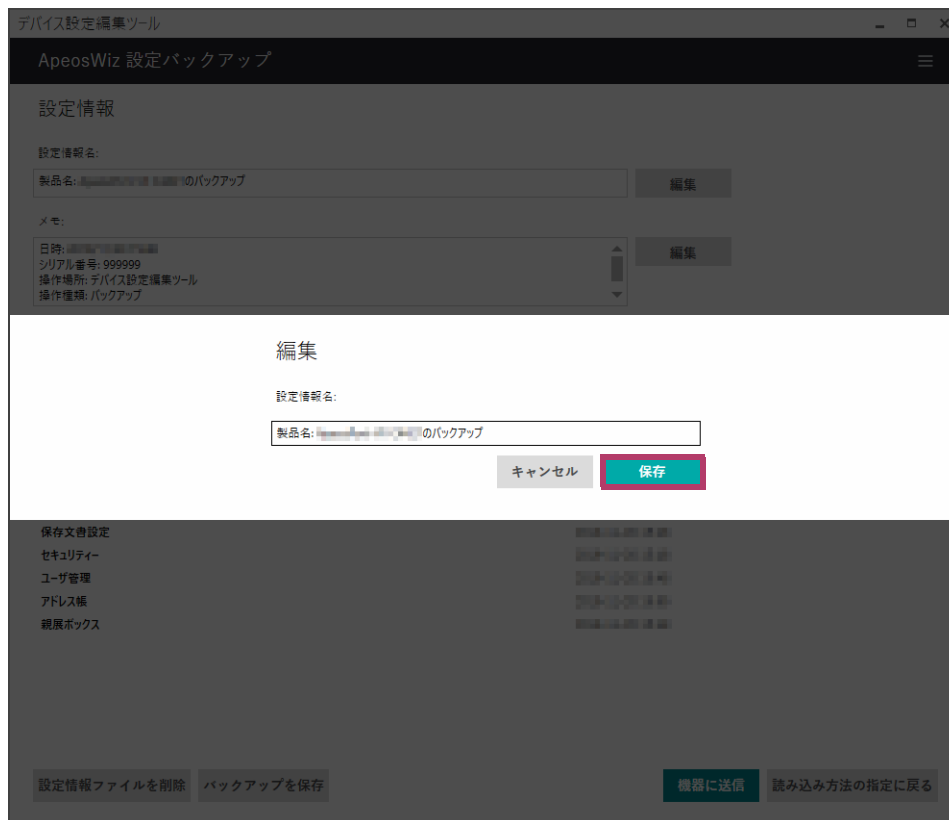
デバイス設定の基本情報を編集する

デバイス設定の設定情報名、メモを編集します。

- 1 デバイス設定の編集画面を表示します。
- 2 設定情報名またはメモの右横の「編集」をクリックします。

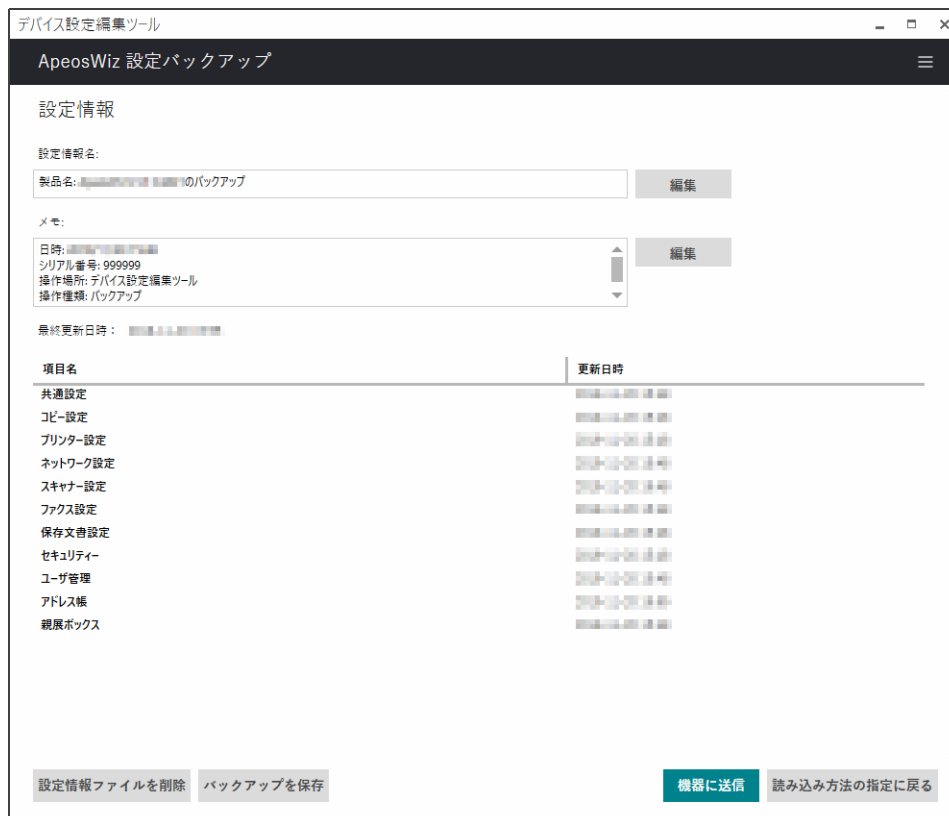


- 3** 設定情報名またはメモを入力して、[保存] をクリックします。
設定が変更され、デバイス設定の編集画面に戻ります。



デバイス設定項目を確認・編集する

- 1** デバイス設定の編集画面の項目名一覧から、設定を確認・編集する項目名をクリックします。



2 各項目を確認・編集します。



注記

- 表示される設定名の数は、機種によって異なります。移行元の複合機にない機能（設定名）は表示されません。
- 移行元の複合機にはあるが、移行先にはない機能（設定名）もデバイス設定ツールで表示されるため、設定した値が移行先の複合機に必ず反映されるとは限りません。



補足

- 読み込んだ値が設定できる値の範囲外の場合、設定項目の枠が黄色く表示されます。黄色い枠が表示されている項目を正しい範囲内に設定したら、[更新] をクリックできるようになります。

⚠️ 正しい範囲内の設定値を入力してください。

- 検索ボックスにテキストを入力すると、項目名に該当する文字列がある場合、その行だけが項目名の一覧に表示されます。

製品名: ApeosPort-V7i C4421 のバックアップ
共通設定

検索...

共通設定

1 編集する共通設定の値を変更して、[更新] をクリックします。

デバイス設定編集ツール
_ □ ×

ApeosWiz 設定バックアップ
☰

製品名: ApeosPort-V7i C4421 のバックアップ
共通設定

設定名	値
節電モードの設定 > 節電モード移行遅延 > 最終操作からスリープモード(分)	60 + -
節電モードの設定 > 節電モード移行遅延 > 最終操作から低電力モード(分)	60 + -
レポート設定 > 通信管理レポート	自動出力する ▼
レポート設定 > ジョブフローエラーレポート	自動出力しない ▼
レポート設定 > ジョブ履歴レポート	自動出力しない ▼
レポート設定 > 未送信レポート	自動出力する ▼
レポート設定 > レポート出力ボタンを表示	する ▼
レポート設定 > 取消し文書の未送信レポート	自動出力しない ▼
レポート設定 > 親展受信レポート	自動出力する ▼
レポート設定 > 通信管理レポート - 相手表示	先端40桁を表示 ▼
レポート設定 > 転送モニターレポート	未送信レポートのみ出力 ▼

キャンセル
更新

設定名	値
節電モードの設定>節電モード移行時間>最終操作からスリープモード (分)	1 ~ 240 (分) 補足 ・低電力モードが無効の場合は無視されます。 ・最大値は、機種によって異なります。
節電モードの設定>節電モード移行時間>最終操作から低電力モード (分)	1 ~ 240 (分) 補足 ・低電力モードが無効の場合は無視されます。 ・最大値は、機種によって異なります。
レポート設定>通信管理レポート	自動出力する 自動出力しない
レポート設定>ジョブフローエラーレポート	自動出力しない 自動出力する
レポート設定>ジョブ履歴レポート	自動出力しない 自動出力する
レポート設定>未送信レポート	自動出力しない 自動出力する
レポート設定>レポート出力ボタンの表示	しない する
レポート設定>取消し文書の未送信レポート	自動出力しない 自動出力する
レポート設定>親展受信レポート	自動出力しない 自動出力する
レポート設定>通信管理レポート - 相手表示	先端 40 桁を表示 後端 40 桁を表示
レポート設定>転送モニターレポート	自動出力する 未送信レポートのみ出力 自動出力しない
レポート設定>同報 / 集信レポート	自動出力しない 自動出力する 通信エラー時のみ自動出力 [すべての通信] 通信エラー時のみ自動出力 [エラーが発生した通信のみ]
画面 / ボタンの設定> USB メモリー検出時の画面表示	しない スキャナー (USB メモリー保存) 文書プリント デジカメプリント 機能選択画面 カスタムサービス
画面 / ボタンの設定>アップダウンボタンの操作	押し続け操作を禁止 押し続け操作を許可
画面 / ボタンの設定>キーボード入力制限	しない する (ASCII のみ)
画面 / ボタンの設定>セキュリティ警告 -SNMP 設定	警告画面表示しない 警告画面を表示する
画面 / ボタンの設定>セキュリティ警告 -グローバル IP アドレス	警告画面表示しない 警告画面を表示する

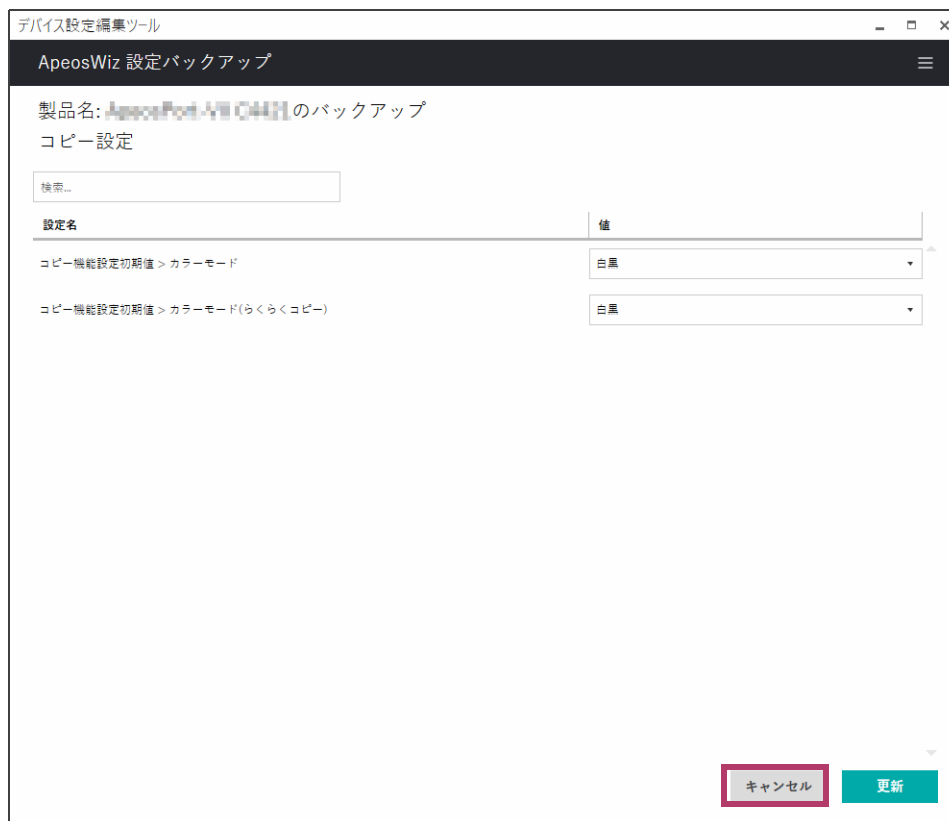
設定名	値
画面 / ボタンの設定>セキュリティ警告 - 機械管理者設定	警告画面表示しない 警告画面を表示する
画面 / ボタンの設定>ワンタッチボタンの割り当て	W85 - タイプ 1 W85 - タイプ 2 W70 - タイプ 1 W70 - タイプ 2 S104 - ワンタッチキーなし
画面 / ボタンの設定>宛先確認 - ファクス / インターネットファクス>基本画面以外でのスタート動作	スタート禁止 スタート許可
画面 / ボタンの設定>宛先確認 - ファクス / インターネットファクス>基本画面での宛先確認	しない 複数宛先時のみする 常にする
画面 / ボタンの設定>宛先確認 - ファクス / インターネットファクス>基本画面以外での宛先確認	しない 複数宛先時のみする 常にする
画面 / ボタンの設定>宛先確認 - メール	しない 複数宛先時のみする 常にする
画面 / ボタンの設定>自動リセット後の画面	操作中の機能画面 ホーム 初期表示画面
画面 / ボタンの設定>初期表示画面	ホーム コピー らくらくコピー ファクス / インターネットファクス らくらくファクス スキャナー (メール送信) スキャナー (ボックス保存) スキャナー (PC 保存) スキャナー (URL 送信) スキャナー (WSD) *1 文書プリント デジカメプリント プライベートプリント ボックス操作 ジョブメモリー ジョブフロー BMLinkS ジョブ確認 / 設定 機械確認 (メーター確認) 登録 / 確認 外部アクセス リモートアシスタンス 画面輝度調整 総合画質調整 プリンターモード ファクス受信モード 通信管理レポート スキャン送信 インターネットファクス ジョブ情報 アドレス帳 ID カードコピー ポーリング予約

設定名	値
画面 / ボタンの設定>初期表示画面	認証プリント セキュリティプリント サンプルプリント 時刻指定プリント カスタムサービス {1-20} カスタムサービス {21-64}
画面 / ボタンの設定>消耗品情報画面の表示	しない 電源投入時 自動リセット時

*1 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

コピー設定

1 編集するコピー設定の値を変更して、[更新] をクリックします。



設定名	値
コピー機能設定初期値>カラーモード	初期値を設定しない 自動 白黒 フルカラー 単色カラー 2色カラー
コピー機能設定初期値>カラーモード (らくらくコピー)	自動 白黒 カラー

プリンター設定

1 編集するプリンター設定の値を変更して、[更新] をクリックします。



設定名	値
メモリー設定 > 受信バッファ-LPD > スプールしない > メモリ量 (KB)	1024
メモリー設定 > 受信バッファ-LPD > スプール方式 (する・しない)	スプールする

設定名	値
メモリー設定 > 受信バッファ-LPD > スプールしない > メモリ量 (KB)	1024 ~ 2048 (KB) 32 KB 単位で指定します。
メモリー設定 > 受信バッファ-LPD > スプール方式 (する・しない)	スプールしない スプールする

ネットワーク設定

1 編集するネットワーク設定の値を変更して、[更新] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosWiz C4421 のバックアップ

ネットワーク設定

検索...

設定名	値
EPプロキシサーバー設定 > HTTPSプロキシサーバー-認証	無効
EPプロキシサーバー設定 > HTTPSプロキシサーバー-サーバー名	
EPプロキシサーバー設定 > HTTPSプロキシサーバー-ポート番号	8080
EPプロキシサーバー設定 > HTTPSプロキシサーバー-ログイン名	
EPプロキシサーバー設定 > プロキシサーバー指定方法	全てのプロトコルに同じ設定
プロキシサーバー設定 > プロキシサーバーの使用	する
プロキシサーバー設定 > HTTPプロキシサーバー-サーバー名	
プロキシサーバー設定 > HTTPプロキシサーバー-ポート番号	8080
プロキシサーバー設定 > HTTPプロキシサーバー-ログイン名	
プロトコル設定 > TCP/IP-共通設定 > IP動作モード	デュアルスタック
プロトコル設定 > TCP/IP-ネットワーク設定 > IPv4-DNS設定 > DHCPからのアドレス取得	しない

キャンセル 更新

設定名	値
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - 認証	無効 有効
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - サーバー名	255 文字以内で入力します。
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - ポート番号	1 ~ 65535
EP プロキシサーバー設定 > HTTPS プロキシサーバー - ログイン名	31 文字以内で入力します。 半角英数字 (A-Z, a-z, 0-9) と 半角ハイフン (-) が使用できま す。漢字、ひらがな、片仮名、記 号は使用できません。
EP プロキシサーバー設定 > プロキシサーバー指定方法	全てのプロトコルに同じ設定 プロトコルごとに設定
プロキシサーバー設定 > プロキシサーバーの使用	しない する

設定名	値
プロキシサーバー設定> HTTP プロキシサーバー - サーバー名	IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。 アドレスが複数存在する場合は、セミコロン (;) で区切って入力します。 半角英数字、半角ハイフン (-) が使用できます。アドレス中の区切り文字には、ドット (.) およびコロン (:) を使用します。 大文字 / 小文字は区別しません。 FQDN 表記の場合、文字列の先頭および最後に半角ハイフン (-) は使用できません。
プロキシサーバー設定> HTTP プロキシサーバー - ポート番号	1 ~ 65535
プロキシサーバー設定> HTTP プロキシサーバー - ログイン名	31 文字以内で入力します。 半角英数字 (A-Z、a-z、0-9) と半角ハイフン (-) が使用できます。 漢字、ひらがな、片仮名、記号は使用できません。大文字と小文字は区別しません。
プロトコル設定> TCP/IP- 共通設定> IP 動作モード	IPv4 モード IPv6 モード デュアルスタック
プロトコル設定> TCP/IP- ネットワーク設定> IPv4-DNS 設定> DHCP からのアドレス取得	しない する
プロトコル設定> TCP/IP- ネットワーク設定> IPv4-DNS 設定> DNS サーバーアドレス {1-3}	IPv4 プロトコルにだけ有効です。 IPv4 リテラル形式で入力できます。 0 ~ 9、およびドット (.) が使用できます。
プロトコル設定> TCP/IP- ネットワーク設定> IPv4- ゲートウェイアドレス	IPv4 プロトコルにだけ有効です。 IPv4 リテラル形式で入力できます。 0 ~ 9、およびドット (.) が使用できます。
プロトコル設定> TCP/IP 設定 (LAN2) > IPv4-DNS 設定> DHCP からのアドレス取得	しない する
プロトコル設定> TCP/IP 設定 (LAN2) > IPv4-DNS 設定> DNS サーバーアドレス {1-3}	IPv4 プロトコルにだけ有効です。 IPv4 リテラル形式で入力できます。 0 ~ 9、およびドット (.) が使用できます。
プロトコル設定> TCP/IP 設定 (LAN2) > IPv4-IP アドレス取得方法	手動で設定 DHCP から取得 BOOTP から取得 DHCP / AutoIP から取得 RARP から取得
プロトコル設定> TCP/IP 設定 (LAN2) > IPv4-IP アドレス	IPv4 プロトコルにだけ有効です。 IPv4 リテラル形式で入力できます。 0 ~ 9、およびドット (.) が使用できます。

設定名	値
プロトコル設定> TCP/IP 設定 (LAN2) > IPv4- ゲートウェイアドレス	IPv4 プロトコルにだけ有効です。 IPv4 リテラル形式で入力できます。 0～9、およびドット (.) が使用 できます。
プロトコル設定> TCP/IP 設定 (LAN2) > IPv4- サブネットマスク	IPv4 プロトコルにだけ有効です。 IPv4 リテラル形式で入力できます。 0～9、およびドット (.) が使用 できます。
ポート設定> BMLinkS > BMLinkS- ポート>起動	停止 起動
ポート設定> BMLinkS > プリントサービス・ポート番号	1～65535
ポート設定> BMLinkS > ディスカバリー・ポート番号	1～65535
ポート設定> Bonjour > Bonjour - ポート>起動	停止 起動
ポート設定> FTP クライアント> FTP クライアント - ポート>起動	停止 起動
ポート設定> IPP > IPP- ポート>起動	停止 起動
ポート設定> IPP > ポート番号	0または1～65535
ポート設定> LPD > LPD- ポート>起動	停止 起動
ポート設定> LPD > LPD- ポート番号	1～65535
ポート設定> LPD- セッション数	1～10
ポート設定> Port9100 > Port9100- ポート>起動	停止 起動
ポート設定> Port9100 > ポート番号	1～65535
ポート設定> SIP > SIP- ポート>起動	停止 起動
ポート設定> SIP > ポート番号	1～65535
ポート設定> SMB クライアント> SMB クライアント - ポート>起動	停止 起動
ポート設定> ThinPrint	停止 起動
ポート設定> ThinPrint > ポート番号	1～65535
ポート設定> UPnP ディスカバリー	停止 起動
ポート設定> UPnP ディスカバリー> ポート番号	1～65535
ポート設定> USB > USB- ポート>起動	停止 起動
ポート設定> USB-Adobe 通信プロトコル	標準 バイナリー TBCP RAW

設定名	値
ポート設定> USB-JCL	無効 有効
ポート設定> USB- 自動排出時間	5 ~ 1275 本機にデータが送られなくなっ てから、用紙を自動排出するま での時間です。5 秒単位で入力 できます。
ポート設定> USB- プリントモード指定	自動 HexDump ART IV ART EX HPGL2 ESC/P 201H PostScript TIFF PCL KS5843 KSSM KS5895
ポート設定> WebDAV	停止 起動
ポート設定> WebDAV > ポート番号	1 ~ 65535
ポート設定> WebDAV > 操作の時間制限	タイムアウトの時間です。1 ~ 65535 秒の範囲で 1 秒単位で 入力できます。
ポート設定> WSD > WSD スキャン・ポート> 起動	停止 起動
ポート設定> WSD > WSD プリント・ポート> 起動	停止 起動
ポート設定> WSD > WSD ポート番号	1 ~ 65535
ポート設定> メール受信> メール受信 - ポート> 起動	停止 起動
ポート設定> メール送信> メール送信 - ポート> 起動	停止 起動
ポート設定> メール通知サービス	停止 起動
メール受信プロトコル	SMTP 受信 POP3 受信
メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - サーバー名 / アド レス	IPv4 アドレス、IPv6 アドレスお よび FQDN 形式で指定できます。 ASCII 文字を入力できます。
メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - 受信間隔 (分)	1 ~ 120 分
メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - ポート番号	1 ~ 65535
メール送受信設定> POP3 サーバー設定> POP3 サーバー - ログイン名	65 バイトまでの ASCII 文字が 入力できます。

設定名	値
メール送受信設定 > SMTP サーバー設定 > SMTP サーバー - 送信時の認証方式	利用しない POP による認証 SMTP AUTH
メール送受信設定 > SMTP サーバー設定 > SMTP サーバー - 送信時の認証ユーザ	外部認証のユーザー 本体設定
メール送受信設定 > SMTP サーバー設定 > SMTP サーバー - 送信時の認証ユーザ > 外部認証のユーザ	送信を中止する 本体設定情報で再認証する
メール送受信設定 > SMTP サーバー設定 > SMTP サーバー - ポート番号	1 ~ 65535
メール送受信設定 > SMTP サーバー設定 > SMTP サーバー - ログイン名	「送信時の認証方式」で「SMTP AUTH」が指定された場合に有効です。 SMTP AUTH で利用するアカウント名を指定します。 65 バイトまでの ASCII 文字が入力できます。
メール送受信設定 > SMTP サーバー設定 > SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス	IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。 ASCII 文字を入力できます。
本体メールアドレス / ホスト名 > ドメイン名	DNS ドメイン名です。 通常、表記されない最後の「.」（ドット）を含めて、255 文字以内で入力します。
本体メールアドレス / ホスト名 > ドメイン名 (LAN2)	DNS ドメイン名です。 通常、表記されない最後の「.」（ドット）を含めて、255 文字以内で入力します。
本体メールアドレス / ホスト名 > メールアドレス	128 文字までの ASCII 文字が入力できます。 入力できる文字は、英数字、「@」 「.（ピリオド）」「+」「-」「=」 「_（アンダスコア）」「/」「<」 「>」です。 「username@domain.name」の形式で入力します。
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 認証システムの設定 > 認証システムの設定	Kerberos (Windows2000) Kerberos (Solaris) 認証エージェント LDAP SMB Azure Active Directory
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > サーバーのソフトウェア	その他のソフトウェア Microsoft ActiveDirectory Novell NetWare5.* IBM Domino6.* Microsoft Exchange
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス	64 バイトまで入力できます。
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > プライマリーサーバー - 名前 / アドレス	64 バイトまで入力できます。
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 入力用ユーザー名の属性	32 文字までの ASCII 文字を入力できます。

設定名	値
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 認証方式	直接認証 ユーザー属性認証
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 検索起点エントリー (DN)	半角 255 文字、全角 127 文字までの UTF-8 文字が入力できます。
外部認証サーバー / ディレクトリーサービス設定 > LDAP サーバー / ディレクトリーサービス設定 > 検索用ログイン名	半角 255 文字、全角 127 文字までの UTF-8 文字が入力できます。 LDAP への認証が必要ない場合には設定しないでください。

スキャナー設定

1 編集するスキャナー設定の値を変更して、[更新] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPod M70 C4421 のバックアップ

スキャナー設定

検索...

設定名	値
カラーモード	白黒(2階調)
ミックスサイズ原稿送り	しない
原稿の画質	文字
出力ファイル形式 > 1ページずつ分割	しない
出力ファイル形式 > PDF > 圧縮方式 > ユーザー指定 > グレースケール/1ページ / 背景部分	JPEG
出力ファイル形式 > 圧縮方式	自動
出力ファイル形式 > 圧縮方式 > 白黒ページ/文字部分	MMR圧縮
出力ファイル形式 > 出力ファイル形式	PDF
読み取り解像度	200 dpi

キャンセル 更新

設定名	値
カラーモード	フルカラー グレースケール (256 階調) 白黒 (2 階調) 自動
ミックスサイズ原稿送り	しない する
原稿の画質	文字 写真 文字 / 写真
出力ファイル形式 > 1 ページずつ分割	しない する

設定名	値
出力ファイル形式> PDF > 圧縮方式> ユーザー指定> グレースケール / カラーページ / 背景部分	JPEG JPEG+Flate
出力ファイル形式> 圧縮方式	自動 ユーザー指定
出力ファイル形式> 圧縮方式> 白黒ページ / 文字部分	MH 圧縮 MMR 圧縮 JBIG2 圧縮 (算術符号化) JBIG2 圧縮 (ハフマン符号化)
出力ファイル形式> 出力ファイル形式	TIFF/JPEG 自動選択 シングルページ TIFF マルチページ TIFF PDF XDW 高圧縮 PDF 高圧縮 XDW XPS 高圧縮 XPS PDF/A 高圧縮 PDF/A Microsoft Word (.doc) Microsoft Excel (.xls)
読み取り解像度	200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi

ファクス設定

1 編集するファクス設定の値を変更します。

設定名	値
ファクス動作制御 > 宛先の再入力	しない
ファクス動作制御 > 再入力時の同報指示	同報指示を禁止
自局情報 > 自局名	
自局情報 > 発信元名	

回線の設定

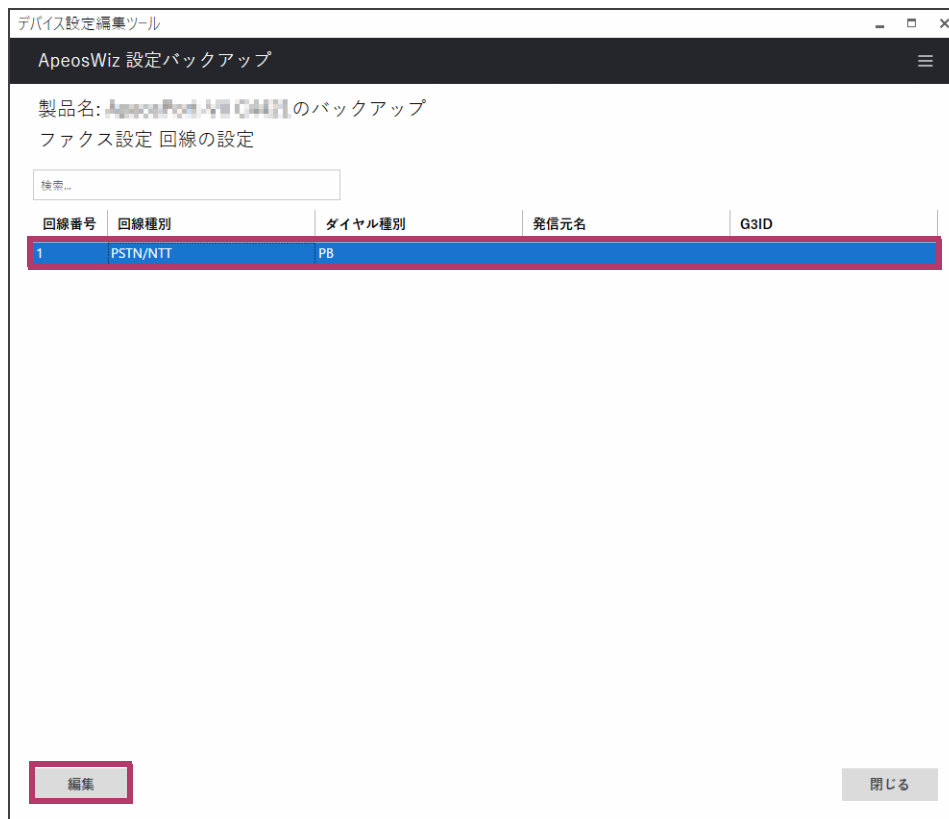
受信回線番号

電話番号/G3ID別ボックスセレクトター

キャンセル 更新

2 [回線の設定] をクリックします。

3 編集する設定の行を選択し、[編集] をクリックします。



4 項目の内容を変更して [更新] をクリックします。



5 [閉じる] をクリックします。 ファクス設定の編集画面に戻ります。

6 同様に、[受信回線番号] または [電話番号 / G3ID 別ボックスセレクトター] をクリックします。

7 手順 3 ~ 5 を繰り返します。

設定名	値
ファクス動作制御>宛先の再入力	しない する
ファクス動作制御>再入力必要時の同報指示	同報指示時は再入力しない 同報指示時も再入力する 同報指示を禁止
自局情報>自局名	20 文字までの ASCII 文字と半角カタカナを入力できます。
自局情報>発信元名	30 文字までの SJIS/ASCII 文字を入力できます。
[回線の設定] を選択したときの設定項目	
自局情報>回線 {1 -3} G3 回線種別	PSBN/NTT PBX
自局情報>回線 {1 -3} G3 ダイヤル種別	PB 10 pps 20 pps
自局情報>回線 {1 -3} 発信元名	30 文字までの SJIS/ASCII 文字を入力できます。
自局情報>回線 {1 -3} G3 ID	20 桁以内で 0 ~ 9、+、-、スペースが使用できます。
[受信回線番号] を選択したときの設定項目	
受信回線番号 {1-3}	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 受信回線別ボックスセレクターの回線番号です。
受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別ボックスセレクタ>回線 {1-3} の保存先	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 001-200 (親展ボックス番号)
受信回線番号 (SIP)	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 受信回線別ボックスセレクターの回線番号です。
受信文書の保存先 / 排出先>受信回線別ボックスセレクタ>回線 SIP の保存先	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 001-200 (親展ボックス番号)
[電話番号 /G3ID 別ボックスセレクター] を選択したときの設定項目	
電話番号 /G3ID 別ボックスセレクター番号 {XXX}	移行元の複合機に設定がある場合に、500 件まで表示されます。{XXX} には 3 桁までの番号が表示されます。
セレクト方法 {XXX}	ダイヤルイン 発信電話番号 G3ID
電話番号 /G3ID 別ボックスセレクター電話番号 {XXX}	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 ボックスセレクター機能を利用する場合に振り分ける電話番号を、20 桁以内で入力します。
振り分け先のボックス番号 {XXX}	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 ボックスセレクター機能を利用する場合に試用する親展ボックス番号を、3 桁以内で入力します。

保存文書設定

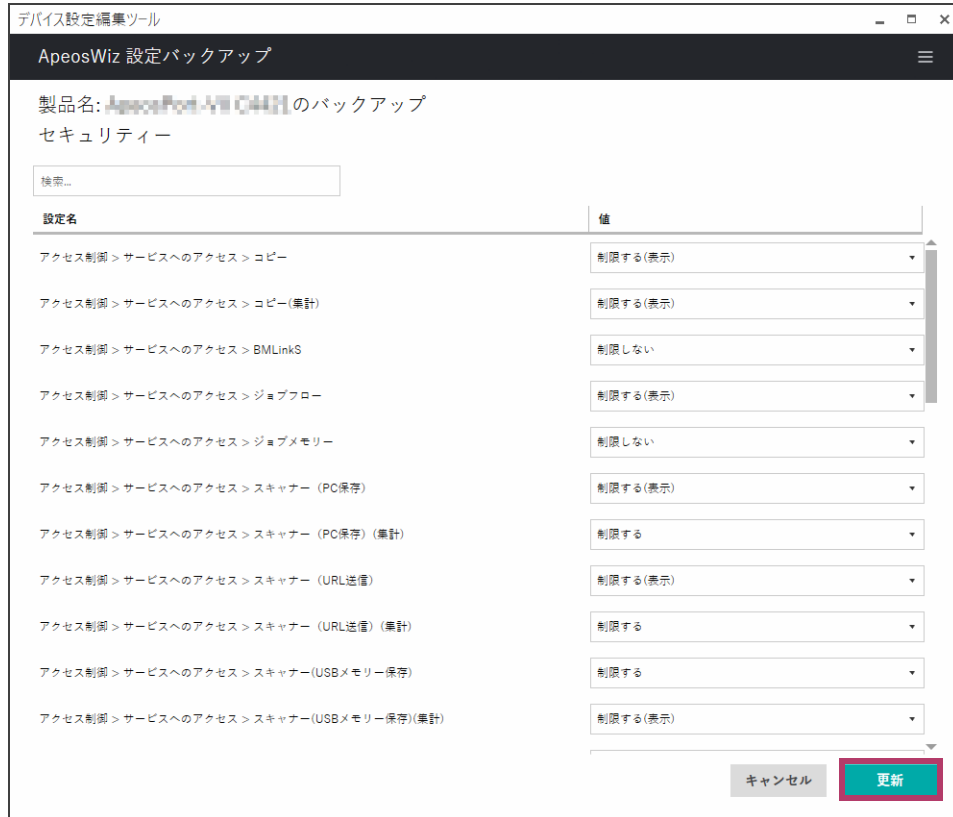
1 編集する保存文書設定の値を変更して、[更新] をクリックします。

設定名	値
ボックス文書の保存期間	設定しない
ボックス文書の保存期間 (日数)	7
ボックス文書の削除時刻 (時)	3
ボックス文書の削除時刻 (分)	0
蓄積プリント文書の保存設定	ボックス文書の設定に従う
蓄積プリント文書の保存設定 > 保存期間(時間)	4

設定名	値
ボックス文書の保存期間	設定しない 設定する
ボックス文書の保存期間 (日数)	1 ~ 14 日
ボックス文書の削除時刻 (時)	0 ~ 23
ボックス文書の削除時刻 (分)	0 ~ 59
蓄積プリント文書の保存設定	設定しない 設定する ボックス文書の設定に従う
蓄積プリント文書の保存設定 > 保存期間 (時間)	1 ~ 23

セキュリティ

1 編集するセキュリティ設定の値を変更して、[更新] をクリックします。



設定名	値
アクセス制御 > サービスへのアクセス > コピー	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御 > サービスへのアクセス > コピー (集計)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御 > サービスへのアクセス > BMLinkS	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御 > サービスへのアクセス > ジョブフロー	制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御 > サービスへのアクセス > ジョブメモリー	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御 > サービスへのアクセス > スキャナー (PC 保存)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御 > サービスへのアクセス > スキャナー (PC 保存) (集計)	制限しない 制限する
アクセス制御 > サービスへのアクセス > スキャナー (URL 送信)	制限する (表示) 制限する (非表示)

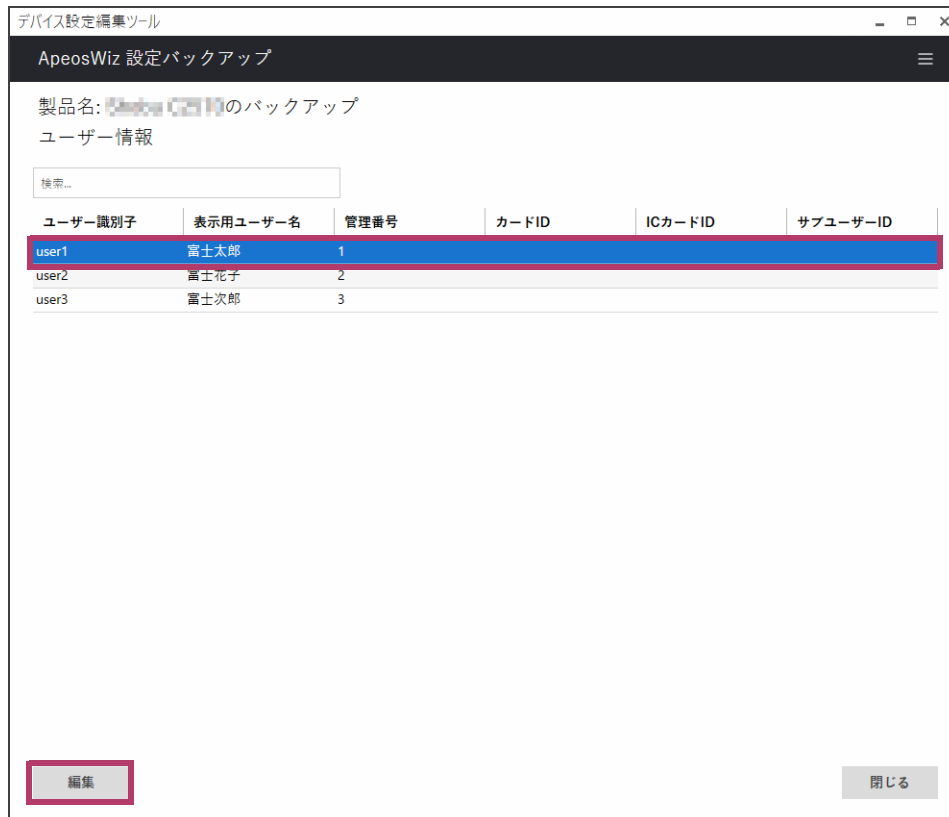
設定名	値
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (URL 送信) (集計)	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (USB メモリー 保存)	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (USB メモリー 保存) (集計)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (WSD)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (WSD) (集 計)	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (ボックス保 存)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (ボックス保 存) (集計)	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (メール送信)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>スキャナー (メール送信) (集計)	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>デジカメプリント	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>デジカメプリント (集計)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>ファクス/インターネット ファクス	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>ファクス/インターネット ファクス (集計)	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>プリンター	制限しない 制限する
アクセス制御>サービスへのアクセス>プリンター (集計)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>ボックス操作	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>外部アクセス *要外部ア クセスキット	制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>サービスへのアクセス>文書プリント	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)

設定名	値
アクセス制御>サービスへのアクセス>文書プリント (集計)	制限しない 制限する (表示) 制限する (非表示)
アクセス制御>デバイスへのアクセス (サービス)	制限しない 制限する
アクセス制御>デバイスへのアクセス (ジョブ)	制限しない 制限する
アクセス制御>デバイスへのアクセス (デバイス)	制限しない 制限する
アクセス制御>機能の使用制限>カラーコピーの使用	制限しない 制限する
アクセス制御>機能の使用制限>ボックスからのプリント	制限しない 制限する
アクセス制御>機能の使用制限>ボックスからの外部取り出し	制限しない 制限する
認証情報の設定>認証時の User ID 文字種	大文字小文字を区別する 大文字小文字を区別しない
認証方式の設定	認証しない 本体認証 外部認証 カスタム認証
認証方式の設定 (集計)	認証しない 本体集計 ネット集計 外部集計

ユーザー管理

ユーザー情報の編集

1 編集するユーザー情報の行を選択して、[編集] をクリックします。



2 ユーザー情報の内容を変更して、[保存] をクリックします。



ユーザー情報のエクスポート

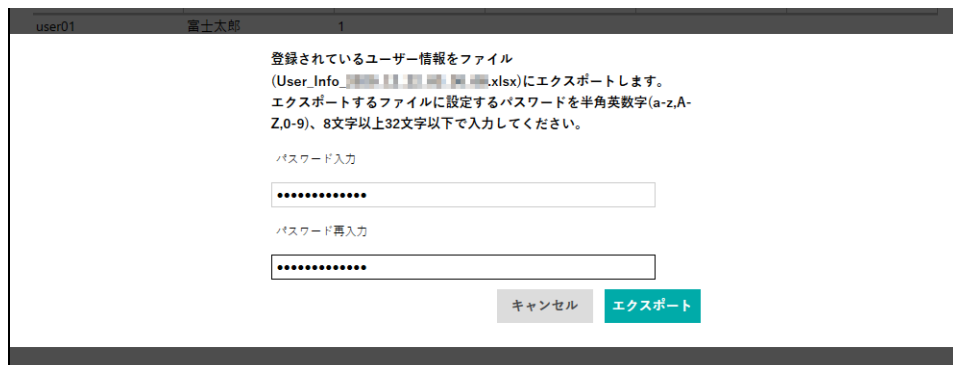
1 ユーザー情報の一覧画面で、次の操作をします。

(1) [ユーザー情報のエクスポート] をクリックします。



(2) エクスポートするファイルを保存するフォルダーを指定して、[OK] をクリックします。

(3) エクスポートするファイルに設定するパスワードを入力して、[エクスポート] をクリックします。



6D 参照

- ・エクスポートしたファイルの詳細は、「ユーザー設定情報」(P.98) を参照してください。

ユーザー情報のインポート

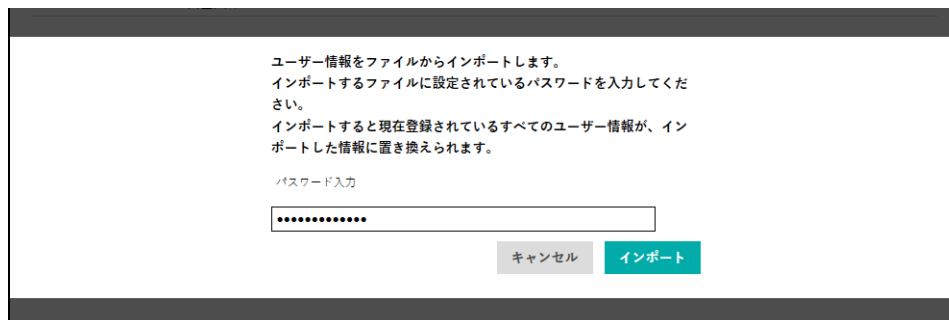
1 ユーザー情報の一覧画面で、次の操作をします。

(1) [ユーザー情報のインポート] をクリックします。



(2) インポートするファイルを指定して、[開く] をクリックします。

(3) インポートするファイルに設定されているパスワードを入力して、[インポート] をクリックします。



補足

- ・インポートするファイルの記述に間違いがあると、エラーになります。インポートするファイルと同じフォルダーにエラーログが出力されます。

ユーザー情報の詳細項目

設定名	値
ユーザー識別子	ユーザー識別子が表示されます。編集できません。
表示用ユーザー名	32文字までの文字が入力できます。
カードID	1～9999999までの数値が入力できます。
管理番号	管理番号が表示されます。編集できません。
ユーザの役割 {XXXX}	機械管理の権限 集計管理の権限 {XXXX}には4桁までの番号が表示されます。
ICカードID	ユーザー識別子とICカードIDが関連付けられている場合に表示されます。ASCII文字で32文字まで入力できます。 次の条件をすべて満たしている場合に編集できます。 - 本体認証、本体集計、ネット集計 - IC Card Gateが接続されている - システムデータ (ICカード番号関連付け制御) が有効 カスタム認証の場合は、表示されますが、編集できません。
サブユーザーID	ユーザー識別子にサブユーザーが関連付けられている場合に表示されます。
本体集計管理権利情報のサービス {xxxx}	該当する情報がある場合に表示されます。 {XXXX}には4桁までの番号が表示されます。本体集計管理のユーザー情報が複数ある場合は、複数表示されます。
本体集計管理制限対象のサービス	プリントサービス コピーサービス スキャンサービス ファクスサービス
本体集計管理カラーモード制限	制限なし 白黒のみ 白黒+少数色カラー カラーのみ 禁止
本体集計管理面数制限 {1-2}	面数制限がある場合に表示されます。
本体集計管理カラーモード {1-2}	カラー 白黒 少数色カラー
ネット集計管理権利情報>ネット集計管理権利情報 {XXXX}	{XXXX}には4桁までの番号が表示されます。 ネット集計管理権利情報が複数ある場合は、複数表示されます。
ネット集計管理権利情報>ネット集計管理制限対象のサービス	プリントサービス コピーサービス スキャンサービス ファクスサービス
電子メールアドレス	128文字以内 (7 bit ASCII) で入力できます。

宛先表



- ・移行元の複合機の機種によって、「宛先表」、「アドレス帳」のどちらかが表示されます。「アドレス帳」が表示される場合は、「アドレス帳」(P.56)を参照してください。

宛先表の編集

1 宛先表の一覧画面で、次の操作をします。

- (1) 編集する宛先を選択します。
- (2) [宛先の編集] をクリックします。

短縮番号	宛先名	宛先種別	宛先(番号/アドレス)
0001	富士太郎	ファクス	1234567899
0002	サーバ-転送先	サーバ	123.123.123.123
0003	富士花子	メール	test1@test1.test1
0004	社内向け	インターネットファクス	mail@sample.com
0005	運送会社	ファクス	1234567890
0006	取引先	ファクス	1234567890
0007	子会社	ファクス	3334445555
0008	親会社	ファクス	45667777
0009	委託先	ファクス	1234567899

2 宛先表の内容を変更して、[更新] をクリックします。

6d 参照

・「宛先表の詳細項目」(P.53)

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPrint-A11 C22173のバックアップ

宛先表の編集

短縮番号 0001

基本設定

設定名	値
宛先名	富士太郎
宛先種別	ファクス
索引文字	
宛先(ファクス番号)	1234567899

詳細設定

設定名	値
回線指定	外線
中継局への出力	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
通信モード	G3自動
送信画質	パネルの設定に従う
送信シート	<input type="checkbox"/> 添付する

キャンセル 更新

宛先表の追加

1 [宛先の追加] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPort-VII C22173のバックアップ

宛先表

検索...

短縮番号	宛先名	宛先種別	宛先(番号/アドレス)
0001	富士太郎	ファクス	1234567899
0002	サーバー転送先	サーバー	123.123.123.123
0003	富士花子	メール	test1@test1.test1
0004	社内向け	インターネットファクス	mail@sample.com
0005	運送会社	ファクス	1234567890
0006	取引先	ファクス	1234567890
0007	子会社	ファクス	3334445555
0008	親会社	ファクス	45667777
0009	委託先	ファクス	1234567899

宛先の編集 宛先の追加 宛先の削除 グループダイヤル コメント登録 閉じる

2 内容を追加して、[追加] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPort-VII C22173のバックアップ

宛先表の追加

短縮番号 0010

基本設定

設定名	値
宛先名	富士花子
宛先種別	ファクス
索引文字	
宛先(ファクス番号)	012345678

詳細設定

設定名	値
外線指定	外線
中継局への出力	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
通信モード	G3自動
送信品質	パケルの設定に従う

キャンセル 追加

宛先表の削除

- 1 宛先表の一覧画面で、次の操作をします。
 - (1) 削除する宛先を選択します。宛先は、複数選択できます。
 - (2) [宛先の削除] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPort-VII C22173のバックアップ

宛先表

検索...

短縮番号	宛先名	宛先種別	宛先(番号/アドレス)
0001	富士太郎	ファクス	1234567899
0002	サーバー転送先	サーバー	123.123.123.123
0003	富士花子	メール	test1@test1.test1
0004	社内向け	インターネットファクス	mail@sample.com
0005	運送会社	ファクス	1234567890
0006	取引先	ファクス	1234567890
0007	子会社	ファクス	3334445555
0008	親会社	ファクス	45667777
0009	委託先	ファクス	1234567899

宛先の編集 宛先の追加 宛先の削除 追加 デザイン 印刷 登録 閉じる

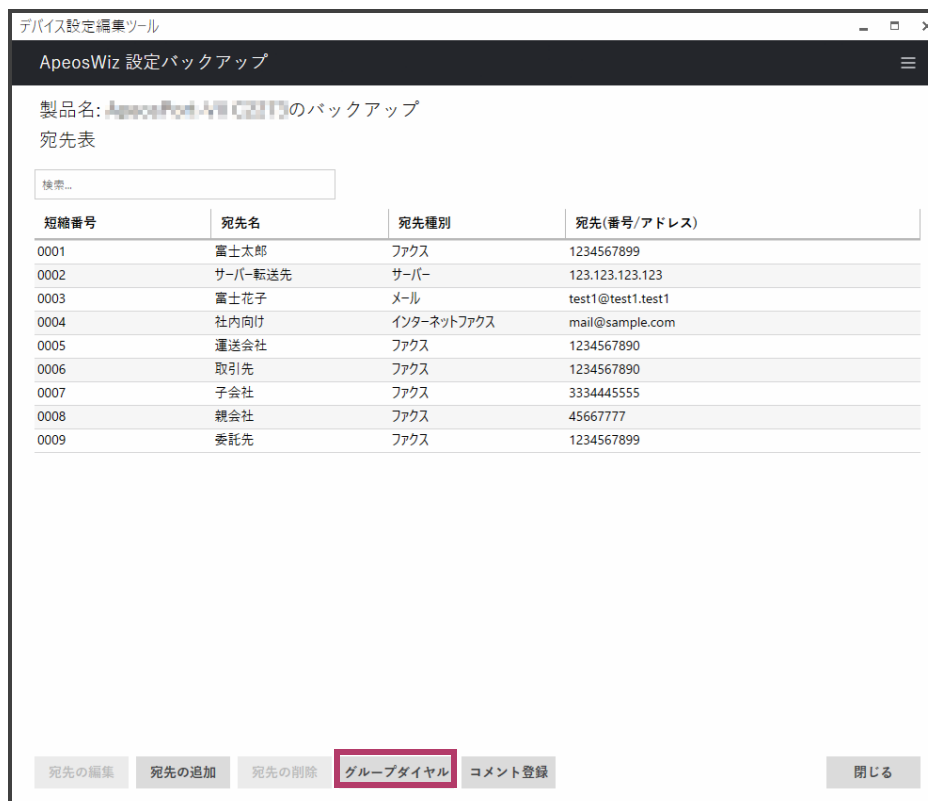
(1)

(2)

- 2 削除を確認する画面で [OK] をクリックします。

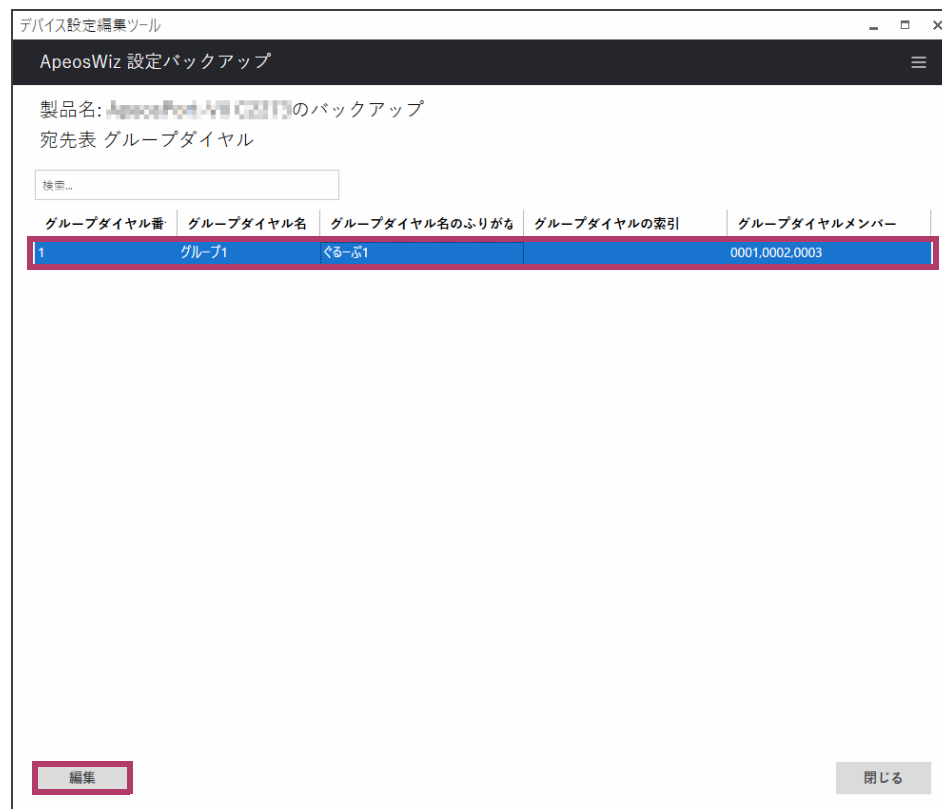
グループダイヤル

1 [グループダイヤル] をクリックします。



2 グループダイヤルの一覧画面で、次の操作をします。

- (1) 編集するグループダイヤルを選択します。
- (2) [編集] をクリックします。



3 編集するグループダイヤルの設定値を変更し、[更新] をクリックします。

設定名	値
グループダイヤル番号 1	1
グループダイヤル名 1	グループ1
グループダイヤル名のふりがな 1	グループ1
グループダイヤルの索引 1	
グループダイヤルメンバー 1	0001,0002,0003

4 作業状態の保存を確認する画面で [OK] をクリックします。

コメント登録

1 [コメント登録] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPort-WII C2213のバックアップ

宛先表

検索...

短縮番号	宛先名	宛先種別	宛先(番号/アドレス)
0001	富士太郎	ファクス	1234567899
0002	サーバ-転送先	サーバ	123.123.123.123
0003	富士花子	メール	test1@test1.test1
0004	社内向け	インターネットファクス	mail@sample.com
0005	運送会社	ファクス	1234567890
0006	取引先	ファクス	1234567890
0007	子会社	ファクス	3334445555
0008	親会社	ファクス	45667777
0009	委託先	ファクス	1234567899

宛先の編集 宛先の追加 宛先の削除 グループダイヤル **コメント登録** 閉じる

2 コメント登録画面で、次の操作をします。

▶ コメントを登録または変更する

- (1) 登録または変更する番号を選択します。
- (2) [登録 / 変更] をクリックします。

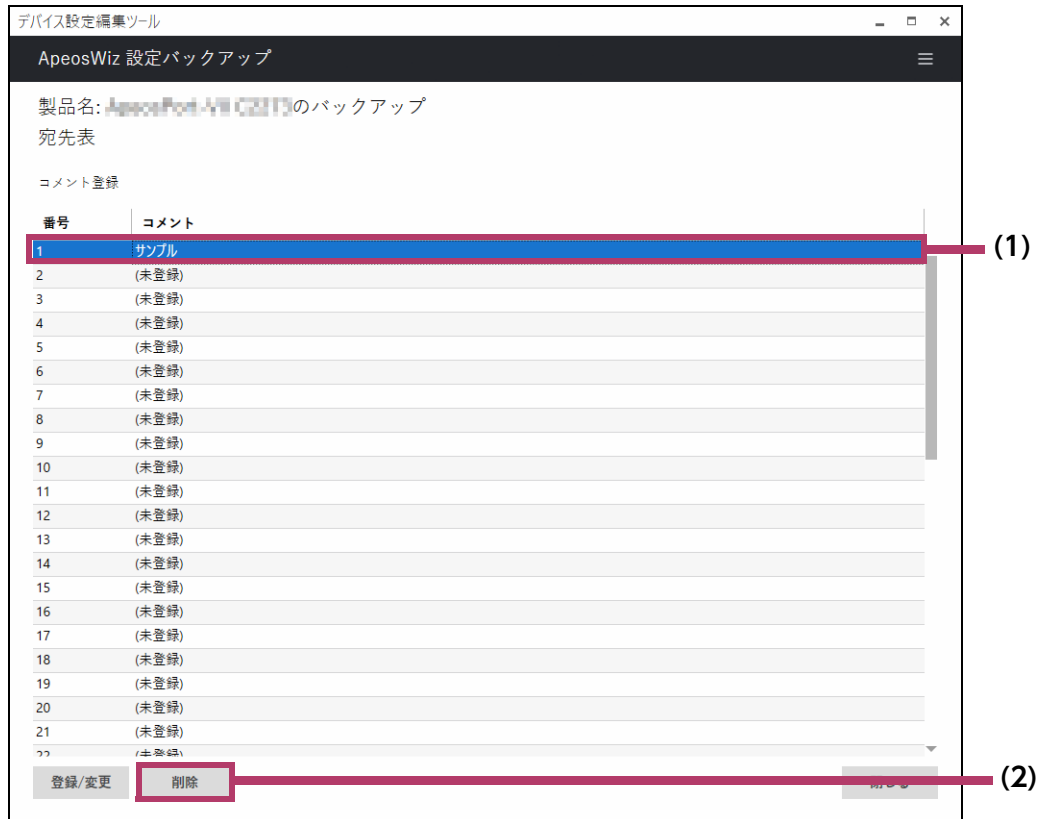
番号	コメント
1	サンプル
2	(未登録)
3	(未登録)
4	(未登録)
5	(未登録)
6	(未登録)
7	(未登録)
8	(未登録)
9	(未登録)
10	(未登録)
11	(未登録)
12	(未登録)
13	(未登録)
14	(未登録)
15	(未登録)
16	(未登録)
17	(未登録)
18	(未登録)
19	(未登録)
20	(未登録)
21	(未登録)

- (3) コメントを入力し、[保存] をクリックします。

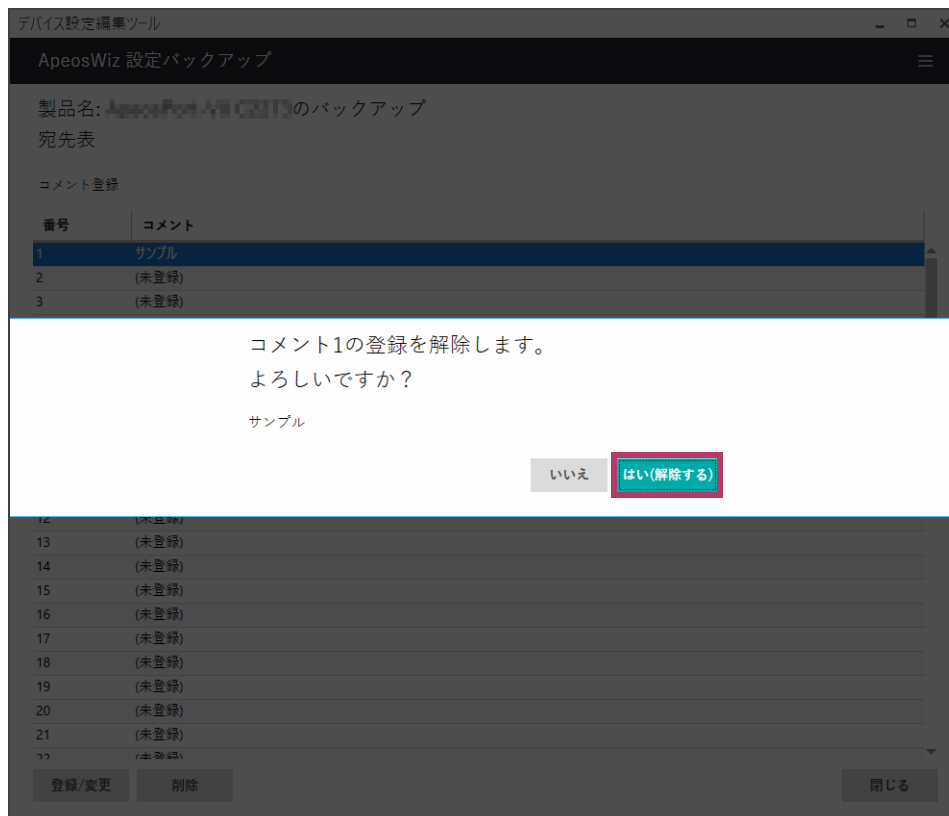
設定名	値
コメント内容1	コメント

▶ コメントを削除する

- (1) 削除する番号を選択します。
- (2) [削除] をクリックします。



- (3) 確認画面で [はい (解除する)] をクリックします。

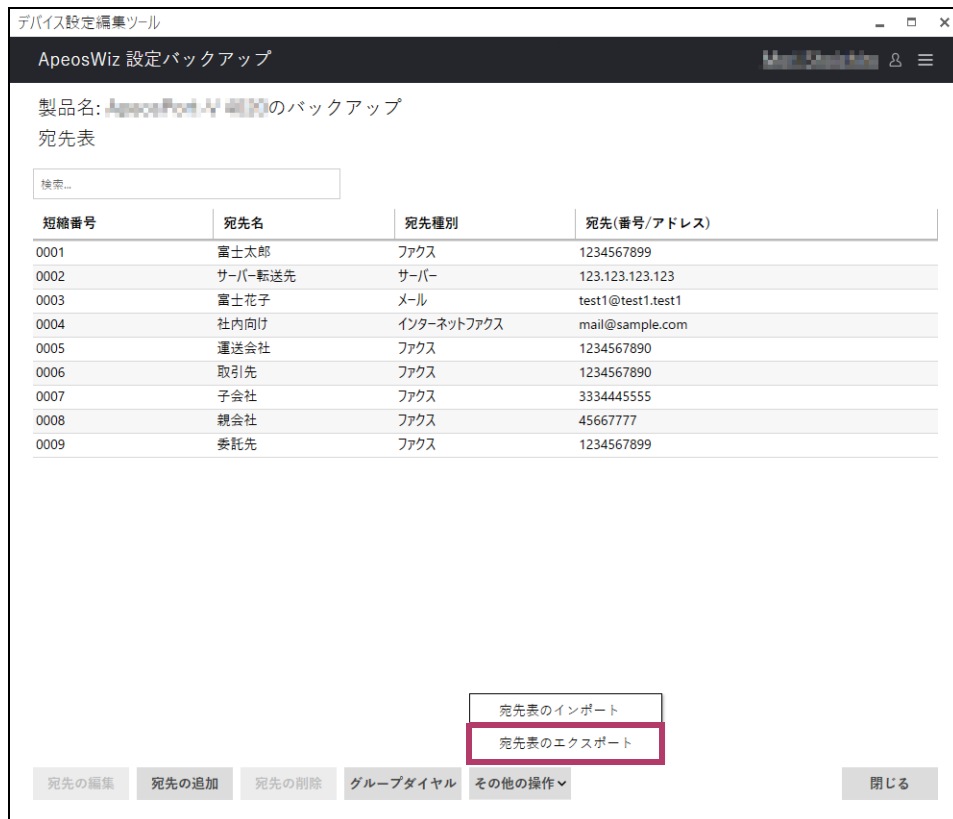


- 3 [閉じる] をクリックします。

宛先表のエクスポート

1 宛先表の一覧画面で、次の操作をします。

(1) [その他の操作] > [宛先表のエクスポート] をクリックします。



(2) エクスポートするファイルを保存するフォルダーを指定して、[OK] をクリックします。

(3) エクスポートするファイルに設定するパスワードを入力して、[エクスポート] をクリックします。



6D 参照

- ・エクスポートしたファイルの詳細は、「宛先表情報」(P.100) を参照してください。

宛先表のインポート

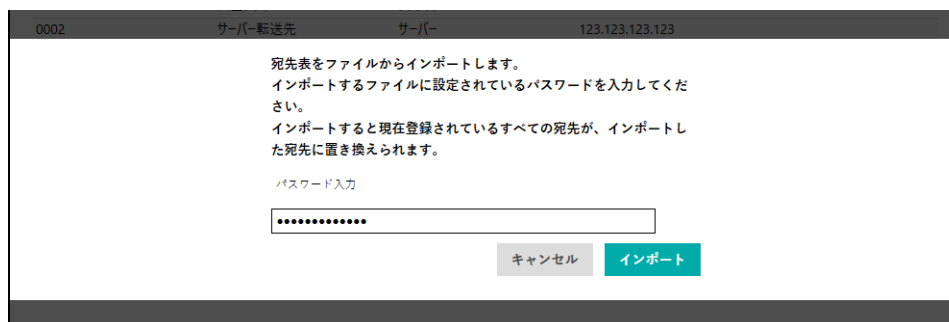
1 宛先表の一覧画面で、次の操作をします。

(1) [その他の操作] > [宛先表のインポート] をクリックします。



(2) インポートするファイルを指定して、[開く] をクリックします。

(3) インポートするファイルに設定されているパスワードを入力して、[インポート] をクリックします。




 補足

- ・インポートするファイルの記述に間違いがあると、エラーになります。インポートするファイルと同じフォルダーにエラーログが出力されます。

宛先表の詳細項目

設定名	値
短縮番号	0001 ~ 2000
宛先名	半角、全角あわせて 18 文字以内の文字列を入力できます。
宛先種別	ファクス インターネットファクス メール サーバー IP ファクス (SIP)
索引文字	全角または半角で、任意の 1 文字を入力できます。 入力できる文字は、ひらがな、または英数字です。
宛先 (ファクス番号)	宛先種別に「ファクス」または「IP ファクス (SIP)」を選択したとき表示されます。128 桁以内の数字を入力できます。「IP ファクス (SIP)」を選択した場合は、IP Address、FQDN、SIP-URI のどれかの形式で入力できます。
宛先 (メールアドレス)	宛先種別に「インターネットファクス」または「メール」を選択したとき表示されます。
サーバー名 / IP アドレス	宛先種別に「サーバー」を選択したとき表示されます。FQDN、IPv4、IPv6 のどれかの形式で入力できます。
宛先種別に「ファクス」または「IP ファクス (SIP)」を選択したときの表示項目	
回線指定	内線 外線
中継局への出力	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
通信モード	G3 自動 国際通信 G4 自動
送信画質	パネルの設定に従う 標準 高画質 超高画質 (400 dpi) 超高画質 (600 dpi)
送信シート	添付する (チェックボックス)
送信先コメント	1-50 の範囲で、コメント番号が表示されます。 「送信シート」にチェックマークを付けたとき表示されます。
発信元コメント	1-50 の範囲で、コメント番号が表示されます。 「送信シート」にチェックマークを付けたとき表示されます。
最大蓄積サイズ	A3 A4 B4
時刻指定通信	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
時刻指定通信 (時)	0-23 (時) 時刻指定通信に「する」を選択したとき表示されます。
時刻指定通信 (分)	0-59 (分) 時刻指定通信に「する」を選択したとき表示されます。
親展通信	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
親展通信・親展ボックス番号	1-200 親展通信に「する」を選択したとき表示されます。

設定名	値
親展通信・親展ボックス暗証番号	親展通信に「する」を選択したとき表示されます。 移行元の複合機の設定データに項目がある場合、表示されません。
中継同報指示	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
中継同報・中継局 ID	1-99 中継同報指示に「する」を選択したとき表示されます。
中継同報・中継局出力指示	「する」「しない」のどちらかを選択できます。 中継同報指示に「する」を選択したとき表示されます。
中継同報・同報送信先	短縮番号またはグループ番号を入力します。 短縮番号：001-099 グループ番号：#01-#09  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3文字で入力してください。 ・ 複数の番号を入力するときは、「,」で区切ってください。 ・ 短縮番号とグループ番号を同時に登録できます。 入力例：002,#05,077 ・ 短縮番号では、「*」を使用できます。グループ番号では使用できません。 使用例：0*; 00* ・ 各番号の最初に「*」は、使用できません。
課金通信時間（秒）	0.1 秒単位で設定できます。設定なしのときは、0.0 とします。
課金通信時間（夜間料金）（秒）	0.1 秒単位で設定できます。設定なしのときは、0.0 とします。
課金通信時間（深夜料金）（秒）	0.1 秒単位で設定できます。設定なしのときは、0.0 とします。
Fコード	20桁以内で、0～9、*、#が入力できます。
パスワード（Fコード）	宛先を追加する場合に入力できます。 20桁以内で、0～9、*、#が使用できます。 移行元の複合機の設定データに項目がある場合、表示されません。
パスワード（暗号文）	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
Super G3 禁止	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
モデムスピード	モデムスピードの設定がある場合、モデムスピードが表示されます。編集はできません。
ECM 強制禁止	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
JBIG 強制禁止	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
リダイヤル回数	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
送出レベル（単位 dBm）	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
着信レベル（単位 dBm）	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。

設定名	値
宛先種別に「インターネットファクス」を選択したときの表示項目	
インターネットファクスプロファイル	TIFF-S TIFF-F TIFF-J
通信モード	G3 自動 国際通信 G4 自動
送信画質	パネルの設定に従う 標準 高画質 超高画質 (400 dpi) 超高画質 (600 dpi)
最大蓄積サイズ	A3 A4 B4
時刻指定通信	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
時刻指定通信 (時)	0-23 (時) 時刻指定通信に「する」を選択したとき表示されます。
時刻指定通信 (分)	0-59 (分) 時刻指定通信に「する」を選択したとき表示されます。
証明書 ID	移行元の複合機に項目がある場合、証明書 ID が表示されます。編集はできません。
宛先種別に「メール」を選択したときの表示項目	
姓	全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。
名	全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。
補助項目 1	補助的な項目として、任意の情報を入力できます。全角 10 文字 (半角 20 文字) まで入力できます。
補助項目 2	補助的な項目として、任意の情報を入力できます。全角 20 文字 (半角 40 文字) まで入力できます。
補助項目 3	補助的な項目として、任意の情報を入力できます。全角 30 文字 (半角 60 文字) まで入力できます。
証明書 ID	移行元の複合機に項目がある場合、証明書 ID が表示されます。編集はできません。
宛先種別に「サーバー」を選択したときの表示項目	
転送プロトコル	SMB FTP
ポート番号	1-65535
ログイン名	ユーザー名を入力します。 FTP の場合 32 バイトまで、SMB の場合 97 バイトまで入力できます。
パスワード	32 バイトまでの ASCII 文字を入力できます。 移行元の複合機の設定データに項目がある場合、表示されません。
共有名	転送プロトコルが SMB のときに表示されます。共有名を入力します。半角 64 文字、全角 32 文字まで入力できます。

設定名	値
転送先	転送プロトコルが SMB のときに、必ず設定します。半角 128 文字、全角 64 文字まで入力できます。
[グループダイヤル] を選択したときの設定項目	
グループダイヤル番号	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 01-50 (常に 2 文字を入力します)
グループダイヤル名	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 半角・全角合わせて 18 文字まで入力できます。
グループダイヤル名のふりがな	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 半角・全角合わせて 18 文字まで入力できます。
グループダイヤルの索引	移行元の複合機に設定がある場合に表示されます。 全角・半角 (ひらがな、または英文字 A-Z、a-z、0-9) で、任意の 1 文字を登録できます。
グループダイヤルメンバー	数字とワイルドカード (*) が入力できます。登録できるメンバー数は、最大 20 件です。 複数入力する場合は、4 桁けたごとにカンマで区切ります。 例：0001,2001,1001 ワイルドカードを使用する場合の例： 000*, 00**
[コメント登録] を選択したときの設定項目	
番号	1 ~ 50
コメント	全角また半角の S-JIS 18 文字を入力できます。 登録できるコメント数は、最大 50 件です。

アドレス帳

補足

- ・移行元の複合機の機種によって、「宛先表」、「アドレス帳」のどちらかが表示されます。「宛先表」が表示される場合は、「宛先表」(P.42) を参照してください。

連絡先の編集

1 アドレス帳の一覧画面で、次の操作をします。

(1) 編集する連絡先にチェックマークを付けます。

補足

- ・表示する連絡先を宛先種別で絞り込む場合は、検索ボックス右横のドロップダウンリストボックスから宛先種別を選択します。

(2) [連絡先 / グループを編集] をクリックします。



2 アドレス帳の編集画面で、共通項目を編集します。

共通項目を編集する

(1) 必要に応じて、値を設定します。宛先名の設定は必須です。



補足

- すべての連絡先を「お気に入り」に登録する場合は、会社名の下の「お気に入り」にチェックマークを付けます。

設定名	値
宛先名	A社
ふりがな	
姓	
名	
会社名	
	<input checked="" type="checkbox"/> お気に入り

3 必要に応じて、宛先種別ごとに、設定値を編集します。

補足

- ・宛先種別は、1つの連絡先に対して複数設定できます。
- ・「お気に入り」の登録は、宛先種別ごとに設定できます。各連絡先の「お気に入り」にチェックマークを付けたり外したりして変更します。

6d 参照

- ・「アドレス帳の詳細項目」(P.79)

▶ メール設定を編集する

- (1) メールアドレスを入力します。
- (2) 詳細項目を設定する場合は、[メール設定] をクリックします。

The screenshot shows a contact settings form with the following fields and buttons:

- メール: sample@sample.com
- メール設定 (highlighted with a red box) お気に入り
- ファクス: (empty)
- ファクス設定 お気に入り
- IPファクス(SIP): (empty)
- IPファクス(SIP)設定 お気に入り

- (3) メールの詳細項目を設定して、[OK] をクリックします。

▶ ファクス設定を編集する

- (1) ファクス番号を入力します。
- (2) 詳細項目を設定する場合は、[ファクス設定] をクリックします。

The screenshot shows the contact settings form with the following fields and buttons:

- メール: sample@sample.com
- メール設定 お気に入り
- ファクス: 0312345678
- ファクス設定 (highlighted with a red box) お気に入り
- IPファクス(SIP): (empty)
- IPファクス(SIP)設定 お気に入り

- (3) ファクスの詳細項目を設定して、[OK] をクリックします。

▶ IP ファクス (SIP) 設定を編集する

- (1) 宛先 (ファクス番号) を入力します。
- (2) 詳細項目を設定する場合は、[IP ファクス (SIP) 設定] をクリックします。

The screenshot shows the contact settings form with the following fields and buttons:

- メール: sample@sample.com
- メール設定 お気に入り
- ファクス: (empty)
- ファクス設定 お気に入り
- IPファクス(SIP): 0312345678
- IPファクス(SIP)設定 (highlighted with a red box) お気に入り

- (3) IP ファクス (SIP) の詳細項目を設定して、[OK] をクリックします。

▶ インターネットファクス設定を編集する

- (1) 宛先（メールアドレス）を入力します。
- (2) 詳細項目を設定する場合は、[インターネットファクス設定] をクリックします。

- (3) インターネットファクスの詳細項目を設定して、[OK] をクリックします。

▶ その他の宛先の設定を編集する

- (1) ドロップダウンリストボックスから、[SMB (Scan)]、[FTP]、[SFTP] のどれかを選択します。
選択した宛先種別によってボタンの表示が切り替わります。
- (2) 詳細項目を設定する場合は、[SMB (Scan) 設定]、[FTP 設定]、[SFTP 設定] をクリックします。

- (3) 詳細項目を設定して、[OK] をクリックします。

4 [保存] をクリックします。

グループの編集

1 アドレス帳の一覧画面で、次の操作をします。

- (1) 編集するグループにチェックマークを付けます。



補足

・表示する連絡先を宛先種別で絞り込む場合は、検索ボックス右横のドロップダウンリストボックスから宛先種別を選択します。

- (2) [連絡先 / グループを編集] をクリックします。

2 グループの編集画面で、共通項目を編集します。

- (1) 必要に応じて、グループ名およびふりがなを編集します。



- ・グループ名の入力必須です。
- ・グループを「お気に入り」に登録する場合は、「お気に入り」にチェックマークを付けます。

3 宛先を追加または削除します。

▶ グループに宛先を追加する

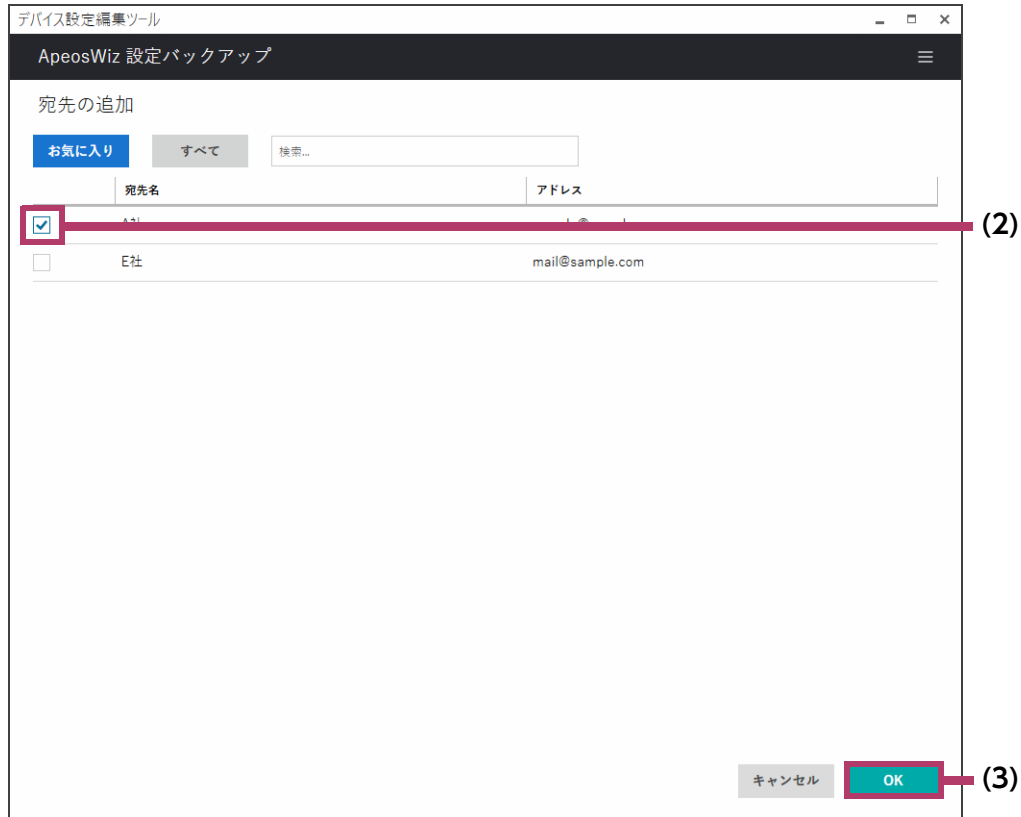
(1) [宛先の追加] をクリックします。

(2) 追加する宛先にチェックマークを付けます。

(3) [OK] をクリックします。

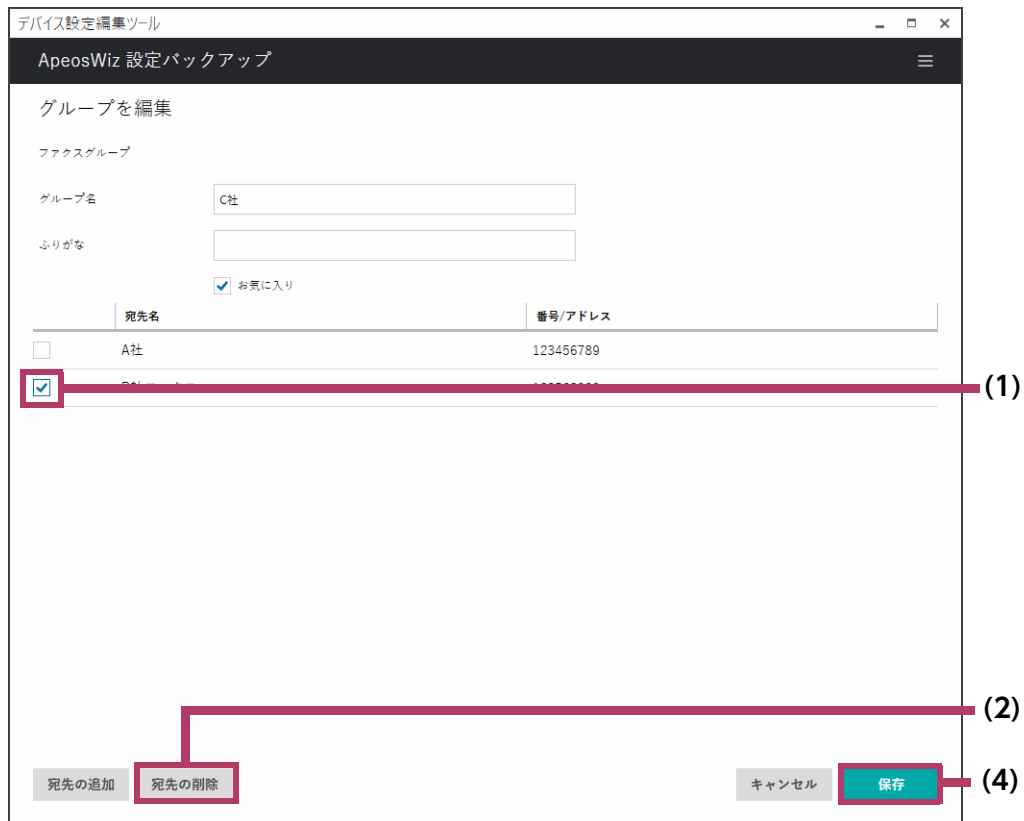
 補足

- [お気に入り] を選択すると、お気に入りに登録した宛先だけを表示できます。
- ファクスグループの場合、宛先種別がファクス、インターネットファクス、IP ファクス (SIP) の連絡先が表示されます。
- 宛先は、複数選択できます。
- 登録済みの宛先には、チェックマークが付いています。チェックマークを外して、[OK] をクリックすると、登録が解除されます。

(4) グループの編集画面で [保存] をクリックします。
アドレス帳の一覧画面に戻ります。

▶ **グループから宛先を削除する**

- (1) 登録を解除する宛先にチェックマークを付けます。宛先は、複数選択できます。
- (2) [宛先の削除] をクリックします。
- (3) 削除を確認する画面で [OK] をクリックします。
- (4) グループの編集画面で [保存] をクリックします。



アドレス帳の一覧画面に戻ります。

- 4** アドレス帳の一覧画面で、[閉じる] をクリックします。
デバイス設定の編集画面に戻ります。

連絡先の追加

1 [連絡先を追加] をクリックします。



- ・宛先は、送信種別ごとに 5000 件まで登録できます。最大数の宛先が登録済みの場合は、連絡先の追加画面は表示されません。

	宛先名	連絡先/グループ
<input type="checkbox"/>	メール太郎	連絡先
<input type="checkbox"/>	メール次郎	連絡先
<input type="checkbox"/>	ファクス三郎	連絡先
<input type="checkbox"/>	ファクス四郎	連絡先
<input type="checkbox"/>	一括メール(1)	グループ
<input type="checkbox"/>	一括ファクス(2)	グループ

2 内容を追加して、[保存] をクリックします。追加する内容は、連絡先の編集と同じです。



- ・「連絡先の編集」(P.56)

グループの追加

1 [グループを追加] をクリックします。



- ・グループは、ファクスグループ、メールグループに、それぞれ 250 件まで登録できます。最大数のグループが登録済みの場合は、グループの追加画面は表示されません。

2 グループを追加する画面で、次の操作をします。

- (1) [ファクスグループ] または [メールグループ] のどちらかをクリックします。
- (2) グループ名およびふりがなを入力します。グループ名の入力は必須です。

3 グループに宛先を追加する場合は、[宛先の追加] をクリックします。

補足

- 宛先は、ファクスグループに 600 件まで、メールグループに 100 件まで登録できます。最大数の宛先が登録済みの場合は、宛先の一覧画面は表示されません。

4 宛先の一覧画面で、次の操作をします。

- (1) リストから、登録する宛先のチェックボックスをチェックします。複数選択できます。

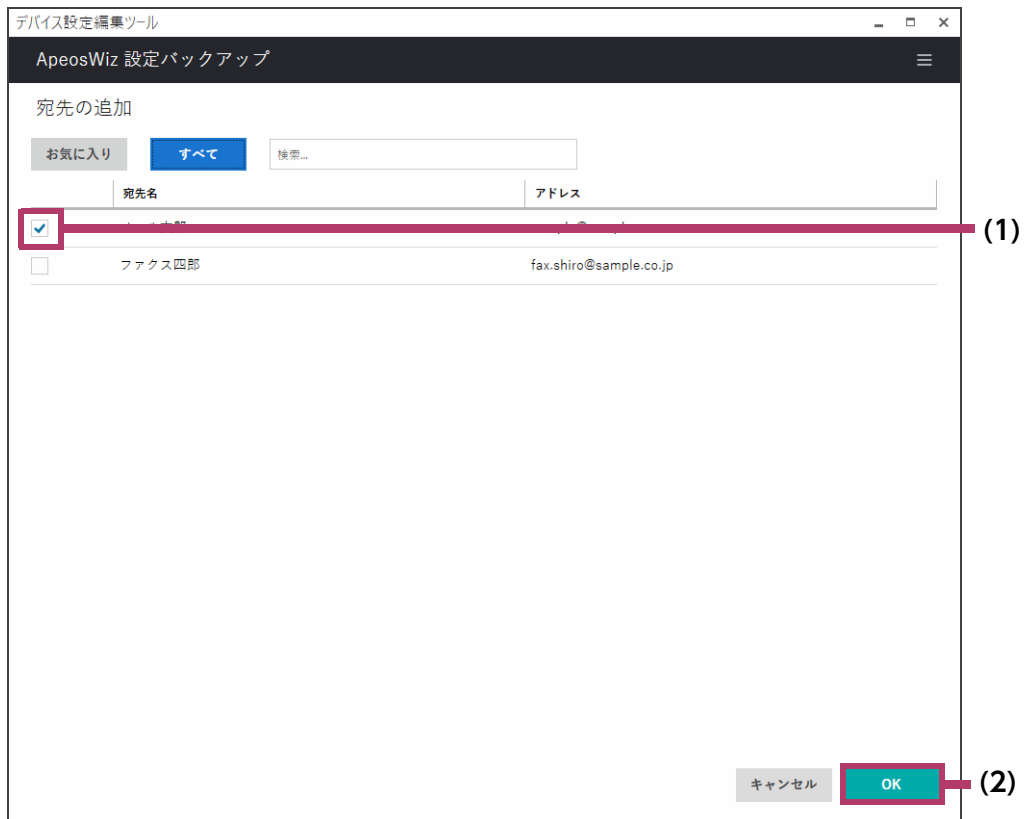
補足

- 「お気に入り」をクリックすると、お気に入りに登録された宛先だけが表示されます。手順 2 で「ファクスグループ」を選択した場合はファクス番号を持つ宛先、「メールグループ」を選択した場合はメールアドレスを持つ宛先が表示されます。

(2) [OK] をクリックします。



・宛先のチェックマークを外して、[OK] をクリックすると、登録が解除されます。

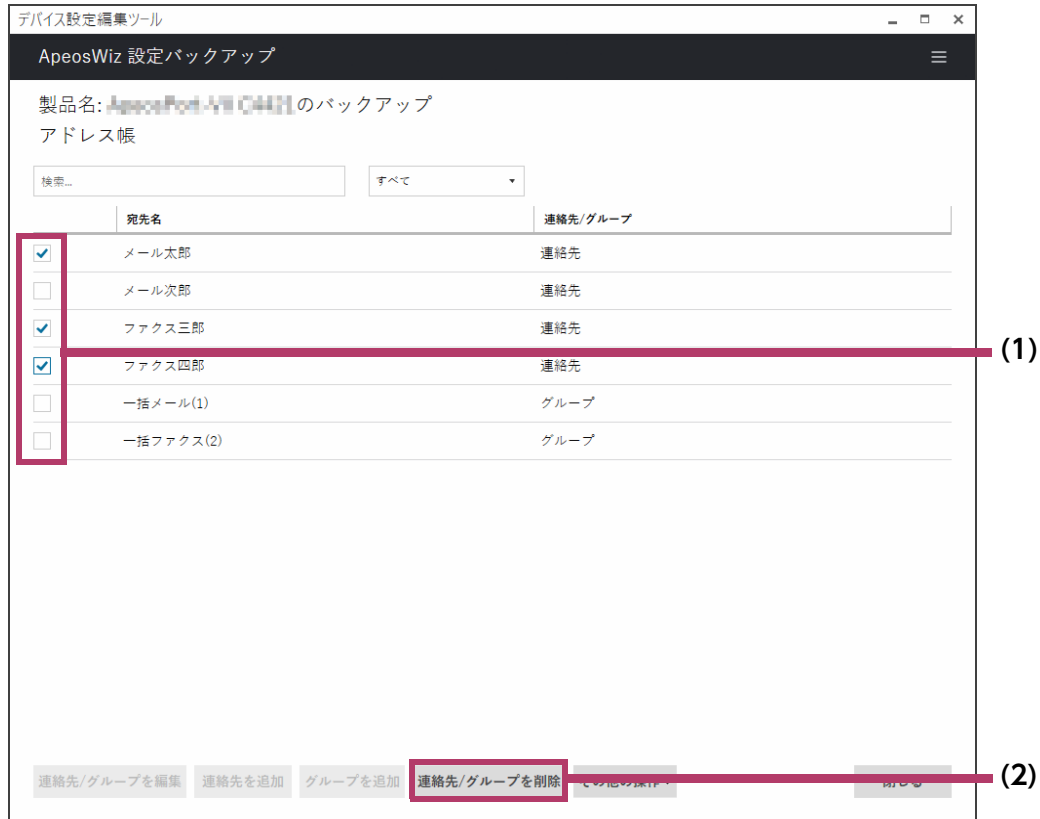


5 グループの編集画面で [保存] をクリックします。
アドレス帳の一覧画面に戻ります。

6 アドレス帳の一覧画面で、[閉じる] をクリックします。
デバイス設定の編集画面に戻ります。

連絡先、グループの削除

- 1 アドレス帳の一覧画面で、次の操作をします。
 - (1) 編集する宛先にチェックマークを付けます。複数選択できます。
 - (2) [連絡先 / グループを削除] をクリックします。



- 2 削除を確認する画面で [OK] をクリックします。
アドレス帳の一覧画面に戻ります。
- 3 アドレス帳の一覧画面で、[閉じる] をクリックします。
デバイス設定の編集画面に戻ります。

ワンタッチボタンの登録

1 [その他の操作] > [ワンタッチボタンを登録] をクリックします。



2 ワンタッチボタンの登録 / 削除画面で、次の操作をします。

▶ 未登録のワンタッチボタンを登録する場合

- (1) (未登録) のワンタッチボタンを選択します。
- (2) [登録 / 変更] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPrint A7004411 のバックアップ

ワンタッチボタンの登録/削除

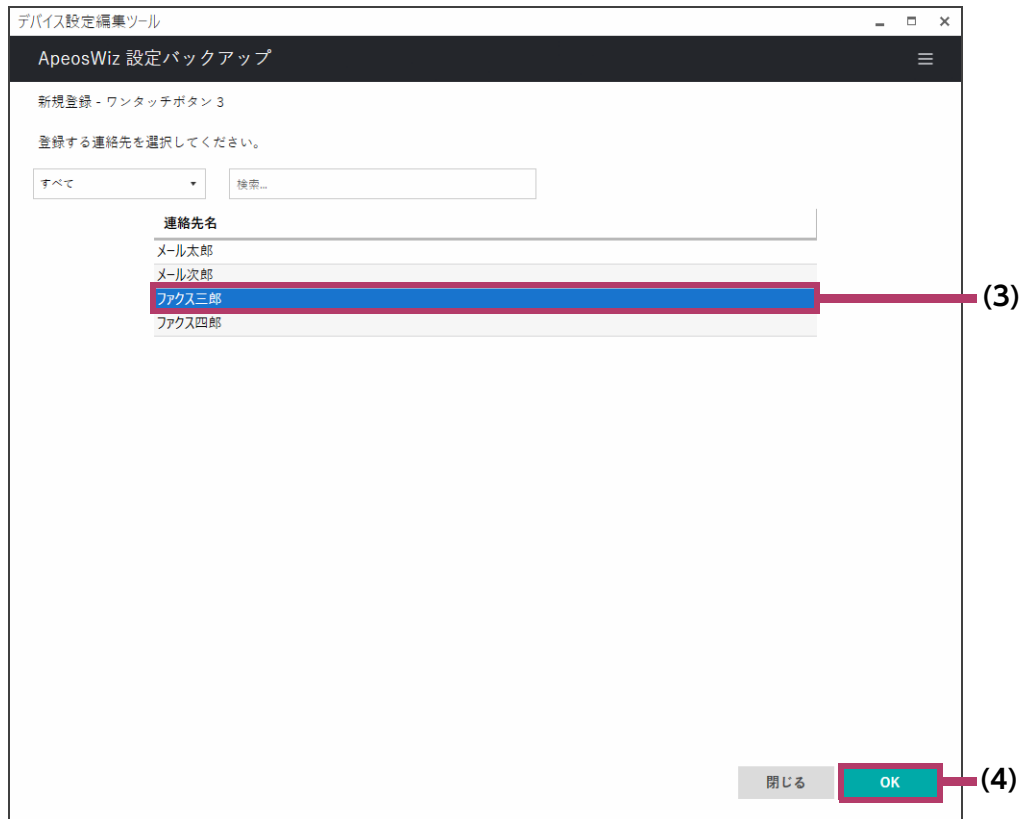
ワンタッチボタンの一覧

番号	連絡先名	宛先種別	宛先
1	メール太郎	メール	sample@sample.com
2	ファクス四郎	インターネットファクス	fax.shiro@sample.co.jp
3	(未登録)		
4	(未登録)		
5	(未登録)		
6	(未登録)		
7	(未登録)		
8	(未登録)		
9	(未登録)		
10	(未登録)		
11	(未登録)		
12	(未登録)		
13	(未登録)		
14	(未登録)		
15	(未登録)		
16	(未登録)		
17	(未登録)		
18	(未登録)		
19	(未登録)		
20	(未登録)		
21	(未登録)		
22	(未登録)		

登録/変更

- (3) 登録する連絡先を選択します。

(4) [OK] をクリックします。



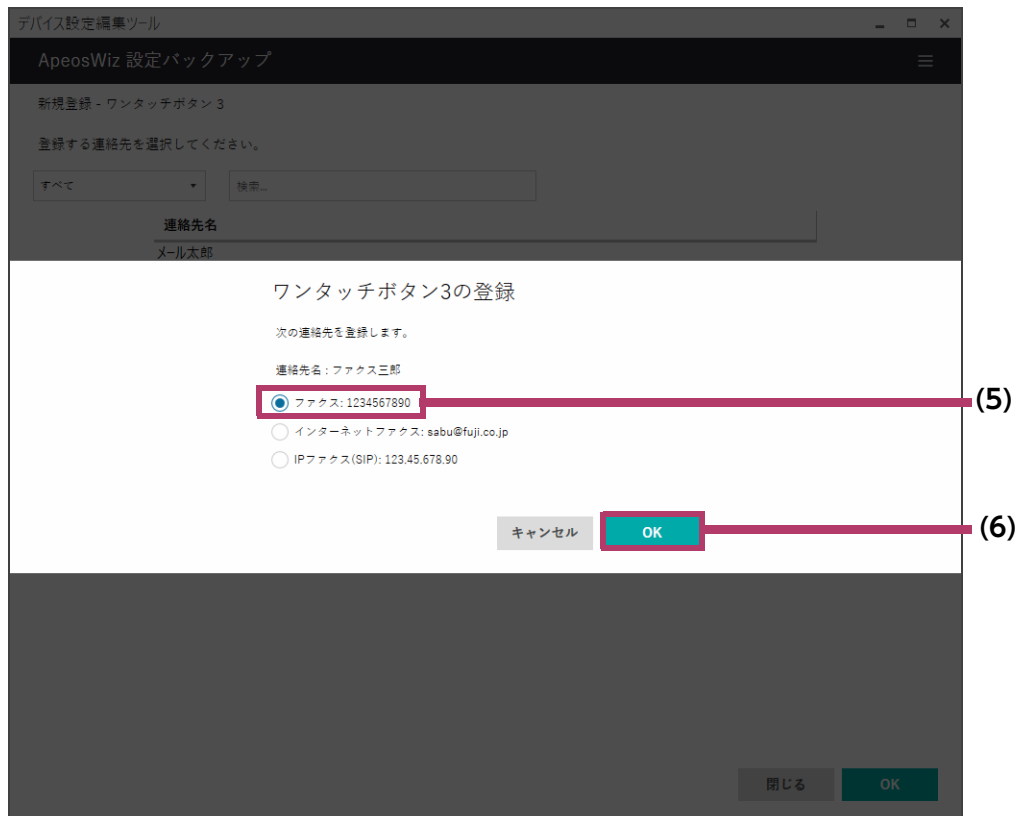
(5) 登録する宛先を選択します。



補足

- ・宛先が1件しか登録されていない場合は、手順6に進みます。

(6) [OK] をクリックします。



▶ **すでに登録されているワンタッチボタンを変更する場合**

- (1) **すでに登録されているワンタッチボタンを選択します。**
- (2) **【登録 / 変更】 をクリックします。**

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: ApeosPod M70 C4421 のバックアップ

ワンタッチボタンの登録/削除

ワンタッチボタンの一覧

番号	連絡先名	宛先種別	宛先
1	メール太郎	メール	sample@sample.com
2	ファクス四郎	インターネットファクス	fax.shiro@sample.co.jp
3	(未登録)		
4	(未登録)		
5	(未登録)		
6	(未登録)		
7	(未登録)		
8	(未登録)		
9	(未登録)		
10	(未登録)		
11	(未登録)		
12	(未登録)		
13	(未登録)		
14	(未登録)		
15	(未登録)		
16	(未登録)		
17	(未登録)		
18	(未登録)		
19	(未登録)		
20	(未登録)		
21	(未登録)		
22	(未登録)		

登録/変更

- (3) **新しく登録する連絡先を選択します。**
- (4) **【OK】 をクリックします。**

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

登録の変更 - ワンタッチボタン 1

連絡先名: メール太郎

宛先種別: メール

宛先: sample@sample.com

すべて 検索...

連絡先名

- メール太郎
- メール次郎
- ファクス三郎
- ファクス四郎

閉じる OK

(5) [OK] をクリックします。

 補足

- 複数の宛先が登録されている場合、登録する宛先を選択したあと、[OK] をクリックします。
- 選択した宛先が他のワンタッチボタンに登録されている場合、既存のワンタッチボタンは解除され、登録し直すことを確認する画面が表示されます。[はい (登録する)] をクリックすると、既存のワンタッチボタンは (未登録) に変更されます。



デバイス設定の編集画面に戻ります。

ワンタッチボタンの登録解除

1 ワンタッチボタンの登録 / 削除画面で、次の操作をします。

- (1) 登録を解除するワンタッチボタンを選択します。ワンタッチボタンは、複数選択できます。
- (2) [削除] をクリックします。

製品名: ApeosPrint 4700 C4411 のバックアップ
ワンタッチボタンの登録/削除

ワンタッチボタンの一覧

番号	連絡先名	宛先種別	宛先
1	メール太郎	メール	sample@sample.com
2	ファクス四郎	インターネットファクス	fax.shiro@sample.co.jp
3	(未登録)		
4	(未登録)		
5	(未登録)		
6	(未登録)		
7	(未登録)		
8	(未登録)		
9	(未登録)		
10	(未登録)		
11	(未登録)		
12	(未登録)		
13	(未登録)		
14	(未登録)		
15	(未登録)		
16	(未登録)		
17	(未登録)		
18	(未登録)		
19	(未登録)		
20	(未登録)		
21	(未登録)		
22	(未登録)		

登録/変更 削除

2 [はい (解除する)] をクリックします。

製品名: ApeosPrint 4700 C4411 のバックアップ
ワンタッチボタンの登録/削除

ワンタッチボタンの一覧

番号	連絡先名	宛先種別	宛先
1	メール太郎	メール	sample@sample.com
2	ファクス四郎	インターネットファクス	fax.shiro@sample.co.jp
3	(未登録)		

ワンタッチボタン1の登録を解除します。
よろしいですか？

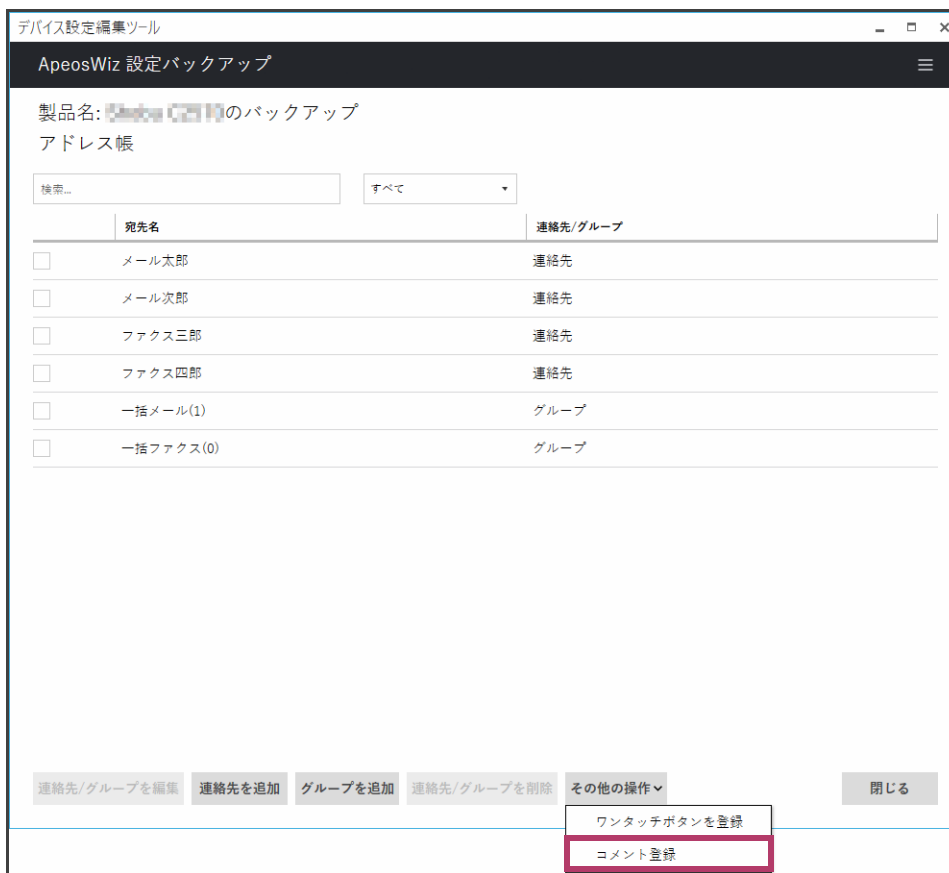
メール太郎 メール sample@sample.com

いいえ はい(解除する)

登録/変更 削除 閉じる

コメント登録

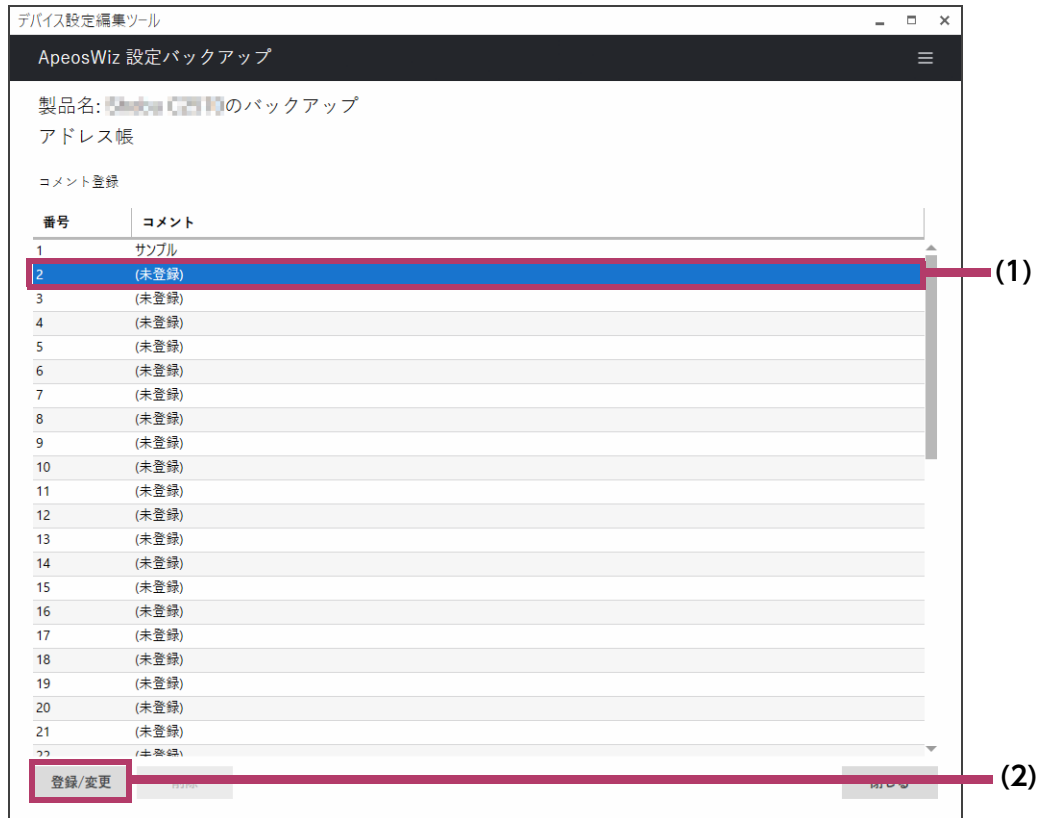
1 [その他の操作] > [コメント登録] をクリックします。



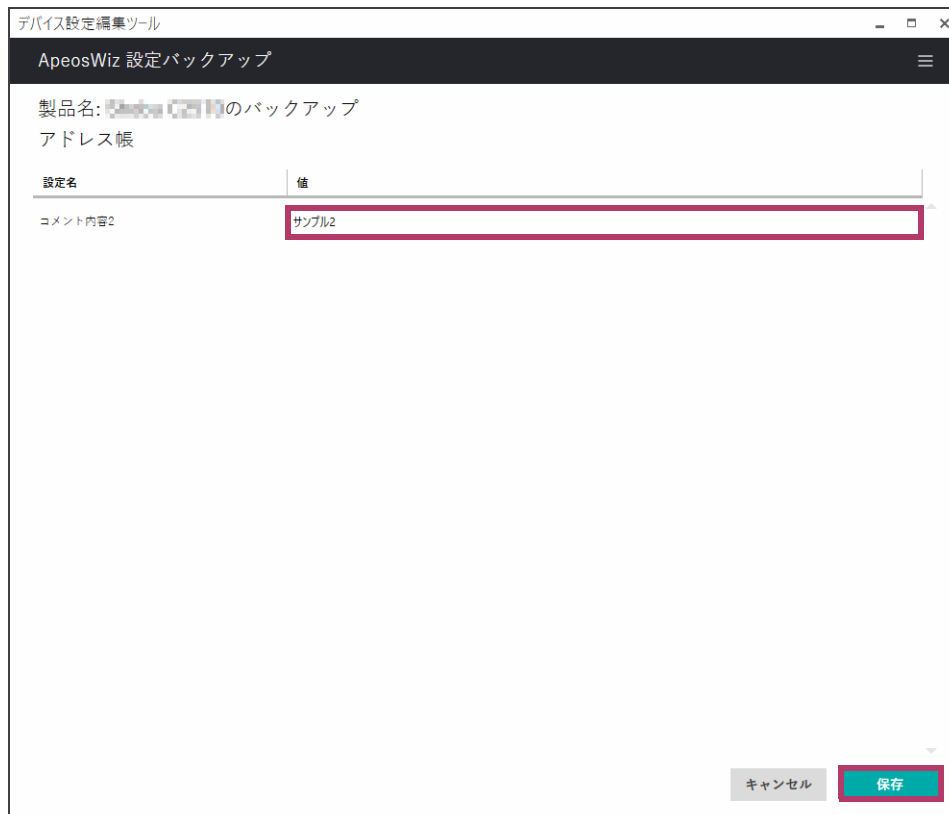
2 コメント登録画面で、次の操作をします。

▶ コメントを登録または変更する

- (1) 登録または変更する番号を選択します。
- (2) [登録 / 変更] をクリックします。

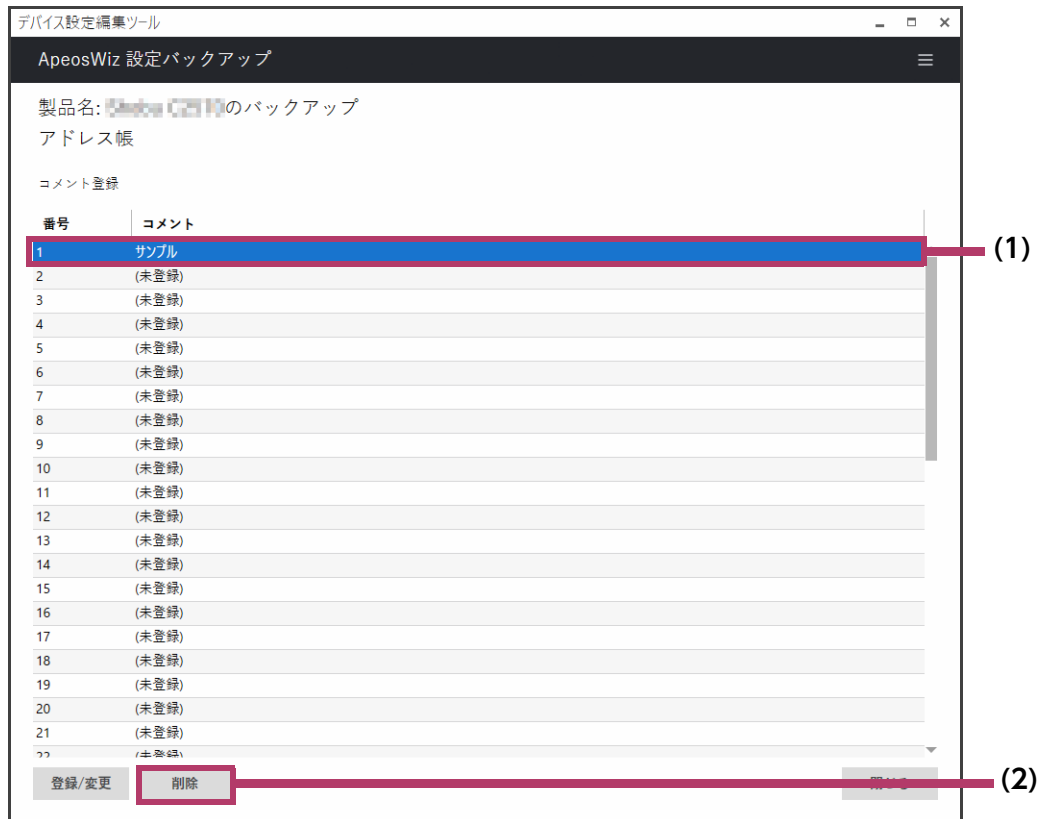


- (3) コメントを入力し、[保存] をクリックします。

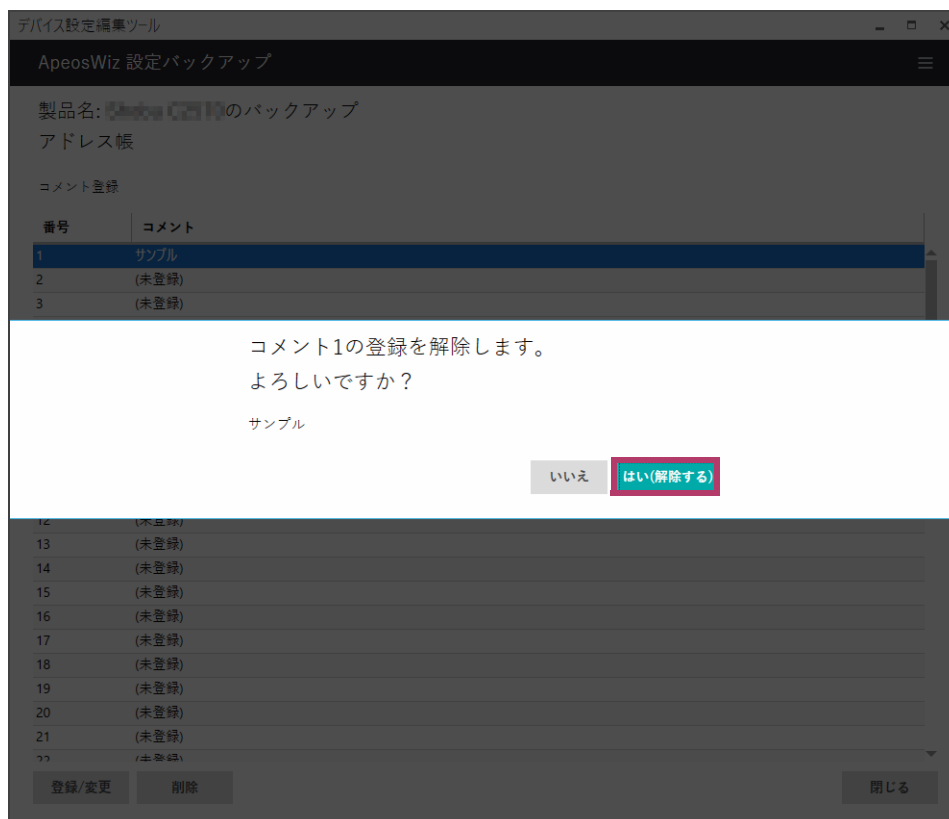


▶ コメントを削除する

- (1) 削除する番号を選択します。
- (2) [削除] をクリックします。



- (3) 確認画面で [はい (解除する)] をクリックします。



- 3 [閉じる] をクリックします。

アドレス帳のエクスポート

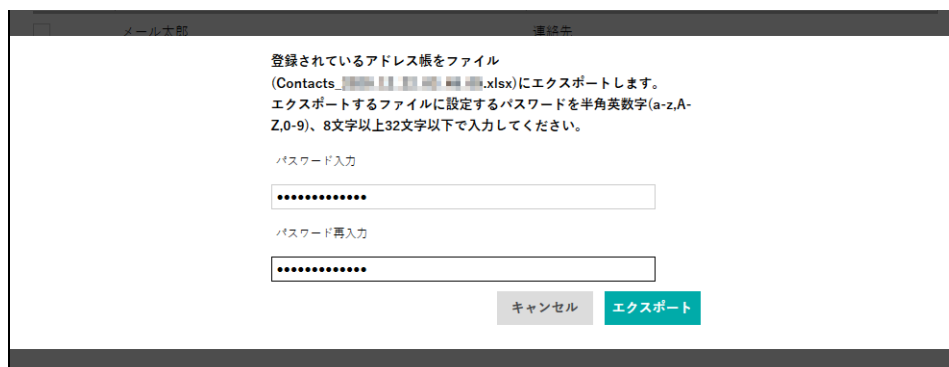
1 アドレス帳の一覧画面で、次の操作をします。

(1) [その他の操作] > [アドレス帳のエクスポート] をクリックします。



(2) エクスポートするファイルを保存するフォルダーを指定して、[OK] をクリックします。

(3) エクスポートするファイルに設定するパスワードを入力して、[エクスポート] をクリックします。



🔗 参照

- ・ エクスポートしたファイルの詳細は、「アドレス帳情報」(P.103) を参照してください。

アドレス帳のインポート

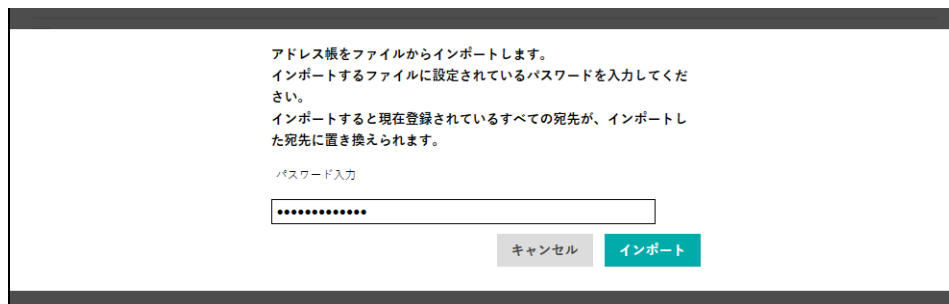
1 アドレス帳の一覧画面で、次の操作をします。

(1) [その他の操作] > [アドレス帳のインポート] をクリックします。



(2) インポートするファイルを指定して、[開く] をクリックします。

(3) インポートするファイルに設定されているパスワードを入力して、[インポート] をクリックします。



補足

- ・インポートするファイルの記述に間違いがあると、エラーになります。インポートするファイルと同じフォルダーにエラーログが出力されます。

アドレス帳の詳細項目

設定名	値
宛先名	半角、全角あわせて 128 文字以内の文字列を入力できます。
ふりがな	全角または半角で、任意の文字（128 文字まで）を入力できます。入力できる文字は、ひらがな、または英数字です。
姓	全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。
名	全角 16 文字、半角 32 文字まで入力できます。
会社名	半角、全角あわせて 64 文字以内の文字列を入力できます。
お気に入り	連絡先を「お気に入り」に登録する場合にチェックマークを付けます。
メール	メールアドレスを入力します。詳細項目を編集する場合は [メール設定] をクリックします。
ファクス	ファクス番号を入力します。詳細項目を編集する場合は [ファクス設定] をクリックします。128 桁以内の数字を入力できます。
IP ファクス (SIP)	128 桁以内の数字、IP Address、FQDN、SIP-URI のどれかの形式で入力できます。
インターネットファクス	メールアドレス番号を入力します。詳細項目を編集する場合は [インターネットファクス設定] をクリックします。
その他の宛先	ドロップダウンリストボックスから、[SMB (Scan)]、[FTP]、[SFTP] のどれかを選択できます。選択した宛先種別によってボタンの表示が切り替わるので、詳細項目を設定する場合は対応する宛先種別のボタンをクリックします。
メール設定の詳細項目	
電話番号	補助的な項目として、電話番号を入力できます。全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力できます。
事業所	補助的な項目として、事業所名を入力できます。全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。
部署	補助的な項目として、部署名を入力できます。全角 30 文字（半角 60 文字）まで入力できます。
証明書 ID	移行元の複合機に項目がある場合、証明書 ID が表示されます。編集はできません。
ファクス設定または IP ファクス (SIP) 設定の詳細項目	
送信ヘッダ宛先名	発信元記録と送信シートの相手欄に印字する送信先の項目です。18 文字まで入力できます。
回線指定	[ファクス] をクリックしたときに表示されます。 内線 外線
通信モード	G3 自動 国際通信 G4 自動
送信画質	パネル 標準 高画質 (200dpi) 超高画質 (400 dpi) 超高画質 (600 dpi)
送信シート	添付する (チェックボックス)

設定名	値
送信先コメント	1-50 の範囲で、コメント番号が表示されます。 「送信シート」にチェックマークを付けたとき表示されます。
発信元コメント	1-50 の範囲で、コメント番号が表示されます。 「送信シート」にチェックマークを付けたとき表示されます。
最大蓄積サイズ	A3 A4 B4
時刻指定通信	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
時刻指定通信（時）	0-23（時） 時刻指定通信に「する」を選択したとき表示されます。
時刻指定通信（分）	0-59（分） 時刻指定通信に「する」を選択したとき表示されます。
親展通信	「する」「しない」のどちらかを選択できます。
親展通信・親展ボックス番号	1-200 親展通信に「する」を選択したとき表示されます。
親展通信・親展ボックス暗証番号	親展通信に「する」を選択したとき表示されます。 移行元の複合機の設定データに項目がある場合、表示されません。
課金通信時間	0.1 秒単位で設定できます。設定なしのときは、0.0 とします。
課金通信時間（夜間料金）（秒）	0.1 秒単位で設定できます。設定なしのときは、0.0 とします。
課金通信時間（深夜料金）（秒）	0.1 秒単位で設定できます。設定なしのときは、0.0 とします。
F コード	20 桁以内で、0～9、*、#が入力できます。
パスワード（F コード）	宛先を追加する場合に入力できます。 20 桁以内で、0～9、*、#が使用できます。 移行元の複合機の設定データに項目がある場合、表示されません。
パスワード（暗号文）	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
Super G3 禁止	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
モデムスピード	モデムスピードの設定がある場合、モデムスピードが表示されます。編集はできません。
ECM 強制禁止	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
JBIG 強制禁止	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
リダイヤル回数	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
送出レベル（単位 dBm）	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
着信レベル（単位 dBm）	移行元の複合機に項目がある場合、「あり」「なし」のどちらかが表示されます。編集はできません。
インターネットファクス設定の詳細項目	
インターネットファクスプロファイル	TIFF-S TIFF-F TIFF-J

設定名	値
送信画質	パネル 標準 高画質 (200dpi) 超高画質 (400 dpi) 超高画質 (600 dpi)
最大蓄積サイズ	A3 A4 B4
証明書 ID	移行元の複合機に項目がある場合、証明書 ID が表示されます。編集はできません。
SMB (Scan) 設定、FTP 設定または SFTP 設定の詳細項目	
サーバー名	サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
ポート番号	1-65535 (標準ポート指定時は 0)
共有名	宛先種別が SMB (Scan) 設定のときに表示されます。共有名を入力します。半角 64 文字、全角 32 文字まで入力できます。
保存場所	文書を保存するためのディレクトリーを入力します。SMB の場合は、UNC 形式で入力します。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 FTP の場合 32 バイトまで、SMB の場合 97 バイトまで入力できます。
パスワード	32 バイトまでの ASCII 文字を入力できます。 移行元の複合機の設定データに項目がある場合、表示されません。
[コメント登録] を選択したときの設定項目	
番号	1 ~ 50
コメント	全角また半角の S-JIS 18 文字を入力できます。 登録できるコメント数は、最大 50 件です。

ジョブフロー

ジョブフローの編集

1 ジョブフローの一覧画面で、次の操作をします。

(1) 編集するジョブフローを選択します。

(2) [編集] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: Apeos C250N のバックアップ

ジョブフロー

ジョブフロー名	編集機能	更新日時
ScanStart1	対応	2023/04/10 10:00:00
Securebox1	対応	2023/04/10 10:00:00
scan-test1	対応	2023/04/10 10:00:00
scan-para	対応	2023/04/10 10:00:00

編集 削除 閉じる

2 設定値を編集します。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: Apeos C25NM のバックアップ
ジョブフロー

ジョブフローの編集

設定名	設定値
ジョブフロー名	ScanStart1
説明	スキャンから始まるジョブフローを作成します。
作成者	
著作権	
キーワード	

機能アイテム

表示/編集

操作パネル

- スキャン
- 親展ボックス
- ファクス
- メール送信
- ファイル転送

エラー通知

キャンセル 更新

3 機能アイテムを編集します。

- (1) 編集したい機能アイテムを選択します。
- (2) [表示 / 編集] をクリックします。

デバイス設定編集ツール

ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: Apeos C25NM のバックアップ
ジョブフロー

ジョブフローの編集

設定名	設定値
ジョブフロー名	ScanStart1
説明	スキャンから始まるジョブフローを作成します。
作成者	
著作権	
キーワード	

機能アイテム

表示/編集

操作パネル

- スキャン
- 親展ボックス
- ファクス
- メール送信
- ファイル転送

エラー通知

キャンセル 更新

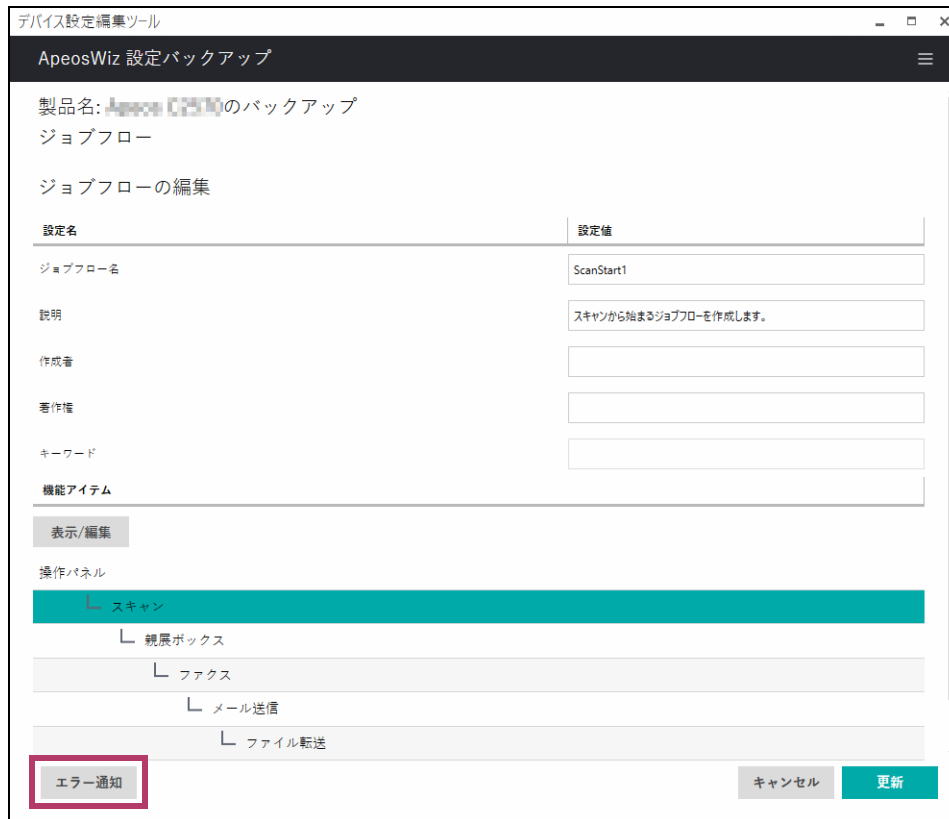
(3) 表示された画面で、設定値を編集し、[更新] をクリックします。

6D 参照

・機能アイテムの設定内容について、詳しくは「ジョブフローの詳細項目」(P.85) を参照してください。

4 [エラー通知] を設定します。

(1) [エラー通知] をクリックします。



(2) 表示された画面で、[エラーを通知する] の有効 / 無効を設定します。

補足

・エラー通知を有効にすると、「ファクス」または「ファイル転送」の処理が失敗したときに、エラーが通知されます。

(3) エラー通知を有効にした場合は、設定値を編集し、[更新] をクリックします。

5 [更新] をクリックします。

ジョブフローの詳細項目

設定名	値
操作パネルの詳細項目	
グループ名	複合機の操作パネルに表示するグループ名が表示されます。
ラベル名	複合機の操作パネルに表示するラベル名が表示されます。
機能アイテム名	ラベルに紐づいてい機能アイテムの名称が表示されます。
属性名	ラベルに紐づいている属性の名称が表示されます。
親展ボックス（入力）の詳細項目 *1	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
親展ボックス（配信）の詳細項目 *2	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
親展ボックス番号	1 ～ 500 の範囲で入力できます。
所有者	97 バイト以内の文字列を入力できます。
パスワード	「あり」「なし」のどちらかが表示されます。
文書名	64 バイト以内の文字列を入力できます。
スキャンの詳細項目	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
読み取りサイズの入力形式	読み取りサイズの入力形式が表示されます。
読み取りサイズ	読み取りサイズを選択します。
原稿セット向き指定	読める向き 左向き
両面原稿送り	片面 両面左右開き 両面上下開き
原稿の画質	原稿の画質タイプが表示されます。
カラーモード	自動 フルカラー グレースケール 白黒（2 階調）
地色除去	する しない
濃度	うすく (-3) うすく (-2) うすく (-1) ふつう こく (+1) こく (+2) こく (+3)
読み取り解像度	200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi

設定名	値
読み取り倍率	自動 % 100% 50% A3 → A5 70% A3 → A4、B4 → B5 81% B4 → A4、B5 → A5 86% A3 → B4、A4 → B5 115% B4 → A3、B5 → A4 122% A4 → B4、A6 → B5 141% A4 → A3、B5 → B4
出力サイズ	出力サイズを選択します。
次の原稿	次の原稿あり 次の原稿なし
出力ファイル高圧縮	しない する
ファクスの詳細項目	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
ファクス番号	64 バイト以内の文字列を入力できます。
通信モード	G3 自動 国際通信
F コード	20 桁以内で、0 ～ 9、*、# が入力できます。
パスワード	20 桁以内で、0 ～ 9、*、# が入力できます。
相手のボックス番号	1 ～ 500 の範囲で入力できます。
暗証番号	0000 ～ 9999 の範囲で入力できます。
インターネットファクスの詳細項目	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
宛先	64 バイト以内の文字列を入力できます。
件名	64 バイト以内の文字列を入力できます。
コメント	64 バイト内の文字列を入力できます。
通信モード	G3 自動 国際通信
暗号化	「する」「しない」のどちらかが表示されます。
S/MIME 証明書	「あり」「なし」のどちらかが表示されます。
送信失敗時の再送信	する しない
再送信回数	1 ～ 5 回の範囲で入力できます。
再送信時間 (秒)	130 ～ 300 秒の範囲で 1 秒単位で入力できます。
メール送信の詳細項目	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
宛先	64 バイト以内の文字列を入力できます。
件名	64 バイト以内の文字列を入力できます。
コメント	64 バイト内の文字列を入力できます。

設定名	値
出力ファイル形式	TIFF/JPEG 自動判別 マルチページ TIFF TIFF PDF DocuWorks
セキュリティー	「あり」「なし」のどちらかが表示されます。
署名	実行時の本体設定に従う 署名しない 署名する (可視) 署名する (不可視)
署名位置	先頭ページの左上 先頭ページの右上 先頭ページの左下 先頭ページの右下
暗号化	「する」「しない」のどちらかが表示されます。
S/MIME 証明書	「あり」「なし」のどちらかが表示されます。
送信失敗時の再送信	する しない
再送信回数	1 ~ 5 回の範囲で入力できます。
再送信時間 (秒)	130 ~ 300 秒の範囲で 1 秒単位で入力できます。
ファイル転送の詳細項目	
機能名称	32 バイト以内の文字列を入力できます。
転送方式	FTP SMB
転送先	256 バイト以内の文字列を入力できます。 [...] をクリックすると、保存するディレクトリーを指定できます。
保存場所	文書を保存するためのディレクトリーが表示されます。 64 バイト以内の文字列を入力できます。
ログイン名	ログイン名を入力します。 97 バイト以内の文字列を入力できます。
パスワード	32 バイト以内の文字列を入力できます。
保存方法	上書き 上書きしない 名前自動生成
ファイル名	128 バイト以内の文字列を入力できます。
出力ファイル形式	TIFF/JPEG 自動判別 マルチページ TIFF TIFF PDF DocuWorks
セキュリティー	「あり」「なし」のどちらかが表示されます。
署名	実行時の本体設定に従う 署名しない 署名する

設定名	値
署名位置	先頭ページの左上 先頭ページの右上 先頭ページの左下 先頭ページの右下
送信失敗時の再送信	する しない
再送信回数	1～5回の範囲で入力できます。
再送信時間（秒）	130～300秒の範囲で1秒単位で入力できます。
プリントの詳細項目	
機能名称	32バイト以内の文字列を入力できます。
プリント部数	1～999の範囲で入力できます。
ソート	する しない
両面	しない 長辺とじ 短辺とじ

- *1 ジョブフローの設定画面で、機能アイテムから「スキャン」の階層下ではない「親展ボックス」を選択した場合に、親展ボックス（入力）の編集画面が表示されます。
- *2 ジョブフローの設定画面で、機能アイテムから「スキャン」の階層下にある「親展ボックス」を選択した場合に、親展ボックス（配信）の編集画面が表示されます。

親展ボックス

- 1 親展ボックス画面で、次の操作をします。
 - (1) 編集する親展ボックスの行を選択します。
 - (2) **【編集】** をクリックします。

デバイス設定編集ツール
ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: **Shimadzu GC2010** のバックアップ
親展ボックス

検索...

番号	親展ボックス名	パスワードのモー	文書自動削除	期限による文書の	所有者	ジョブテンプレ	指示書を文書格納
001	test1-box	常にパスワードを要求す. する	しない	しない	11111		しない
002	test2-box	常にパスワードを要求す. する	しない	しない	11111		しない
003	test3-box	常にパスワード不要	する	しない	11111	3	しない

編集

- 2 編集する親展ボックスの設定値を変更し、**【更新】** をクリックします。

デバイス設定編集ツール
ApeosWiz 設定バックアップ

製品名: **Shimadzu GC2010** のバックアップ
親展ボックス

設定名

親展ボックス 001

親展ボックス名

パスワードのモード

文書自動削除

期限による文書の自動削除

所有者

ジョブテンプレート

指示書を文書格納時に起動

値

test1-box

常時(すべての操作)

文書取り出し後の削除

保存期限経過文書の削除

設定しない

指示書を文書格納時に起動

キャンセル 更新

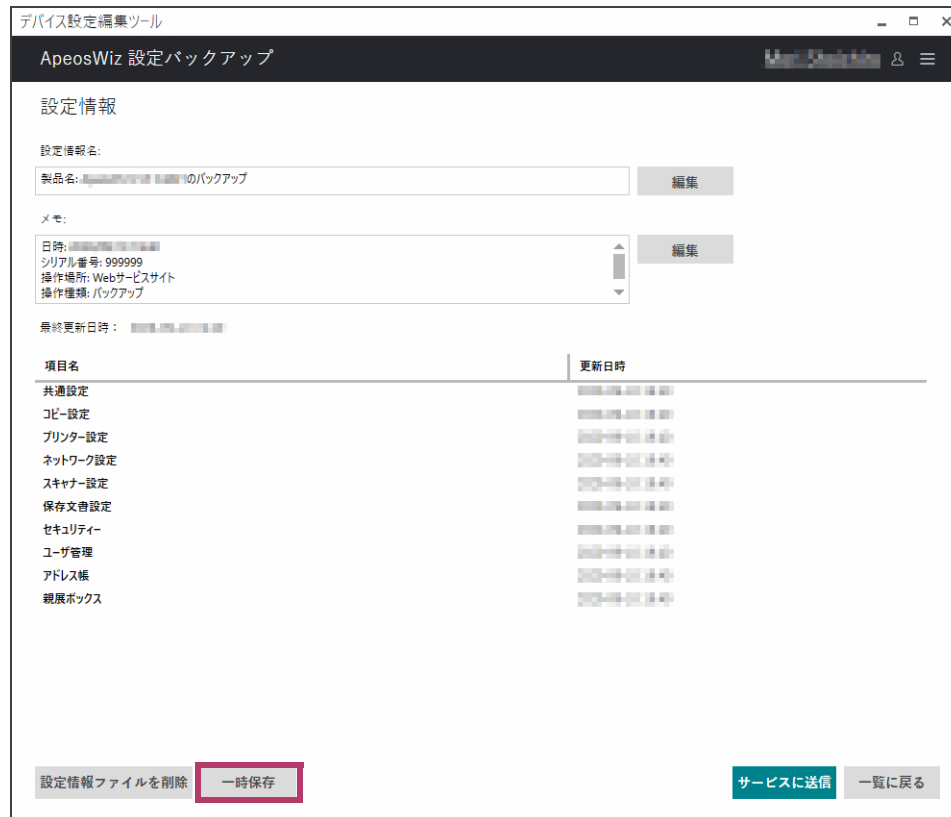
3 作業状態の保存を確認する画面で [OK] をクリックします。

設定名	値
親展ボックス {XXX}	{XXX} には 3 桁までの番号が表示されます。 複数の親展ボックスがある場合は、「親展ボックス {XXX}」から「ボックスパスワード」までの一連の項目が繰り返して表示されます。
親展ボックス名	親展ボックスの名前です。20 文字までの文字を入力できます。
パスワードのモード	パスワードが有効な操作を表します。 ・ 設定しない ・ 常時 (すべての操作) ・ 文書入力 (書き込み) ・ プリント / 削除 (読み出し)
文書自動削除	文書自動削除を設定する場合、チェックマークを付けます。
期限による文書の自動削除	期限による文書の自動削除を設定する場合、チェックマークを付けます。
所有者	親展ボックスの所有者 (UserID) です。 ASCII 文字で 32 文字まで入力できます。
ジョブテンプレート	関連付けられている指示書の識別子です。 関連付けられている指示書がない場合は表示されません。
指示書を文書格納時に起動	指示書を文書格納時に起動する場合、チェックマークを付けます。

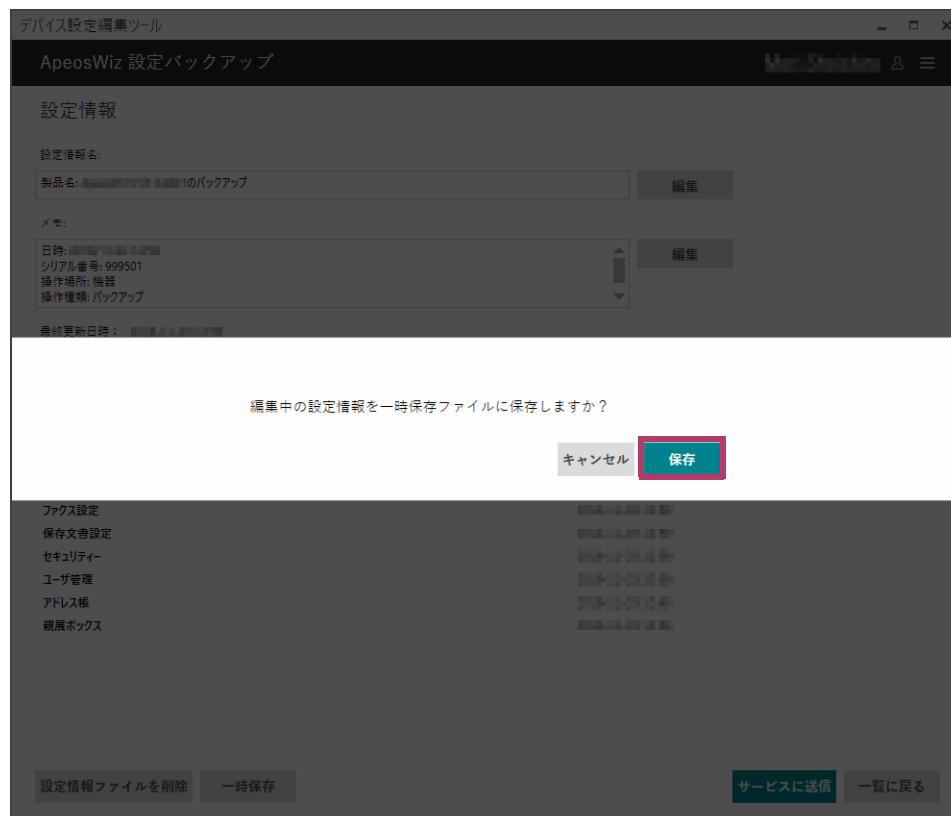
デバイス設定情報のバックアップを保存・インポートする（クラウド接続）

デバイス設定ツールで編集した設定データを PC 上に一時保存、インポートします。

1 デバイス設定の編集画面の [一時保存] をクリックします。



2 [保存] をクリックします。



デバイス設定の編集画面に戻ります。

3 PC 上に保存した設定データをインポートする場合は、[一時保存ファイルの読み込み] をクリックします。



4 [OK] をクリックします。



デバイス設定の編集画面に戻ります。

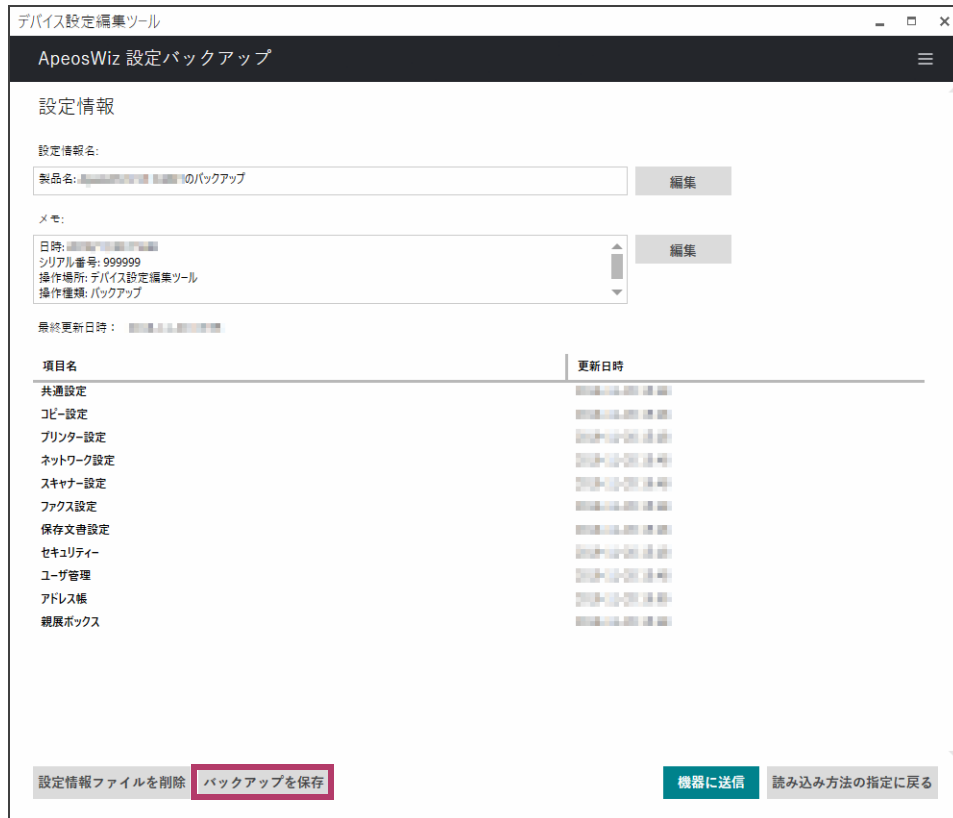
補足

- ・ PC に一時保存できる設定ファイルは、1 つだけです。最後に保存したファイルだけがインポートの対象になります。
一時保存された設定ファイルがある場合、[一時保存ファイルの読み込み] または [一時保存データの削除] が表示されます。保存した一時ファイルを削除する場合は [一時保存データの削除] をクリックします。
- ・ PC に一時保存した設定ファイルは、保存から 1 ヶ月後に削除されます。

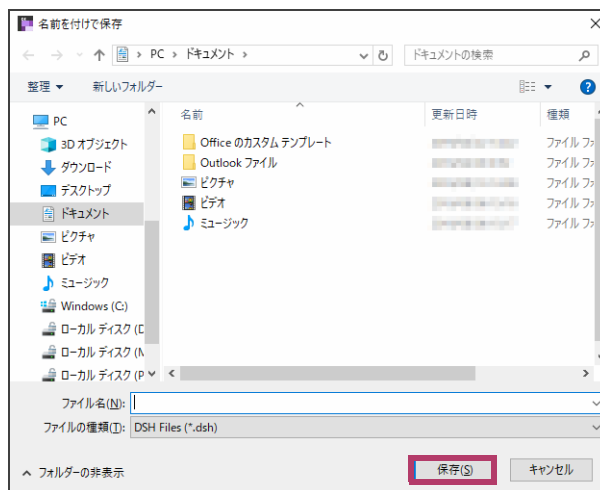
デバイス設定情報のバックアップを保存・インポートする（オンプレミス接続）


デバイス設定ツールで編集した設定データを PC 上に一時保存・インポートします。

- 1 デバイス設定の編集画面の [バックアップを保存] をクリック、またはヘッダーの  > [バックアップを保存] の順に選択します。

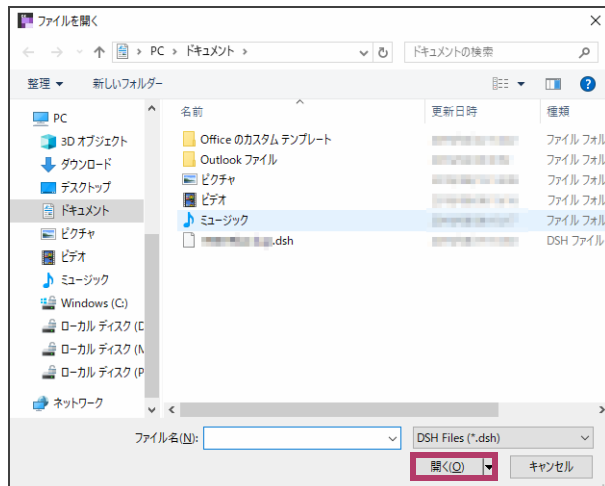


- 2 設定データを保存するディレクトリーとファイル名を指定して、[保存] をクリックします。



- 3 PC 上に保存した設定データをインポートする場合は、ヘッダーの  > [バックアップをインポート] の順に選択します。

4 インポートするファイル名を指定して、[開く] をクリックします。



デバイス設定の編集画面に戻ります。

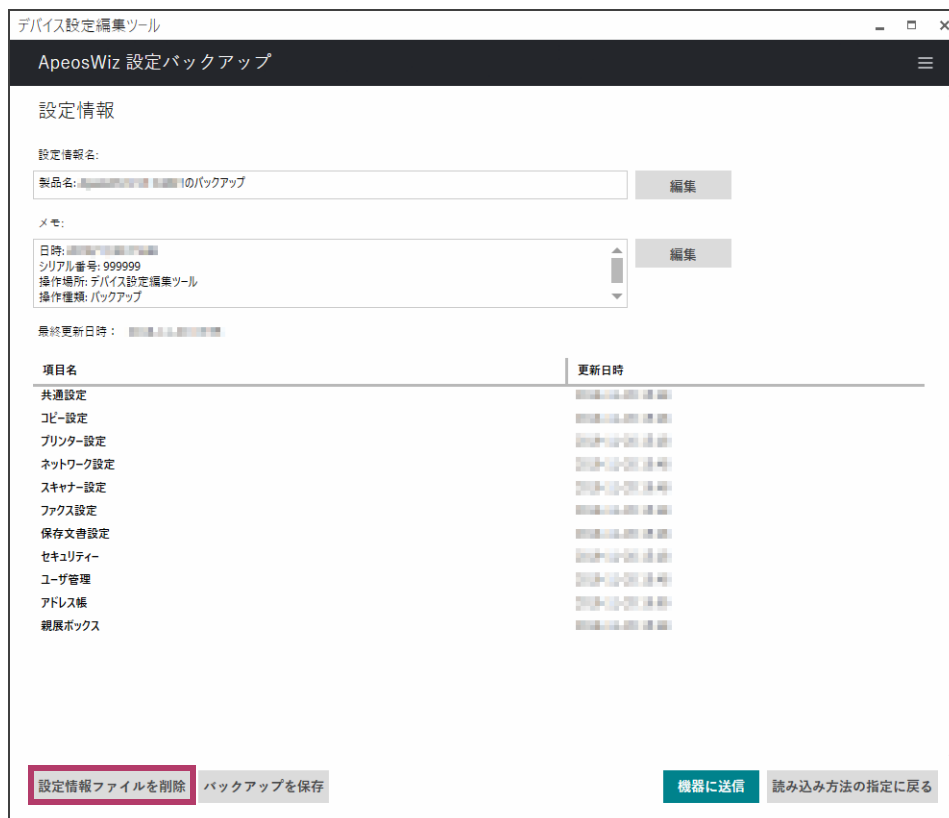
補足

- ・ PC に一時保存できる設定ファイルは、1 ファイルだけです。最後に保存したファイルだけがインポートの対象になります。

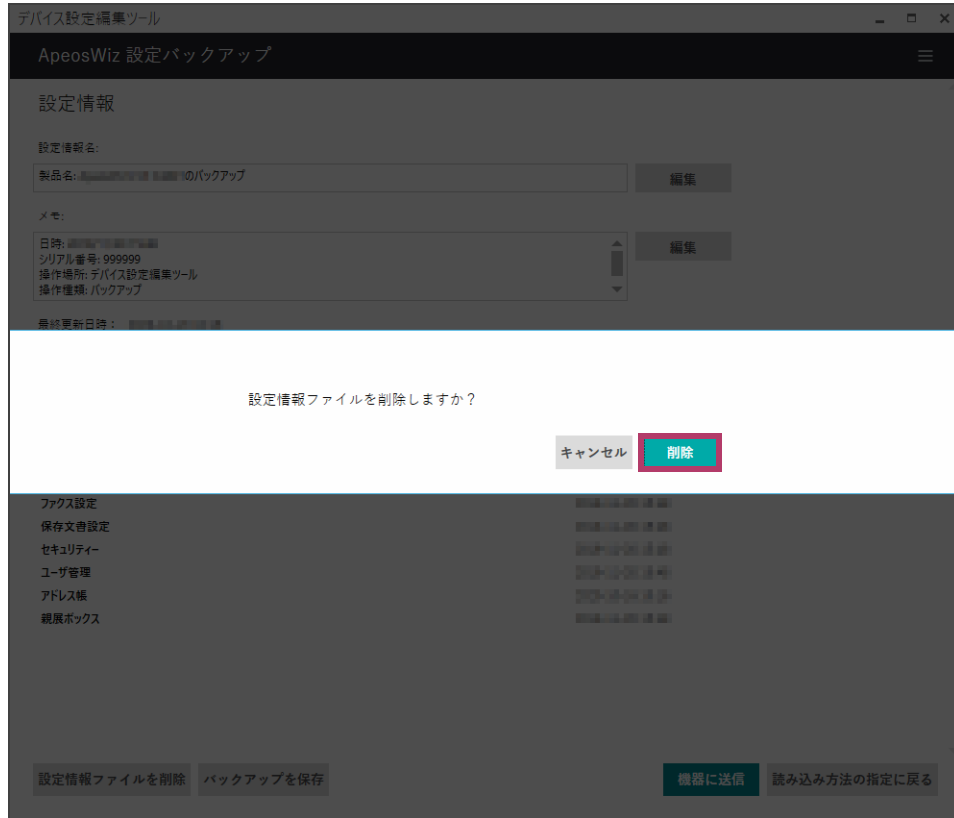
設定情報ファイルを削除する

ApeosWiz 設定バックアップにある設定情報ファイル（クラウド接続の場合）、または複合機から読み込んだ設定情報ファイル（オンプレミス接続の場合）を削除します。

1 デバイス設定の編集画面の [設定情報ファイルを削除] をクリックします。



2 [削除] をクリックします。



3 削除完了画面で [閉じる] をクリックします。

クラウド接続の場合、デバイス設定の選択画面に戻ります。

オンプレミス接続の場合、設定データを取得する複合機の IP アドレスを指定する画面に戻ります。

ApeosWiz 設定バックアップに設定データを送信する（クラウド接続）

設定データを ApeosWiz 設定バックアップに送信します。

1 デバイス設定の編集画面の [送信] をクリックします。

2 ApeosWiz 設定バックアップに送信する設定データを上書き保存する場合は、[更新する]、新規に設定データを送信する場合は、[新規に登録する] にチェックマークを付けます。

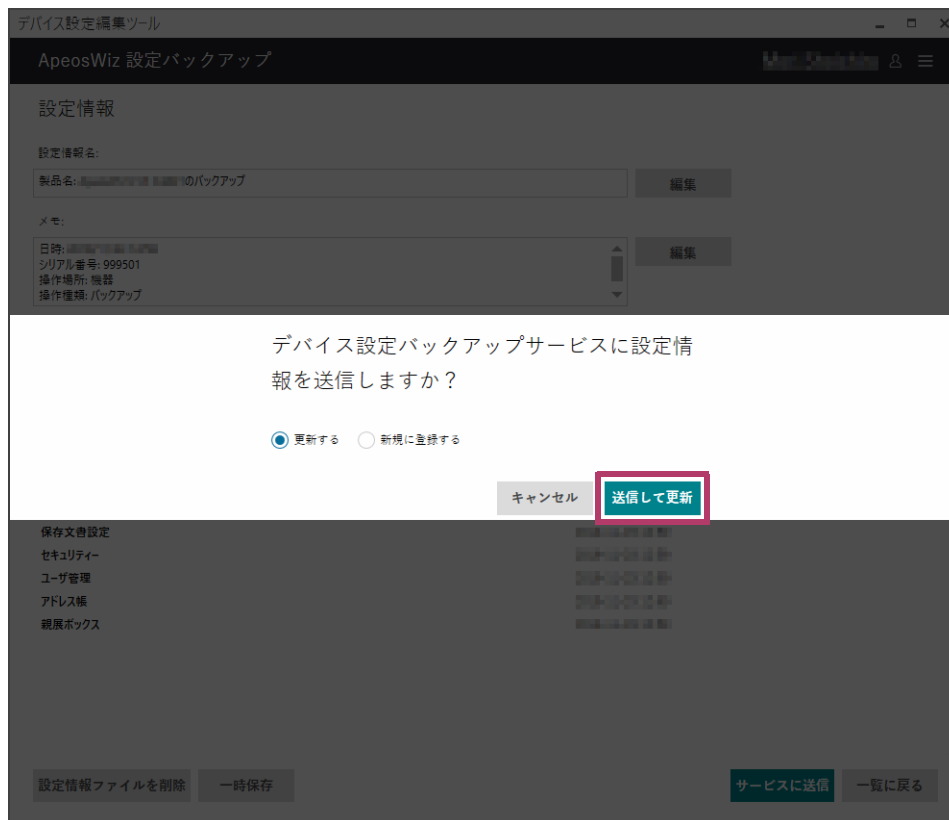
注記

- ・ 複合機からアップロードされたオリジナルのデバイス設定データの場合、[新規に登録する] だけが選択できます。

補足

- ・ ApeosWiz 設定バックアップに保存できるデバイス設定データの上限を超えた場合は、「格納できるデバイス設定データの数を超えています。格納されている設定データを削除してください。」というメッセージが表示されます。不要な設定データを削除して、再度、送信してください。

3 [更新する] または [新規に登録する] のどちらかを選択し、[送信して更新] または [送信して新規に登録] をクリックします。

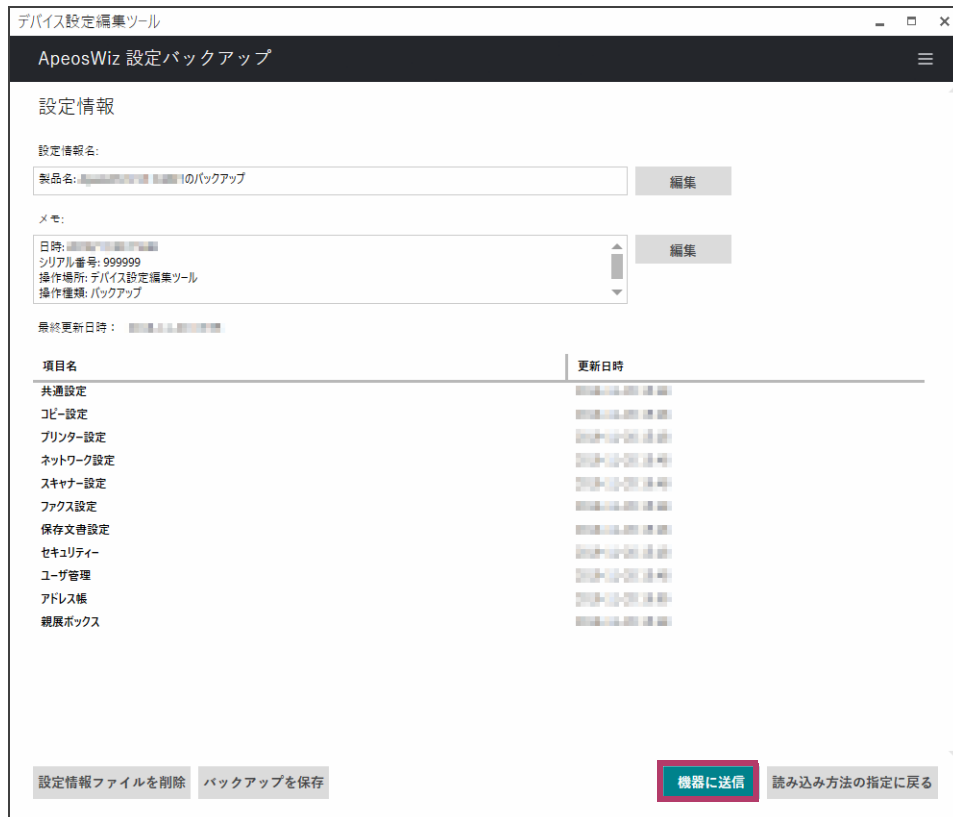


設定データが送信され、デバイス設定の編集画面に戻ります。

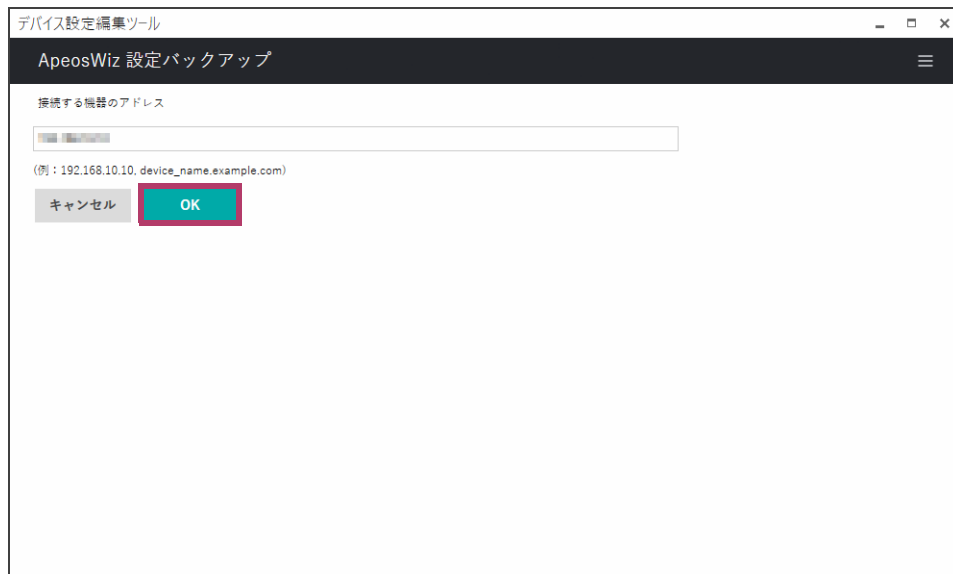
デバイスに設定データを送信する（オンプレミス接続）

設定データを複合機に送信します。

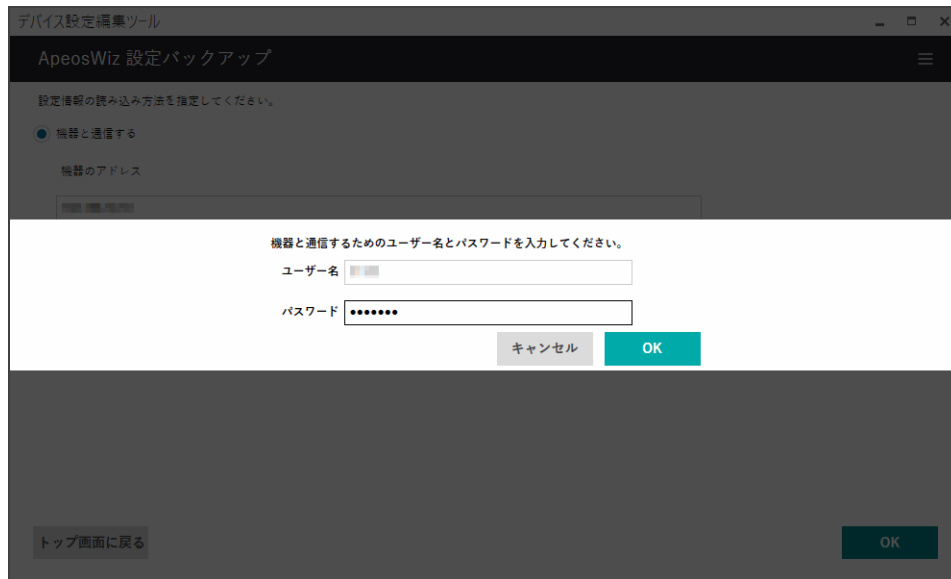
1 デバイス設定の編集画面の [機器に送信] をクリックします。



2 IPアドレスを指定し、[OK] をクリックします。



3 移行先の複合機の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



補足

・次のメッセージが表示された場合は、[継続する] をクリックします。



4 設定データを削除するかどうかを選択し、[送信] をクリックします。

5 確認画面で [送信] をクリックします。



6 送信結果の確認画面で [OK] をクリックします。

手順 4 で [送信元の設定データを削除しない] を選択していた場合は、デバイス設定の編集画面に戻ります。

[送信元の設定データを削除する] を選択していた場合は、複合機の IP アドレスとファイルを指定する画面に戻ります。

3 付録

デバイス設定編集ツールのインストール

必要な環境

Windows 10 (x64) Version 1709 OS ビルド : 16299.1029 以降

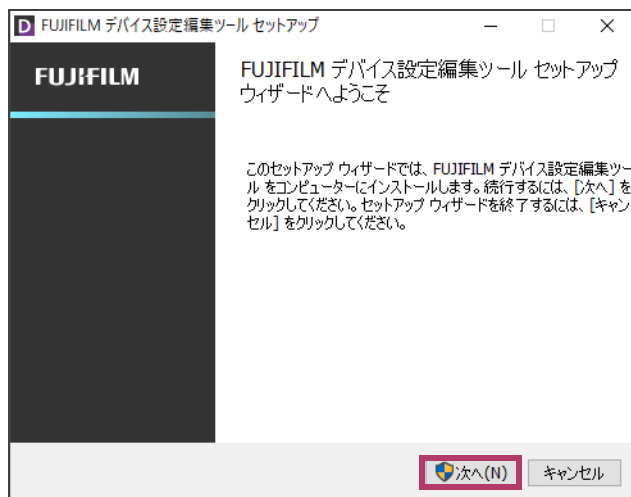


補足

・サーバー OS、および 32 ビット版には、デバイス設定編集ツールはインストールできません。

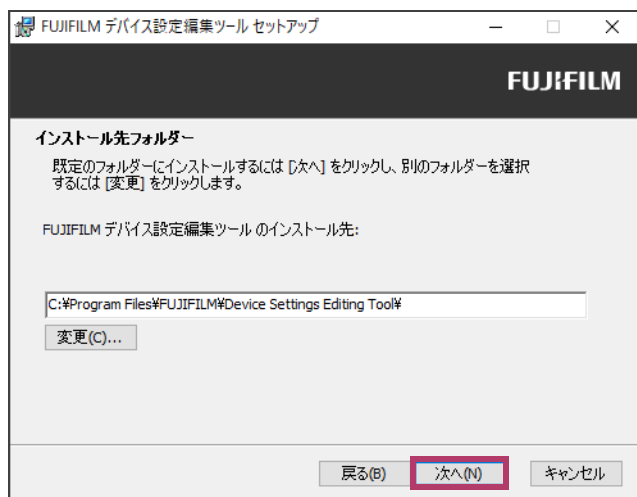
デバイス設定編集ツールのインストール

- 1 富士フィルム BI ダイレクトのホームページから、「デバイス設定編集ツール」をダウンロードします。
- 2 パッケージ中の「Install.exe」を実行します。
[次へ] をクリックします。



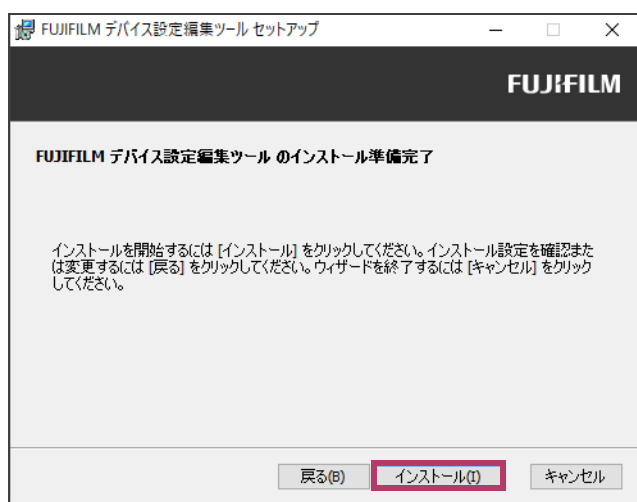
- 3 次の操作をします。
 - (1) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」で「はい」をクリックします。セットアップウィザードを実行しています。しばらくお待ちください。
 - (2) 使用許諾契約書を確認し、[使用許諾契約書に同意します] を選択します。
 - (3) [次へ] をクリックします。

5 インストール先フォルダーを選択して、[次へ]をクリックします。

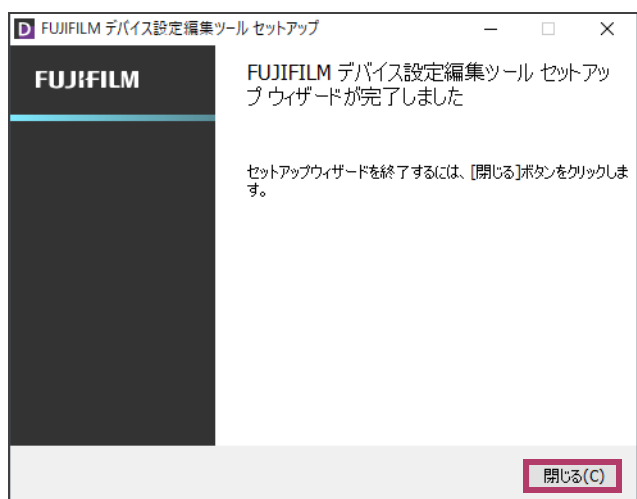


6 [インストール] をクリックします。

インストールが開始されます。



7 セットアップが完了しましたら、[閉じる] をクリックします。



エクスポート／インポートデータ

エクスポート／インポートできるデータは次の通りです。

ファイル形式は「.xlsx」です。編集できない項目は、シートの保護がされています。

ユーザー設定情報

項目	値
Order Number	システム管理の項目です。
Order Comments	システム管理の項目です。
Settings Information Name	設定情報名
Description	メモ情報
DeleteOperation	ユーザー情報削除用 ユーザー情報を削除する場合、「D」を入力します。
UserID	ユーザー ID 半角 32 文字以内で設定します。 次の文字を入力すると、機械にインポートする時エラーになります。 " + ; < > ? [] ` { } (DEL)
NewUserID	変更後のユーザー ID 半角 32 文字以内で設定します。 次の文字を入力すると、機械にインポートする時エラーになります。 " + ; < > ? [] ` { } (DEL)
DisplayName	表示用ユーザー名 半角 32 文字以内で設定します。
CardID	カード ID [] に 1 ~ 9999999 を設定します。
ICcardID	IC カード ID 半角 32 文字以内。 次の文字を入力すると、機械にインポートする時エラーになります。 (0x00 - 0x1F) " + : ; < > ? @ [] ` { } (DEL)
MailAddress	電子メールアドレス 半角 128 文字以内。
CopyRestriction	コピーの利用権限 次から選択、または空欄にします。初期値は「noRestriction」です。 - カラー機の場合 ・noRestriction：制限なし ・monochrome：白黒制限 ・imitedColorAndMonochrome：単色・白黒制限 ・color：カラー制限 ・prohibit：全制限 - 白黒機の場合 ・noRestriction：制限なし ・prohibit：全制限

項目	値
PrintRestriction	プリントの利用権限 次から選択、または空欄にします。初期値は「noRestriction」です。 - カラー機の場合 ・noRestriction：制限なし ・monochrome：白黒制限 ・imitedColorAndMonochrome：単色・白黒制限 ・color：カラー制限 ・prohibit：全制限 - 白黒機の場合 ・noRestriction：制限なし ・prohibit：全制限
ScanRestriction	スキャンの利用権限 次から選択、または空欄にします。初期値は「noRestriction」です。 ・noRestriction：制限なし ・monochrome：白黒制限 ・imitedColorAndMonochrome：単色・白黒制限 ・color：カラー制限 ・prohibit：全制限
FaxRestriction	ファクスの利用権限 次から選択、または空欄にします。初期値は「noRestriction」です。 ・noRestriction：制限なし ・prohibit：全制限
CopyMonolImpressionsLimit	コピー × 白黒の上限値 1 ～ 9999999 を設定します。 機能がな場合も表示されます。
CopyColorImpressionsLimit	コピー × カラーの上限値 1 ～ 9999999 を設定します。 白黒機の場合も表示されます。
PrintMonolImpressionsLimit	プリント × 白黒の上限値 1 ～ 9999999 を設定します。 機能がな場合も表示されます。
PrintColorImpressionsLimit	プリント × カラーの上限値 1 ～ 9999999 を設定します。 白黒機の場合も表示されます。
ScanMonolImpressionsLimit	スキャン × 白黒の上限値 1 ～ 9999999 を設定します。 機能がな場合も表示されます。
ScanColorImpressionsLimit	スキャン × カラーの上限値 1 ～ 9999999 を設定します。 機能がな場合も表示されます。

宛先表情報

項目	値
Order Number	システム管理の項目です。
Order Comments	システム管理の項目です。
Settings Information Name	設定情報名
Description	メモ情報
DeleteOperation	宛先表削除用。 宛先表を削除する場合、「D」を入力します。
Identifier	短縮番号 1 ~ 2000 を設定します。
AddressType	宛先種別 選択、または空欄にします。
Name	宛先名 半角、全角、合わせて 18 文字以内。
Key	索引文字 半角、または全角 1 文字。
fLineType	回線指定 次から選択、または空欄にします。 ・PBX：内線 ・PSN：外線
fRecipientNumber	宛先（電話番号 / SIP アドレス） [] に 128 byte の文字列を設定します。
fCommunicationMode	通信モード 次から選択、または空欄にします。 ・G3AEG3：自動 ・G3AE4800：国際通信 ・G4：G4 自動
fResolution	送信画質 次から選択、または空欄にします。 ・DEF：パネルの設定に従う ・NORMAL：標準 ・FINE：高画質 ・400：超高画質（400dpi） ・600：超高画質（600dpi）
fCoverNote	送信シート 選択、または空欄にします。
fRecipientComment	送信先コメント番号 [] に 1 ~ 50 を設定します。コメントを付けない場合は [0] にします。 fCoverNote を「TURE」にした場合、必ず設定します。 P2P ツールに表示されている Identifier を設定します。

項目	値
fSenderComment	発信元コメント番号 [] に 1 ~ 50 を設定します。コメントを付けない場合は [0] にします。 fCoverNote を「TURE」にした場合、必ず設定します。 P2P ツールに表示されている Identifier を設定します。
fMaximumImageSize	最大蓄積サイズ 選択、または空欄にします。
fDelayedStart	時刻指定通信 選択、または空欄にします。
fDelayedStartHour	時刻 指定通信 (時) 0 ~ 23 を設定します。
fDelayedStartMinute	時刻 指定通信 (分) 0 ~ 59 を設定します。
fMailBox	親展通信する 選択、または空欄にします。
fMailBoxPassword	パスワード [] に 0 ~ 9 の 4 つの数字で設定します。 新しくパスワードを設定する場合、設定します。
fMailBoxEncryptedPassword	暗号化された暗証番号 / パスワード
fMailBoxNumber	親展通信・親展ボックス番号 1 ~ 999 で設定します。 fMailBox を「TRUE」に設定した場合、必ず設定します。
fRelayBroadcast	中継同報指示 選択、または空欄にします。
fRelayStationID	中継同報・中継局 ID 1 ~ 99 で設定します。 fRelayBroadcast を「TRUE」に設定した場合、必ず設定します。
fPrintAtRelayStation	中継同報・中継局出力指示 選択、または空欄にします。 fRelayBroadcast を「TRUE」に設定した場合、必ず設定します。

項目	値
fJBIGForbid	JBIG 強制禁止 選択、または空欄にします。
fRedialTimes	リダイヤル回数 0～9 を設定します。
fSendingLevel	送出レベル (単位 dBm) -15～0 を設定します。
fReceivingLevel	着信レベル (単位 dBm) -50～0 を設定します。
iAddress	宛先 (メールアドレス) [] に 128 byte の文字列を設定します。
iProfile	インターネットファクスプロファイル 選択、または空欄にします。
iCommunicationMode	通信モード 選択、または空欄にします。
iResolution	送信画質 選択、または空欄にします。
iMaximumImageSize	最大蓄積サイズ 選択、または空欄にします。
iDelayedStart	時刻指定送信 選択、または空欄にします。
iDelayedStartHour	時刻指定通信 (時) 0～23 を設定します。 iDelayedStart を「TRUE」に設定した場合、必ず設定します。
iDelayedStartMinute	時刻指定通信 (分) 0～59 を設定します。 iDelayedStart を「TRUE」に設定した場合、必ず設定します。
mSurname	姓
mGivenName	名
mAddress	宛先 (メールアドレス)
mAuxiliaryItem1	補助項目 1
mAuxiliaryItem2	補助項目 2
mAuxiliaryItem3	補助項目 3
sType	転送プロトコル 選択、または空欄にします。
sAddress	サーバの FQDN、または IP アドレス ・ FQDN : 64 byte ・ IPv4 : 32 byte ・ IPv6 : 128 byte
sPort1	ポート番号 1-65535 デバイス側で標準ポートを指定している場合、0 を設定します。

項目	値
sUserName	ログイン名 ・FTP：32 byte ・SMB：97 byte
sPassword	パスワード ASCII 32 文字を設定します。 新しくパスワードを設定する場合、設定します。
sEncryptedPassword	暗号化パスワード
sVolume	共有名 全角 32 文字以内で設定します。
sPath	保存場所 SJIS 128 byte で設定します。

アドレス帳情報

項目	値
Order Number	システム管理の項目です。
Order Comments	システム管理の項目です。
Settings Information Name	設定情報名
Description	メモ情報
宛先属性情報	
DeleteOperation	ユーザー情報削除用。 ユーザー情報を削除する場合、「D」を入力します。
MFCNTID	宛先 ID ・送信先：10000 件登録できます。 ・グループ：500 件登録できます。
MFCN	宛先名 128 文字以内で設定します。 必ず設定します。
MFGN	名 32 文字以内で設定します。
MFSN	姓 32 文字以内で設定します。
MFCPN	会社名 64 文字以内で設定します。
MFCNTTYPE	宛先タイプ ・0：送信先 ・1：グループ
MFIKEY	索引文字
MFGRPDN	短縮番号
MFGRPADDRT	アドレス種別
MFGRPFAVORITE	お気に入り

項目	値
MFGRPMEMBERNUM	メンバー数
MFGRPMEMBER	メンバー
FAX アドレス属性情報	
MFDN_FAX	短縮番号
MFADDRT_FAX	アドレス種別
MFDESTFAVORITE_FAX	お気に入り
MFDESTONETOUCHDIAL_FAX	ワンタッチ番号
MFLINE	回線指定 選択、または空欄にします。
MFFAX	宛先（電話番号） ASCII 128 文字以内で設定します。 必ず設定します。
FAXCN	送信ヘッダ宛先名 18 文字以内で設定します。
MFCMODE	通信モード 選択、または空欄にします。
MFSRESO	送信画質 選択、または空欄にします。
MFSHEET	送信シート 選択、または空欄にします。
MFSHEETC1	送信先コメント [] に 1 ~ 50 を設定します。コメントを付けない場合は [0] にします。 MFSHEET を「つける」にした場合、必ず設定します。
MFSHEETC2	発信元コメント [] に 1 ~ 50 を設定します。コメントを付けない場合は [0] にします。 MFSHEET を「つける」にした場合、必ず設定します。
MFPMAX	最大蓄積サイズ 選択、または空欄にします。
MFTMSND	時刻指定通信 選択、または空欄にします。
MFTMSNDH	時刻指定通信（時） 0 ~ 23 を設定します。 MFTMSND を「する」に設定した場合、必ず設定します。
MFTMSNDM	時刻指定通信（分） 0 ~ 59 を設定します。 MFTMSND を「する」に設定した場合、必ず設定します。
MFMBBOX	親展通信 選択、または空欄にします。

項目	値
MFMBBOXPS	親展通信・親展ボックス暗証番号 ASCII 0～9の4つで設定します。 MFMBBOXを「する」に設定した場合、設定できます。
MFMBBOXID	親展通信・親展ボックス番号 MFMBBOXを「する」に設定した場合、必ず設定します。
MFCHRGT1	課金通信時間（昼間料金：秒） 0～2559で設定します。 部門管理キットを設定している場合、必ず設定します。
MFCHRGT2	課金通信時間（夜間料金：秒） 0～2559で設定します。 部門管理キットを設定している場合、必ず設定します。
MFCHRGT3	課金通信時間（深夜料金：秒） 0～2559で設定します。 部門管理キットを設定している場合、必ず設定します。
MFFCODE	Fコード ASCII 20文字で設定します。 設定できる文字は、0～9 * #（スペース）です。
MFPCODE	パスワード（Fコード） ASCII 20文字で設定します。 設定できる文字は、0～9 * #（スペース）です。
MFSG3FRBT	Surper G3 禁止 選択、または空欄にします。
MFMDMSPD	モデムスピード 選択、または空欄にします。
MFECMFRBT	ECM 強制禁止 選択、または空欄にします。
MFJBIGFRBT	JBIG 強制禁止 選択、または空欄にします。
MFRDTIMES	リダイヤル回数 0～9を設定します。
MFSNDLV	送出しレベル（単位 dBm） 0～15を設定します。
MFRCVLV	着信レベル（単位 dBm） 0～50を設定します。
IFAX アドレス属性情報	
MFDN_IFAX	短縮番号
MFADDRT_IFAX	アドレス種別
MFDESTFAVORITE_IFAX	お気に入り
MFDESTONETOUCHDIAL_IFAX	ワンタッチ番号
MFIFAX	メールアドレス ASCII 128文字以内で設定します。

項目	値
MFTIFF	インターネットファクスプロファイル 選択、または空欄にします。
MFIFAXSRESO	送信画質 選択、または空欄にします。
MFIFAXPMAX	最大蓄積サイズ 選択、または空欄にします。
MFIFAXCERTID	証明書 ID
メールアドレス属性情報	
MFDN_MAIL	短縮番号
MFADDRT_MAIL	アドレス種別
MFDESTFAVORITE_MAIL	お気に入り
MFDESTONETOUCHDIAL_MAIL	ワンタッチ番号
MFMAIL	メールアドレス
MFAUX1	補助項目 1
MFAUX2	補助項目 2
MFAUX3	補助項目 3
MFCERTSEQNUM	S/MIME 用証明書の連番号
サーバーアドレス属性情報	
MFDN_SERVER	短縮番号
MFADDRT_SERVER	アドレス種別
MFDESTFAVORITE_SERVER	お気に入り
MFDESTONETOUCHDIAL_SERVER	ワンタッチ番号
MFSVRT	サーバー種別 選択、または空欄にします。
MFSVRADDR	サーバーの FQDN、または IP アドレス 必ず設定します。
MFPORT1	ポート番号 1 ~ 65535 を設定します。
MFUSER	ユーザー名 97 文字以内で設定します。
MFSVRPASSWD	パスワード CP1252 32 文字以内で設定します。
MFSVRENCRYPTEDPASSWD	暗号化パスワード
MFVOLUME	共有名 SC6036 64 文字以内で設定します。 MFSVRT を「SMB」に設定した場合、必ず設定します。

項目	値
MFPATH	転送先のパス名 128 文字以内で設定します。
IP ファクスアドレス属性情報	
MFDN_IPFAX	短縮番号
MFADDRT_IPFAX	アドレス種別
MFDESTFAVORITE_IPFAX	お気に入り
MFDESTONETOUCHDIAL_IPFAX	ワンタッチ番号
MFIPFAX	SIP アドレス ASCII 128 文字以内で設定します。 必ず設定します。
MFIPFAXCN	送信ヘッダ用宛先名
MFIPFAXCMODE	通信モード 選択、または空欄にします。
MFIPFAXSRESO	送信画質 選択、または空欄にします。
MFIPFAXSHEET	送信シート 選択、または空欄にします。
MFIPFAXSHEETC1	送信先コメント [] に 1 ~ 50 を設定します。コメントを付けない場合は [0] にします。 MFIPFAXSHEET を「つける」にした場合は、必ず設定します。
MFIPFAXSHEETC2	発信元コメント [] に 1 ~ 50 を設定します。コメントを付けない場合は [0] にします。 MFSHEET を「TURE」にした場合、必ず設定します。
MFIPFAXPMAX	最大蓄積サイズ 選択、または空欄にします。
MFIPFAXTMSND	時刻指定通信 選択、または空欄にします。
MFIPFAXTMSNDH	時刻指定通信 (時) 0 ~ 23 を設定します。 MFIPFAXTMSND を「する」に設定した場合、必ず設定します。
MFIPFAXTMSNDM	時刻指定通信 (分) 0 ~ 59 を設定します。 MFIPFAXTMSND を「する」に設定した場合、必ず設定します。
MFIPFAXMBOX	親展通信指示 選択、または空欄にします。
MFIPFAXMBOXPS	親展通信・親展ボックス暗証番号 ASCII 0 ~ 9 の 4 つで設定します。 MFIPFAXMBOX を「する」に設定した場合、設定できます。

項目	値
MFIPFAXMBOXID	親展通信・親展ボックス番号 1～999を設定します。 MFIPFAXMBOXを「する」に設定した場合、必ず設定します。
MFIPFAXCHRG1	課金通信時間（昼間料金：秒） 0～2559で設定します。 部門管理キットを設定している場合、必ず設定します。
MFIPFAXCHRG2	課金通信時間（夜間料金：秒） 0～2559で設定します。 部門管理キットを設定している場合、必ず設定します。
MFIPFAXCHRG3	課金通信時間（深夜料金：秒） 0～2559で設定します。 部門管理キットを設定している場合、必ず設定します。
MFIPFAXFCODE	Fコード ASCII 20文字で設定します。 設定できる文字は、0～9 * #（スペース）です。
MFIPFAXPCODE	パスワード（Fコード） ASCII 20文字で設定します。 設定できる文字は、0～9 * #（スペース）です。
MFIPFAXENCRYPTEDPASSWD	暗号化パスワード
MFIPFAXSG3FRBT	Surper G3 禁止 選択、または空欄にします。
MFIPFAXMDMSPD	モデムスピード 選択、または空欄にします。
MFIPFAXECMFRBT	ECM 強制禁止 選択、または空欄にします。
MFIPFAXJBIGFRBT	JBIG 強制禁止 選択、または空欄にします。
MFIPFAXRDTIMES	リダイヤル回数 0～9を設定します。
MFIPFAXSNDLV	送出しレベル（単位 dBm） 0～15を設定します。
MFIPFAXRCVLV	着信レベル（単位 dBm） 0～50を設定します。

注意制限事項

- ・ デバイス設定編集ツールでは、デバイス設定データの範囲の正確な定義はできません。正確な値の範囲の定義は、移行先の複合機にインストールされている設定バックアップ（複合機のカスタムサービスまたはプラグイン）で行います。
- ・ 設定データの中には、編集不可のもの（例えば、ユーザ設定の UserID）、ユーザに表示しても意味をなさないもの（例えば、暗号化されたパスワードなど）があります。これらの設定データが、移行できるかどうかは、移行先の複合機に依存します。
- ・ ジョブフロー編集機能では、属性値の変更はできますが、ジョブフローの構造の変更はできません。

- 上位機種（例：ApeosPort）で作成したジョブフローが、下位機種（例：DocuCentre）と互換性のない機能アイテム（例：スキャン）を含む場合、そのジョブフローを下位機種に移行しても、元のジョブフローを作成したツールを使って編集することはできず、下位機種から実行することもできません。